

資料1. 上位・関連計画等の概要

資料1. 上位・関連計画等の概要

(1) 福島県文化財保存活用大綱

名称	福島県文化財保存活用大綱
策定・改正年	令和2(2020)年
対象期間	令和2(2020)年～
策定者	福島県教育委員会
目的	福島県の文化財の保存と活用のあるべき姿(地域の文化財をみんなで知って適切に保存し、その魅力を磨き上げて活用し、次世代に確実に伝え、またそこから守っていく、地域とともに未来に向かって循環する姿)の実現に向かって、文化財保護行政の積極的な取組を展開させるための基本的な方向性を明らかにし、県内市町村が各種の取組を進めていく上での共通の基盤とするため策定した。
概要	県全体の理念: 地域の文化財をみんなで知って守り、活用して伝え、歴史と文化の豊かさを実感できる魅力あふれる“ふくしま”へ 基本方針: 1 新たな文化財の掘り起こし 2 文化財の確実な保存と継承 3 地域に根ざした文化財の活用取組 4 文化財を通じた地域への愛着と誇りの育み 5 文化財を通じた地域創生 6 東日本大震災からの復興と防災の強化 7 関係機関との連携強化
三春町に関連する主な事項	【三春町の特色ある関連文化財群¹²⁾】 タイトル: 桜と三春駒の城下町 説明: 三春は滝ザクラを始めとする枝垂れ桜に彩られた山里で、戦国時代に田村氏が城を築き、歴代大名が整備した城下町には、三春駒など江戸時代の主産業である馬産から誕生した信仰文化が色濃く伝わる。 含まれる文化財: ①三春滝ザクラ(国指定)②三春城跡(町指定)③田村氏掟書(県指定)④木造阿弥陀如来立像(県指定)⑤藩講所明徳堂表門(町指定)⑥木造金剛力士像(町指定)⑦三春大神宮奉納白馬像・絵馬(町指定)⑧馬頭観音堂奉納絵馬(町指定)⑨雪村筆奔馬図(町指定)⑩三春駒・三春人形 【市町村に期待される役割】 ・地域住民や大学等の専門機関と連携しながら域内の文化財の現況を把握し、き損や滅失の恐れがある場合には、保存のための適切な手立てを講じる。 ・地域住民の意向やニーズを把握した上での文化財の活用事業の企画や、住民・文化団体・学校等と協働で文化財を通じた交流の場の設定など、地域の状況に即した活用事業の展開を実施する。 【市町村への支援の充実強化】 (1) 財政的支援 ・現行の県教育委員会における文化財の保存と活用に係る県補助事業の継続に努めるとともに、文化財の保存と活用に有用な国庫補助事業や県内部の文化スポーツ局、商工労働部、観光交流局、土木部等の補助事業、民間団体の有用な助成事業等の情報収集を行い、市町村への情報提供及び助言を行う。

¹²⁾ 各市町村が選んだ域内で特色のある関連文化財群。地域のアイデンティティとしての役割、来訪者を魅了する素材としての役割を担っており、計画的に保存、活用することが求められる。

(2) 人的支援

- ・県教育委員会の現在の人的支援の継続及び県教育委員会からの支援職員の専門知識の維持向上に努める。
- ・市町村等における地域計画や保存活用計画等の作成及び作成後の施策実施に係る支援に努める。
- ・県教育委員会は、県内部の文化スポーツ局、観光交流局等とも連携して、文化財の活用に係る人的支援の充実に努める。

(3) 広域連携における調整

- ・複数の市町村で連携した文化財の取組や施策が必要な場合には、県が調整機能を担う。

(4) 専門性を補完する支援

- ・文化財の種別に応じて専門的な助言等ができるよう、県は専門性の高い県文化財保護審議会や専門機関、関係団体等の外部支援団体と連携を図る。
- ・県内の状況や課題に応じて、市町村担当者向けの研修、会議の充実に努める。
- ・歴史的建造物を活用する際に、建築基準法を適用除外することを検討する市町村に対して、建築基準法 3 条第 1 項 3 号の規定に基づき、現状変更の規制及び保存の措置が講じられ、建築審査会の同意が得られるよう、建築基準法や消防法等の関係法令に照らし合わせ、必要な助言を行う。

(2) 第 8 次三春町長期計画後期基本計画

名称	第 8 次三春町長期計画後期基本計画
策定・改正年	令和 7(2025)年
対象期間	基本構想: 令和 7(2025)年度～令和 16(2034)年度 基本計画: 令和 7(2025)年度～令和 11(2029)年度
策定者	三春町
目的	すべての行政活動の基本となる自治体の最上位計画。 ・三春町の特性を十分認識した上で、町の目指すべき「目標」を定め、それを達成するための「取り組みの方向」を明らかにする。 ・三春町町民自治基本条例に基づき協働による自立したまちづくりを進めるうえで、共通した認識を持ち、進むべき道を示す羅針盤となる。 ・周辺市町村や国、県に対して三春町の考え方を示すことで、国、県等が各種の地域計画を策定するにあたって尊重すべき指針となる。
概要	将来像: いつまでも“ゆかしい”まち 三春 ～みんなで育む 一人ひとりの想いが花開く 地域づくり～¹³ 基本目標: 目標 1 『こどもの笑顔』はぐくむ地域づくり 目標 2 『健やかな心と体』はぐくむ地域づくり 目標 3 『地域の絆』はぐくむ地域づくり 目標 4 『賑いと活気』はぐくむ地域づくり 目標 5 『安心な暮らし』はぐくむ地域づくり 重点プロジェクト(デジタル田園都市構想総合戦略) 基本目標 1 地域経済が成長し、安心して働けるまち 基本目標 2 つながりから新たな人の流れが生まれるまち 基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望が叶うまち 基本目標 4 誰でも活躍して暮らせる魅力的なまち 基本目標 5 誰もが DX で「新たな魅力・価値の創造」を生み出していくまち

¹³ 「ゆかしい」は「心ひかれる場所に行きたい、心ひかれる人に会いたい」、「懐かしい、恋しい、慕わしい」、「上品で深みがある、趣があり心ひかれる」の意。

宝物に関連する主な事項
目標 1 『こどもの笑顔』はぐくむ地域づくり 政策分野 5 桜・文化財分野 【まちづくりの施策内容と指標】 1 桜の保全 三春滝桜をはじめとした本町の桜を後世に残していくため、地域や団体、学校と連携・協力しながら、桜の管理・保護に努めます。 主な取組: 桜の管理保護、桜を守る団体の活動支援 2 文化財等の保存・活用 文化財等を保存伝承し、活用していくため、「文化財保存活用地域計画」を策定・推進するとともに、三春城跡の国史跡指定の実現を目指します。 主な取組: 文化財保存活用地域計画の策定・推進、三春城跡の国史跡指定の実現、文化財等の保護 重点プロジェクト(デジタル田園都市構想総合戦略) 基本目標 4 誰でも活躍して暮らせる魅力的なまち 基本的方向(3) 地域資源を活かした魅力あふれるまちの創出 施策 2 歴史と文化を活かしたまちづくりの推進 【主な取組】 ・三春城跡の国史跡指定の促進・新コンテンツの有効活用 三春城跡の国史跡指定に向けて、三春城 VR や城下町 AR の効果的な活用を図ります。 ・指定文化財・歴史資料保護事業 町の貴重な文化財や歴史資料を後世に残すため、文化財の適切な保存と活用を図ります。 ・伝統芸能の保護・承継事業 伝統芸能の保護・承継のため、伝統芸能承継団体に対する支援を行います。 【KPI(重要業績評価指数)】 歴史民俗資料館の入館者数 現状値:8,313 人(令和 5 年度) 目標値(令和 11 年):10,000 人

(3)三春町第 2 期教育大綱

名称	三春町第 2 期教育大綱
策定・改正年	令和 7(2025)年
対象期間	令和 7(2025)年度～令和 11(2029)年度
策定者	三春町、三春町教育委員会
目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 3 に基づき、三春町の教育や、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として策定した。
概要	基本理念:学び、つながり、未来を拓く、三春の教育の創造 各分野の施策を効果的に推進するための「5 つの視点」: 視点 1 グローバル化する社会の持続的な発展へ向けて学び続ける人材の育成 視点 2 誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現にむけた教育の推進 視点 3 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進 視点 4 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進 視点 5 計画の実効性確保のための基盤整備や対話
宝物に関連する主な事項	生涯学習の基本目標:全員参加型の生涯学習ネットワークの構築 歴史民俗資料館の基本政策:歴史・文化遺産を継承・活用したまちづくり

施策Ⅰ：文化財保護の推進・支援

1. 三春町文化財保存活用地域計画の策定・推進

- ・文化財の保存・活用に関して、三春町が目指す将来的なビジョンや具体的な事業等の実施計画を定め、それに従って計画的に取り組みを進めることで、継続性・一貫性のある文化財保存・活用を推進する。
- ・計画を対外的に明示し、広く周知して、民間団体等の関係者のみならず、地域住民の理解・協力を得ることにより、地域総がかりによる充実した文化財の保存・活用を図る。
- ・計画を実行しながら、事業の内容や成果を検証することで、実際の地域や時代に即した文化財保護・活用の在り方を再検討し、新たな計画に更新する準備を進める。

2. 文化財調査の推進

- ・地域に伝わる身近な歴史・文化遺産を調査し、その形態や性格、所属する地域や時代といった区分により分析することで、その価値を明らかにする。
- ・それらをいくつかの文化財群として関連づけることで、三春町の歴史・文化を復元する。
- ・価値づけされた遺産を「地域の宝」に位置づけ、そのうち価値の高いものを文化財に指定し、それ以外のは、未指定の文化財とする。
- ・地中にあるためにその内容が不明確な埋蔵文化財については、分布調査を推進するとともに、開発に際して事前の調査を行い、事業との調整を図る。

3. 文化財の保護・活用の推進・支援

- ・調査によって明らかになった文化財は、その文化財にとって最適な状態での保存に努める。
- ・文化財を管理・継承する個人・団体等と緊密に連携し、継続的な支援を行う。
- ・現地での管理が困難な文化財は、歴史民俗資料館等の施設で保管し、継承が困難な無形の文化財については、記録保存することで後世に伝える。
- ・文化財保存活用計画により、文化財の防犯・防災対策を進めた上で、その多様な活用を推進し、地域の誇りとするとともに、観光誘客のアピールポイントとし、そうした活動を行う管理・継承団体を支援する。

4. 三春城跡の国史跡指定に向けた調査の推進

- ・三春町の歴史の象徴である三春城跡の価値を高め、整備・活用を進めるために、国史跡指定を目指す。
- ・三春城跡調査指導委員会の指導と文化庁の助言に基づいて調査を実施し、三春城跡の詳細を明らかにし、文化庁への意見具申のための資料を整える。

5. 文化財保護審議会による提言の活用

- ・文化財の保存・活用・指定や文化財保存活用地域計画の策定などについては、専門知識等を有する文化財保護審議会委員が審議し、教育委員会に提言をしていただく。
- ・提言に基づき定期的に文化財フォーラムなど講演会を開催し、町民が文化財に親しむ機会を増やす。

施策Ⅱ：文化財の保存・公開施設の管理運営

1. 保存・公開施設の適正な管理運営

- ・文化財等を収蔵し、公開する歴史民俗資料館、自由民権記念館、郷土人形館、さらに文化財建築物を利用する文化伝承館の施設・設備を適切に管理し、継続して使用できるよう補修・改修を行う。
- ・不足する収蔵施設を確保するために、空きスペースのある公共施設等の利活用を進める。

2. 三春町歴史民俗資料館・自由民権記念館

- ・三春町の歴史・文化に関わる資料を収集し、調査研究、保管、公開等を行う施設として、ほかの施設も含めた長期的な維持管理、企画展示計画などを行う。
- ・自由民権記念館では、自由民権運動に関する資料の収集・保管・公開と、関係者の顕彰を行い、研修室は、館の事業にとどまらず、さまざまな団体の学習の場として活用する。

3. 三春郷土人形館・三春町文化伝承館などまちなか文化財の活用

- ・郷土人形館では、らっこコレクションを保管、公開するとともに、三春町の伝統芸品である三春人形をはじめとする郷土玩具等を収集し、その魅力を発信する。
- ・文化伝承館は、国登録有形文化財でもある古い建築物や庭園を保全することで、旧城下町の景観を維持し、古くからの文化を伝承する行事をはじめとする様々な利活用を進める。

4. 歴史民俗資料館運営協議会による提言の活用

- ・各種団体の代表や学識経験者等から構成される運営協議会により、資料館等の事業ならびに施設管理等

について、検討・提言をいただき、適正な運営を図る。

5. 歴史民俗資料館友の会支援

- ・資料館等を継続的に利用することで、三春町の歴史・文化への理解を深める活動を実践する友の会について、その活動を支援して活性化を図ることで、資料館事業の充実を目指す。
- ・活動内容の発信に協力することで、会員の拡充を支援する。

施策Ⅲ：展示公開・各種講座・広報活動の充実

1. 常設展・企画展の充実

- ・三春町の資料館や人形館は、デジタルを含めた多角的な方法により、展示解説の充実を図る。
- ・企画展や特別展については、町民や観光客の興味や関心の高いテーマを検証して、大小規模の企画を組み合わせることで、年間の開催数を増やすことができるよう努める。

2. デジタルミュージアムの推進

- ・資料館が開設したデジタルミュージアムは、掲載資料数も少なく、簡易な解説となっていることから、さらなる内容の充実と使いやすいシステムの構築を進めるとともに、資料館や町内の伝統行事等をタイムリーに案内することで、来館者や来町者の増加に努める。

3. 各種講座・出版物の充実

- ・歴史や文化を紹介するうえで、展示という手法での解説が難しい内容については、各種講座や現地での説明会などを開催するとともに、各種団体の要望にあわせた出前講座等を実施する。
- ・出版物のほか、画像・音声・動画といった様々な手法を利用することで、三春町の歴史・文化への理解が、町民だけではなく、町外の方々へも広まるよう努める。

4. 学校教育との連携

- ・子どもたちが、郷土の歴史や文化について理解し、関心を持つことを促すため、学校と連携して、展示解説や出前講座、資料の提供などを行うほか、副読本の編纂に協力することで学習を支援する。
- ・学年や生活する地域が異なる児童・生徒、さらに教員に対しても、それぞれの疑問や探求心に応え、郷土に誇りを持つことができるような展示や解説の整備に努める。

(4)三春町国土強靱化地域計画

名称	第2期三春町国土強靱化地域計画
策定・改正年	令和7(2025)年
対象期間	令和7(2025)年度～令和11(2029)年度
策定者	三春町
目的	東日本大震災から得た教訓を踏まえ、いかなる大規模自然災害等が発生しようとも、強靱な地域社会を構築し、安全で安心なまちづくりを推進するための指針として、国、県の計画の改訂に対応し、三春町における強靱化の取組を一層強化するため策定した。
概要	基本目標:①人命の保護が最大限図られること ②行政及び地域社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること ③住民の財産及び公共施設に係る被害を最小化にすること ④迅速な復旧・復興を図ること 事前に備えるべき目標:①あらゆる自然災害に対し、人命の保護が最大限図られる ②救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ ③必要不可欠な行政機能は確保する ④経済活動を機能不全に陥らせない ⑤必要不可欠な情報通信機能や生活・経済活動に必要な電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、早期復旧を図る ⑥地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する

強靱化施策の展開方向: ①生命と財産を守る防災インフラの整備・管理 ②交通・通信・エネルギーなどライフラインの強靱化 ③デジタル等新技術の活用による国土強靱化施策の高度化 ④災害時における事業継続性確保を始めとした官民連携強化 ⑤地域における防災力の一層の強化	
宝物に関連する主な事項	
強靱化のための施策プログラム 1 人命の保護 1-1-1 住宅・建築物等の耐震化 【脆弱性評価(今後の検討課題)】 ・郷土資料や文化財の倒壊による人的被害や文化的資産の喪失を防ぐための展示方法の点検などの対策が必要である。 【施策プログラム】 ・文化財等の展示方法の点検などの防災対策による人的被害の回避と文化財等の保全を図る。	
強靱化のための施策プログラム 6 迅速な復旧・復興等 6-3-1 歴史・文化・伝統の保存 【脆弱性評価(今後の検討課題)】 ・文化財の魅力を後世に残すため保護保全に努め、災害等での地域のコミュニティの崩壊により衰退しない強化体制が必要である。 ・建築物等については、耐震補強等を施す必要がある。 【施策プログラム】 ・災害時にコミュニティがまとまって、行動できるための防災力を向上できるような体制を整備する。 ・地域固有の価値を有する貴重な文化財を、確実に保存し後世へ継承するとともに、個性豊かなまちづくりに活用するため、利用者の安全や防災面に配慮して、環境整備を進める。	

(5)三春町地域防災計画

名称	三春町地域防災計画
策定・改正年	令和 4(2022)年修正
対象期間	令和 4(2022)年～
策定者	三春町防災会議
目的	災害対策基本法(昭和 36 年法律第 223 号)第 42 条の規定に基づき、三春町及び防災関係機関が処理しなければならない事務又は業務について総合的な運営を計画したものであり、防災機関が災害予防、災害応急対策及び災害復旧を実施することにより、住民の生命、身体及び財産を保護し、被害を最小限に軽減し、もって社会の秩序維持と公共の福祉の確保を図ることを目的に策定した。
概要	本計画は、関係機関の実施責任を明確にするとともに、関係機関相互の緊密な連携を図るための指標である。災害の予防と応急対策及び復旧に重点をおき、防災活動が迅速かつ適切に行われるよう計画的に実施するための指標とする。
宝物に関連する主な事項	【第 3 章 災害予防計画】 第 13 節 災害対策訓練 災害が発生した場合において、災害応急対策の完全遂行を図るために行う総合防災訓練の訓練種目に「文化財自主防災組織初期消火訓練」を位置付けている。

【第4章 災害応急対策計画】

第19節 文教対策

(1) 社会教育施設、文化財の応急対策

①建物及び文化財の対策

生涯学習グループ・歴史民俗資料館、町民図書館は、関係機関及び所有者等と協議して、適宜、予防査察等の防災診断を行い、予防及び応急対策の計画をたて、施設及び文化財の保全に努めるとともに、迅速に対応できる体制を確立しておく。

②搬出可能な文化財の対策

歴史民俗資料館は、所有者等と協議して文化財の保全の知識を有する者を搬出責任者に定め、搬出の万全に努めるとともに、あらかじめ搬出場所や搬出用具を準備しておく。

③史跡等の応急対策

史跡、名勝、天然記念物はその性質等により被害の様相が異なるので、歴史民俗資料館は関係機関及び所有者等と協議して、適宜、巡視活動を行い、管理状況を把握し、被災時の応急措置が図られるよう計画を立てておく。

(6)三春町観光ビジョン～桜と歴史と文化の城下町～

名称	三春町観光ビジョン～桜と歴史と文化の城下町～
策定・改正年	平成29(2017)年
対象期間	平成29(2017)年度～令和8(2026)年度
策定者	三春町
目的	観光振興を三春町のまちづくりを支える重要分野として位置づけ、住む人にも、訪れる人にも、そして営む人にも魅力ある三春町となることを目指し、観光振興の取り組み指針として策定した。
概要	基本理念:ほんとうの豊かな暮らしを創生する 観光振興の将来像(キャッチフレーズ):桜と歴史と文化の城下町 基本方針:創生1 観光資源の魅力を高めて「まち」を創生 創生2 観光産業を創生し、我が町の基盤産業に 創生3 旅行者が快適に観光を満喫できる環境を創生
宝物に関連する主な事項	施策1 既存の観光資源の磨き上げによる魅力向上 ①「桜」のまち三春の魅力づくり推進(ダム周辺施設・さくらの公園の環境整備等) ②「歴史」のまち三春の魅力づくり推進(お城山と城下町の魅力向上) ③「文化」のまち三春の魅力づくり推進(町民と観光客が共有する郷土芸能の保存・活用) 施策2 観光客をひきつける新たな観光資源の開発 ①城下町の暮らしが垣間見える「まちなか観光」の推進 ②ブルーベリー摘み取りや野菜収穫体験を組み合わせた着地型観光の創出 施策3 体験・交流型観光の魅力づくり ①交流に結び付く地域産業と連携した観光資源の形成 ②豊かな自然環境や教育施設、生業を活用した学びの体験プログラムの創出・充実 施策4 既存イベントの展開による誘客力の向上 ①既存イベントの充実による集客力の向上促進 ②既存のスポーツイベントを活用した三春の魅力に触れるきっかけづくりの促進 施策5 食の魅力創造 ①郷土食の掘り起しと魅力の再構築 ②多様な味を活かしたご当地料理の開発 ③郷土食・ご当地料理・グルメ等の魅力を味わう機会の創出 ④特産品の販路拡大と「食」を通じた魅力の発信

施策 6 三春ブランドの確立

- ①町独自の観光資源のブランド化
- ②6次産業化の推進と製品のブランド化
- ③三春ブランドのプロモーション活動

施策 7 民間活力を活かす官民連携の推進

- ①民間活力による観光まちづくりの推進
- ②民間事業者が実施する集客イベントの支援

施策 8 情報発信、PR 活動の強化

- ①公式ホームページの充実と観光案内マップの充実
- ②多様なコンテンツを活用した情報発信

施策 9 観光振興を支える体制づくりと人材の育成

- ①観光をコーディネートする組織づくりの推進
- ②観光を支える多様な機関による官民連携の体制づくりの推進
- ③観光を支える人づくり

施策 10 観光資源のネットワーク化及び周辺観光地との連携強化

- ①観光資源の魅力あるネットワーク化の推進
- ②広域連携による観光資源の魅力向上と誘客機会の創出

施策 11 安全・快適な環境インフラの整備

- ①ユニバーサルデザインとバリアフリーの推進
- ②環境づくりの推進
- ③インバウンドに対応した環境づくりの推進(観光地の多言語化、飲食店等の受入体制の整備)

(7) 滝桜保護保存周辺環境整備基本構想

名称	滝桜保護保存周辺環境整備基本構想
策定・改正年	平成 21 (2009) 年
対象期間	平成 21 (2009) 年～
策定者	三春町、滝桜保護保存周辺環境整備検討委員会
目的	滝桜の保護・保存と、地域住民の快適な生活、観光客への利便の供与を目的として策定した。
概要	基本理念: 滝桜の保護・保存、地域住民の快適な生活、観光客への利便の供与の共存、調和を図る
主な事項	【保存管理計画の大綱】 (1) 滝桜の樹勢の維持、回復を図る (2) 周辺環境・景観との調和を図る (3) 保護意識の醸成を図る (4) 保存管理体制の充実を図る (5) 住民生活や観光との共存、調和を図る 【保存管理計画の体制】 ・滝桜の管理団体である三春町が、許認可関係行政機関、三春さくらの会や地元滝地区、滝桜保存会を始めとする地域住民と連携を取りながら、滝桜の総合的な保存管理及び活用を図る。 ・町の窓口は、滝桜の保存管理に関しては教育委員会文化財担当(生涯学習課歴史民俗資料館)、周辺環境の整備及び維持に関しては観光担当(産業課観光グループ)とする。 ・地元地区や各種団体と町との連携を強化するために、定期的に協議をする協議会の設置を検討する。

資料2. アンケート調査の結果

資料2. アンケート調査の結果

三春町では、令和6（2024）年度に、町民の宝物に対する意識や、所有者の宝物の管理状況、保存会の活動状況等を調査するアンケートを実施しました。各アンケートの結果の概要を以下に示します。

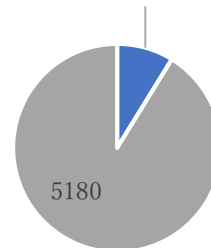
町民アンケート

- ・調査対象：町民（中学生を除く）
- ・配布部数：町民 5,678 部（全戸に配布）
＋『広報みはるが好き』10月号にアンケートの案内と回答用QRコードを掲載
- ・回答期間：2024年10月1日～31日
- ・回収部数：498部（回収率 約9%）

中学生アンケート

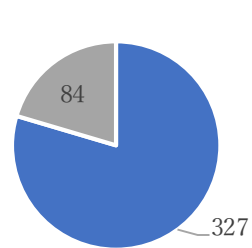
- ・調査対象：町内の中学生
- ・配布部数：411部（全中学校に配布）
- ・回答期間：2024年10月1日～31日
- ・回収部数：327部（回収率 約80%）

町民アンケート回収率



■ 回収 ■ 未回収

中学生アンケート回収率



■ 回収 ■ 未回収

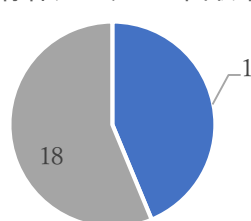
所有者アンケート

- ・調査対象：寺社、団体及び個人等の指定文化財の所有者・管理者
- ・配布部数：32部（全ての所有者・管理者）
- ・回答期間：2024年11月1日～19日
- ・回収部数：14部（回収率 約44%）

保存会アンケート

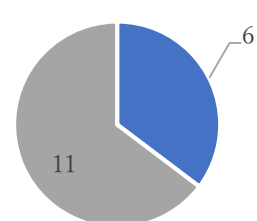
- ・調査対象：無形文化財（郷土芸能等）の保持者・保存会等
- ・配布部数：17部（全ての保持者・保存会等）
- ・回答期間：2024年11月1日～19日
- ・回収部数：6部（回収率 約35%）

所有者アンケート回収率



■ 回収 ■ 未回収

保存会アンケート回収率



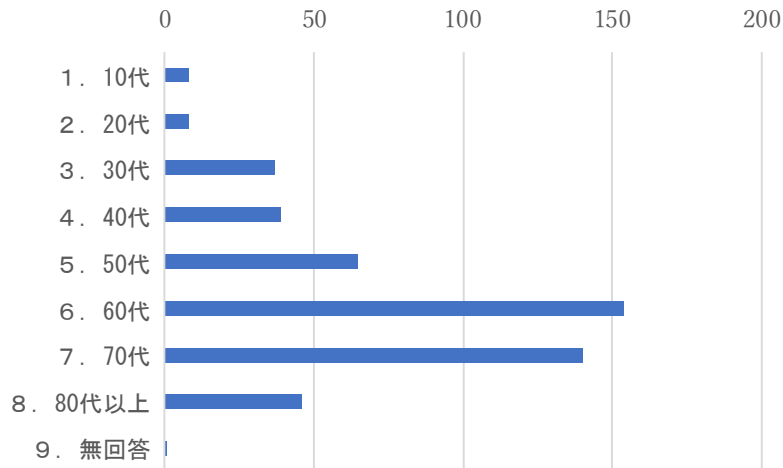
■ 回収 ■ 未回収

(1)町民・中学生アンケート

年齢

- ・回答者の年齢で最も多かったのは、町民（中学生を除く。以下同）の中では「60代」（31%）、次いで「70代」（28%）だった。
- ・若年層に関しては、「20代」は全体の2%、「30代」は7%に留まった。

<町民>



居住地

- ・回答者の居住地で最も多かったのは、町民・中学生ともに「三春地区」（町民 38% 中学生 40%）、次いで「岩江地区」（町民 25% 中学生 31%）であり、人口比を反映しているといえる。

出身地

- ・回答者の出身地で最も多かったのは、町民と中学生ともに「三春町で生まれ育った」（町民 45% 中学生 67%）、次いで「三春町以外から転入した」（町民 39% 中学生 32%）だった。

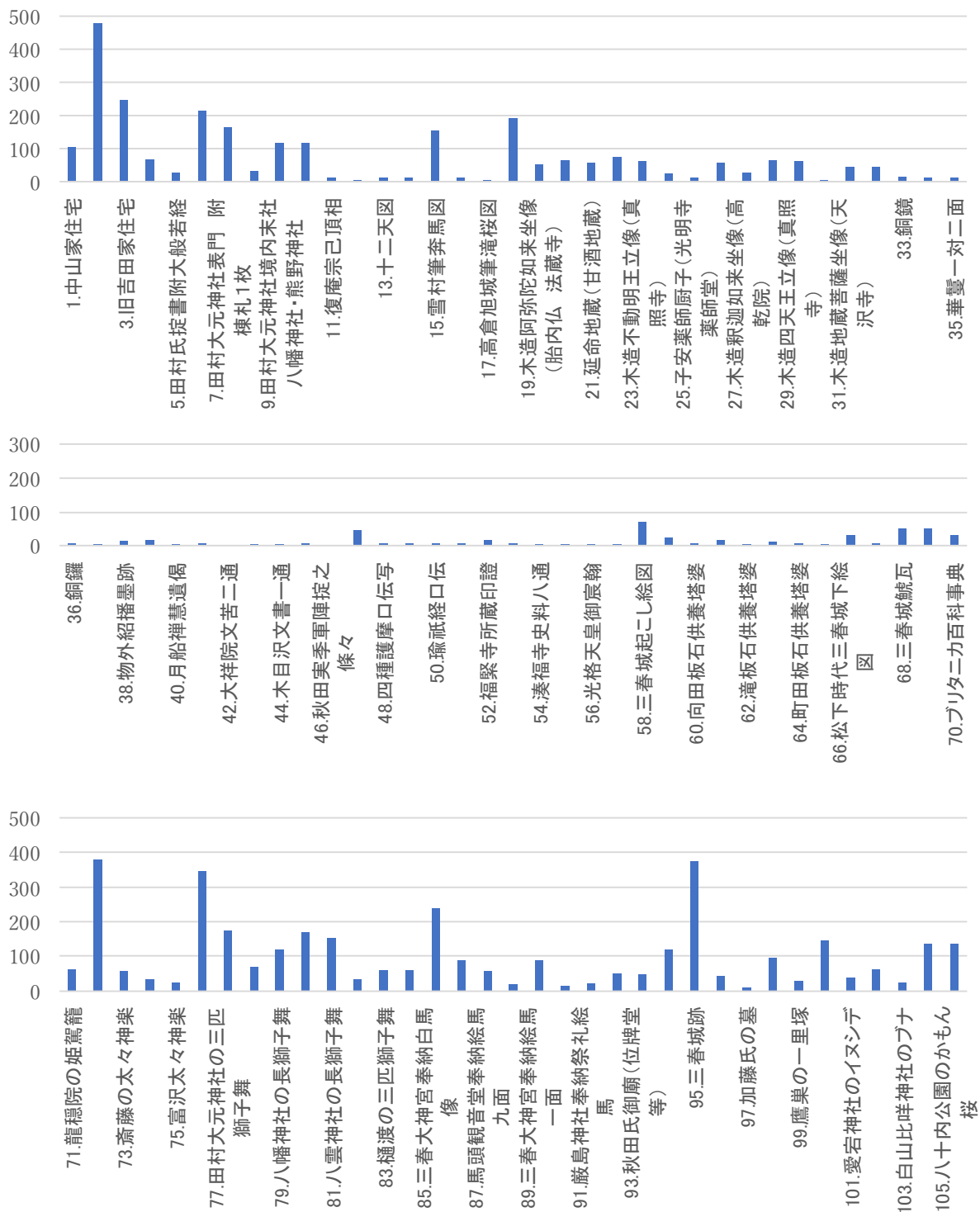
Q1. あなたは三春町の歴史や文化に関心がありますか。

- ・歴史や文化への関心について、町民で最も多かったのは「どちらかといえばある」（41%）、次いで「ある」（38%）だった。
- ・中学生では「どちらかといえばある」（41%）が最も多く、次いで「ある」（21%）、「どちらかといえばない」（20%）だった。

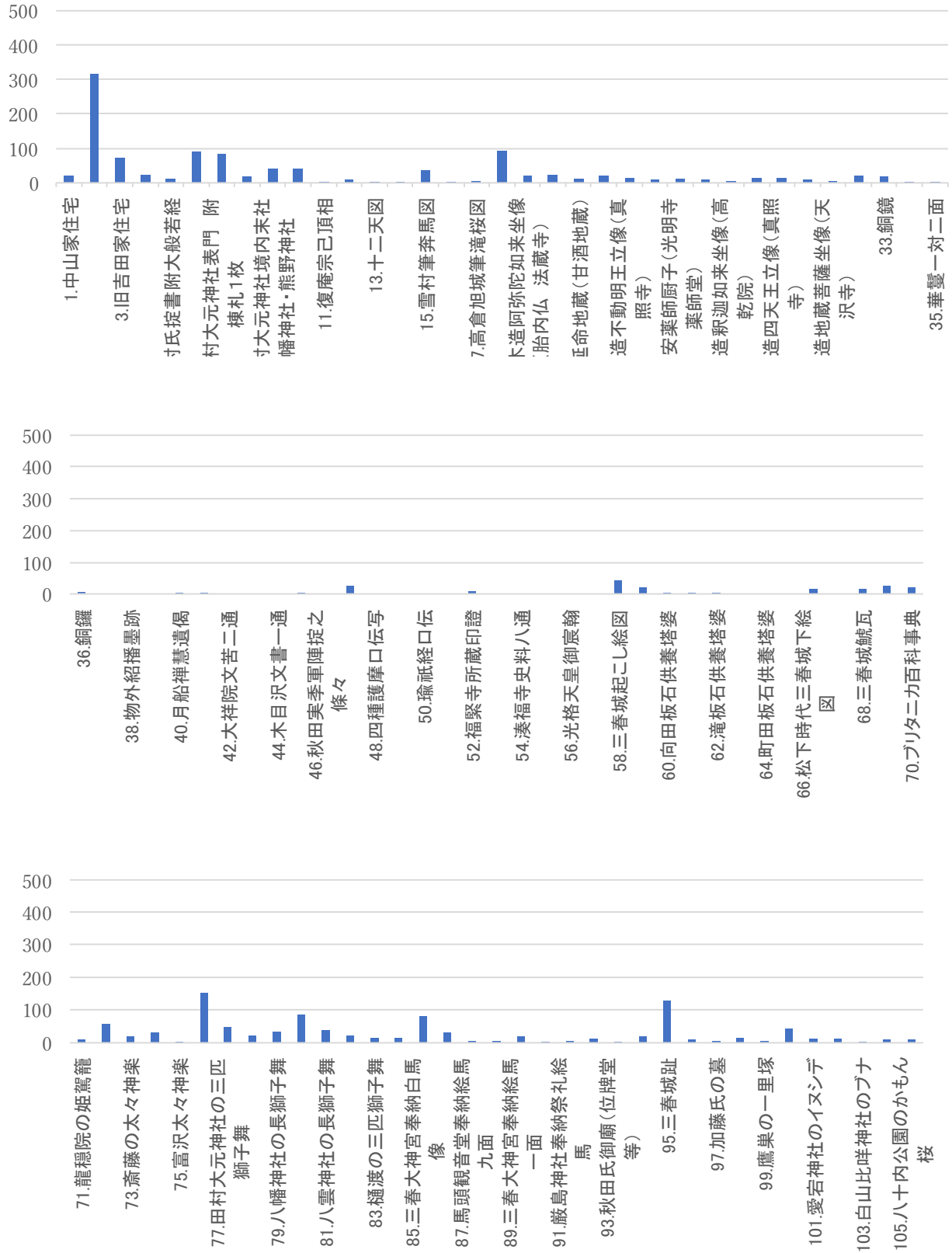
Q2. 別添の「三春町の文化財」を見ながらご回答ください。「三春町の文化財」に掲載されている指定等文化財のうち、知っているものがありましたら○をつけてください。(複数回答可)

- ・全ての指定等文化財の認知度の平均は、町民で13%、中学生で7%だった。
- ・町民の52%以上(平均の4倍)が知っている宝物は「2. 三春滝ザクラ」、「72. 西方の水かけ祭」、「76. 伝統三春盆踊り」、「95. 三春城跡」だった。
- ・中学生の28%以上(平均の4倍)が知っている宝物は「2. 三春滝ザクラ」、「18. 木造金剛力士像(田村大元神社)」、「76. 伝統三春盆踊り」、「95. 三春城跡」だった。
- ・最も知られている宝物は「三春滝ザクラ」で、町民と中学生のそれぞれ96%が認知していた。

<町民>



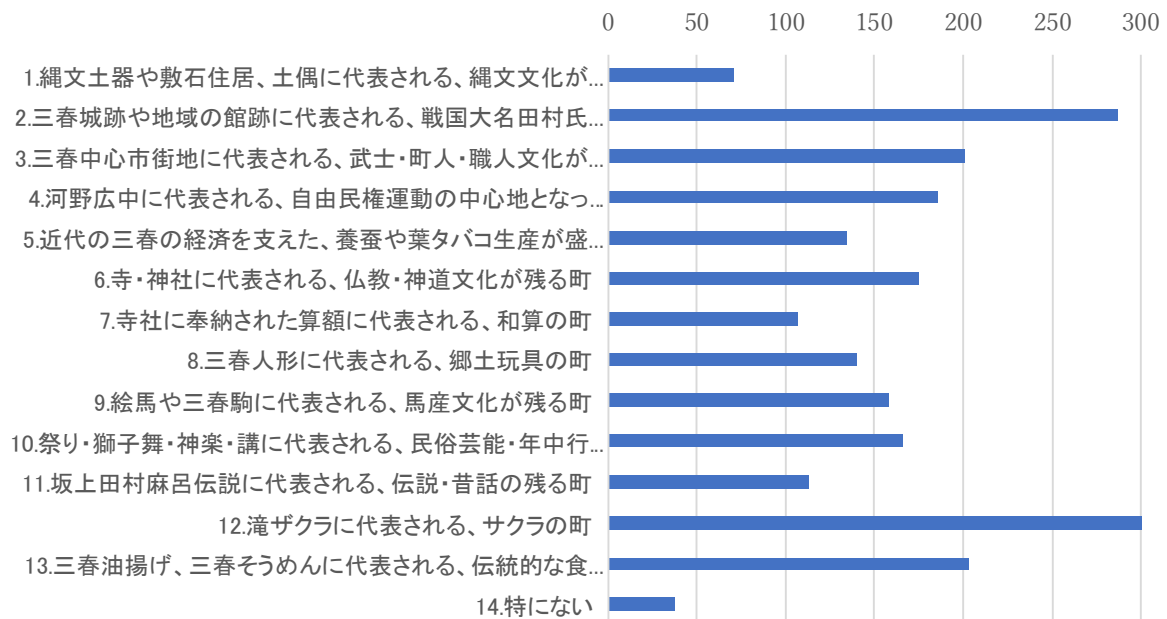
<中学生>



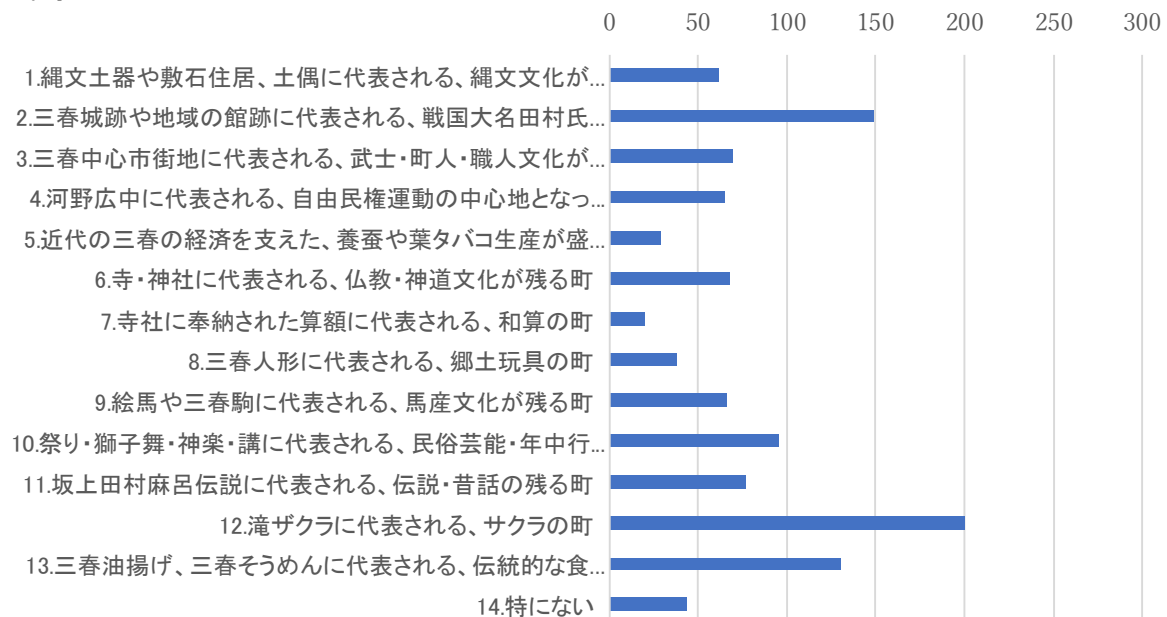
Q3-1. 三春町の歴史や文化を表す以下の特徴のうち、関心があるものや、もっとよく知りたいと思うものはありますか。(複数回答可)

- ・選択肢に挙げられた歴史や文化を表す特徴への関心度の平均は、町民で 33%、中学生で 24%だった。
- ・関心度が高い特徴として、町民と中学生で共通して特に多く挙げられたのは「12. 滝ザクラに代表される、サクラの町」(町民 61%、中学生 61%)、「2. 三春城跡や地域の館跡に代表される、戦国大名田村氏と愛姫の町」(町民 58%、中学生 46%)、「13. 三春油揚げ、三春そうめんに代表される、伝統的な食文化が伝わる町」(町民 41%、中学生 40%) だった。

<町民>



<中学生>



Q3-2. 上記の他に、三春町を他の地域の人に紹介するとしたら、どのように紹介しますか。三春町の歴史や文化を表す特徴だと思ふことがありましたらご記入ください。(自由記述)

- ・Q3-1の選択肢以外の特徴として、町民からは、「東北の鎌倉・小京都」というキーワードや、画僧の雪村や登山家の田部井淳子氏等の人物、小浜海道関連や道標等の宝物、町中に蔵や坂道が多いといった特徴が挙げられた。
- ・中学生からは、三春グルメンチやピーマン等の近年の食文化、自然が豊かであることや地域の人々が温かいといった特徴が挙げられた。
- ・Q3-1の選択肢以外の特徴を問う設問だったが、回答のうち半数以上はQ3-1の選択肢に関連するものであり、「これら以外で三春町の特徴は語れないと思う」という意見もあった。

Q4. あなたにとって大切な《地域の宝物》はありますか。地区・住所（どこにあるか）や時代（いつのものか）もわかる範囲でご記入ください。(自由記述)

- ・町民と中学生合わせて、三春地区内で37件、御木沢地区内で5件、中郷地区内で8件、沢石地区内で19件、要田地区内で12件、岩江地区内で20件、中妻地区内で12件の地域の宝物（ここでは指定等文化財も含む）が挙げられた。
- ・各地区で複数人から挙げられた主な宝物は以下のとおり。

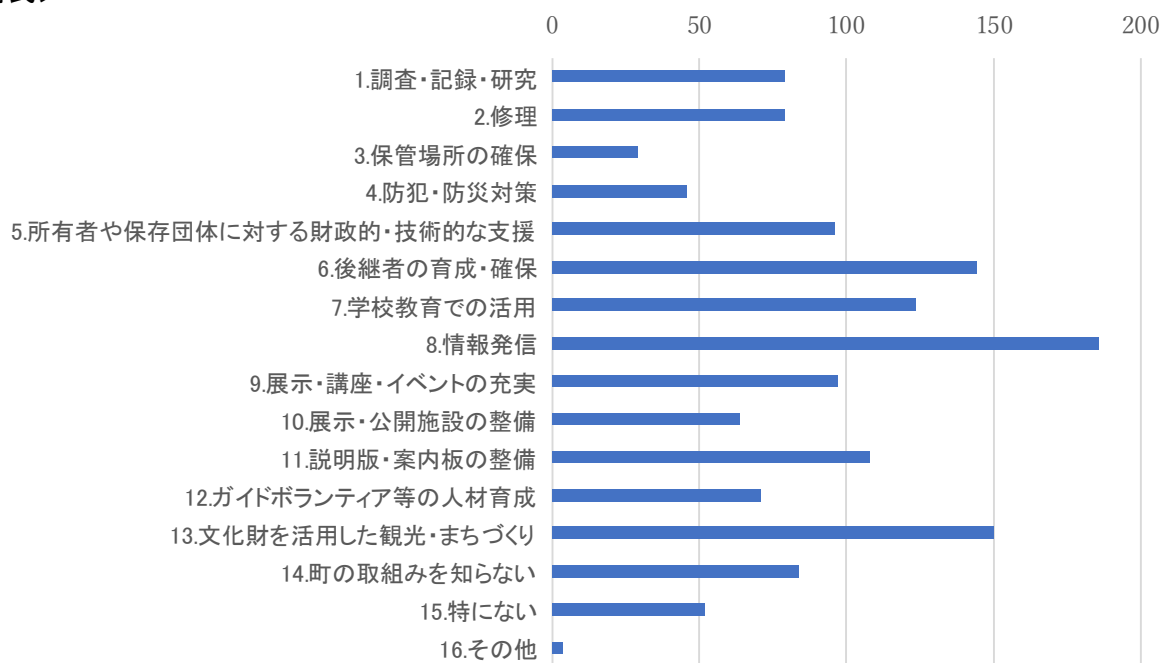
地区	複数人から挙げられた主な宝物	挙げた人数
三春	三春大神宮 秋季例大祭	町民2人、中学生2人
	盆踊り	町民3人、中学生5人
	旧遠藤医院	町民3人
	庚申坂	町民4人
	三春グルメンチ	中学生11人
	三春城跡(町指定)	町民1人、中学生4人
	藩講所明德堂表門(町指定)	中学生16人
御木沢	厳島神社(天井絵)	町民1人、中学生2人
中郷	春田大橋	中学生4人
	三春滝ザクラ(国指定)	町民5人、中学生139人
沢石	堂平遺跡	町民2人
	沢石盆踊り	中学生2人
要田	平堂壇の桜	町民1人、中学生4人
岩江	北山子育て地藏尊	町民3人、中学生2人
	今朝三桜	町民1人、中学生4人
中妻	三春ダム	町民3人
	西方水かけ祭(町指定)	町民1人、中学生1人

- ・上記のほか、町全域に関わるものとしては、「油揚げろうく焼」、「三春そうめん」、「三春ゆべし」、「ブルーベリー」等の食に関わるものや、「おぼんです」、「さすけねえ」等の方言、各地の田園風景等が挙げられた。

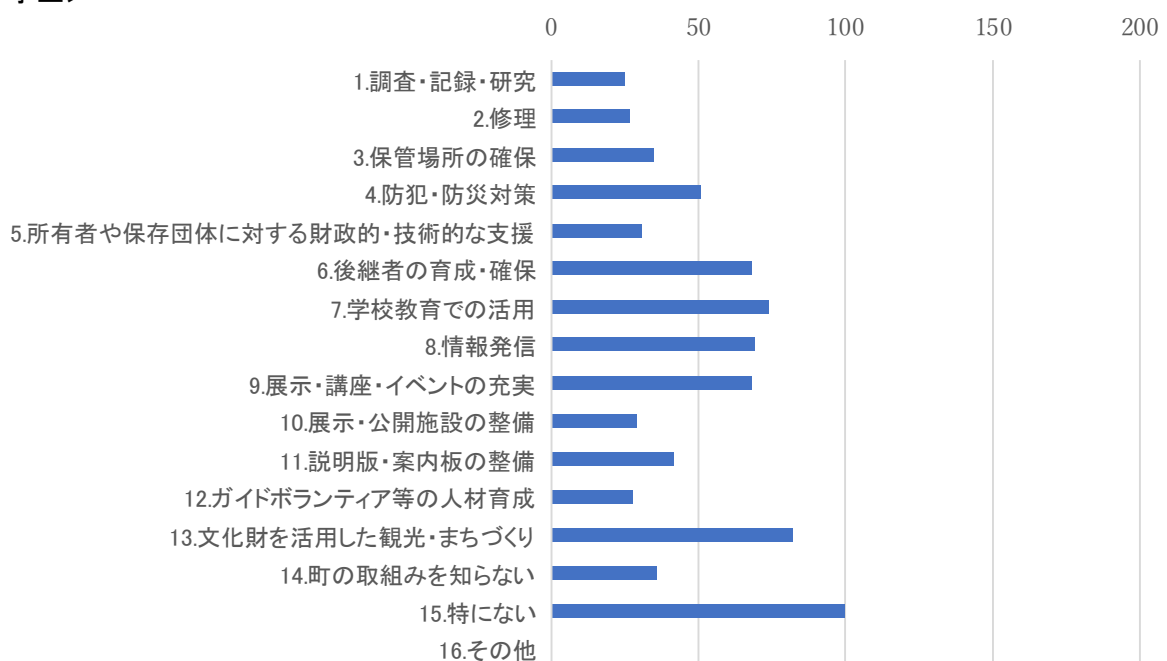
Q5-1. 町が行う文化財（指定等文化財、地域の宝物）の保存・活用の取組の中で、不足していることは何だと思いますか。（複数回答可）

- ・不足している取組として、町民と中学生で共通して多く挙げられたのは「8. 情報発信」（町民 37% 中学生 21%）、「13. 文化財を活用した観光・まちづくり」（町民 30% 中学生 25%）、「6. 後継者の育成・確保」（町民 29% 中学生 21%）、「7. 学校教育での活用」（町民 25% 中学生 23%）だった。
- ・上記のほか、中学生からは「15. 特にない」（31%）、「10. 展示・講座・イベントの充実」（21%）も多く挙げられた。

<町民>



<中学生>



Q5-2. 選択した項目について、具体的な内容があればご記入ください。（自由記述）

- ・「情報発信」に関しては「町民であっても知らないことが多い」や「滝ザクラ以外の文化財についてもPRした方が良い」等の意見があった。
- ・「文化財を活用した観光・まちづくり」に関しては「歴史や文化を現代風にコンテンツ化できていない」や「滝ザクラ以外のガイドツアーがない」等の意見があった。
- ・「後継者の育成・確保」に関しては「少子化等により三匹獅子舞や三春人形等の継承が困難になっている」等の意見があった。
- ・「学校教育での活用」に関しては「子供の頃から文化財に触れさせて地元愛を育てたい」、「三春町の小中学校に通った自分に文化財への知識が殆どなく関心も持ちにくかったのは、学校教育であまり扱われなかったからではないか」等の意見があった。
- ・上記の意見から、認知度の突出して高い三春滝ザクラ以外の宝物についても町民が子供の頃から慣れ親しみ、宝物を継承していくことが望まれていると考えられる。

Q6-1. 歴史や文化に関するイベントとして、どのようなものに参加してみたいですか。（複数回答可）

- ・参加してみたいイベントとして町民から最も多く挙げられたのは「文化財を巡るガイドツアー、現地説明会・見学会」（48%）、次いで「専門家の話を聞く講座、フォーラム、シンポジウム」（34%）だった。
- ・町民のうち30代以下の若年層から突出して多く挙げられたのは「土器作り等の体験型イベント」だった（10～30代の42%）。
- ・中学生から最も多く挙げられたのは「土器作り等の体験型イベント」（42%）、次いで「特にない」（35%）だった。

Q6-2. 選択した項目について、具体的な希望があればご記入ください。（自由記述）

- ・「文化財を巡るガイドツアー、現地説明会・見学会」に関しては、「短時間で周遊できるツアーに参加したい」や「子供と一緒に参加したい」等の意見が挙げられた。
- ・「専門家の話を聞く講座、フォーラム、シンポジウム」に関しては、「高齢者にも易しい内容にして欲しい」や「日中時間を確保することが難しい人のために夜間講座やオンライン講座を開いて欲しい」等の意見が挙げられた。
- ・「土器作り等の体験型イベント」に関しては、「子供が楽しめる、昔の玩具や食文化等に関わるイベントを開催して欲しい」や「親子三代で参加できるようなイベントを開催して欲しい」等の意見が挙げられた。
- ・上記の意見から、イベントについては、内容だけでなく開催時間や方法を工夫し、高齢者や社会人、親子等、多様な人々が参加できる環境作りが望まれていると考えられる。

Q7-1. 歴史や文化に関するイベントの情報の入手方法として、どのようなものを希望しますか。（複数回答可）

- ・イベント情報の入手方法の希望として町民から突出して多く挙げられたのは「広報『みはるが好き』」（79%）、次いで「ホームページ、SNS」（39%）、「チラシの配布」（32%）だった。
- ・町民のうち40代以下からは「広報『みはるが好き』」（10～40代の76%）と「ホームページ、SNS」（10～40代の68%）が同程度に多く挙げられた。

- ・中学生からは「広報『みはるが好き』」(39%)、「テレビ、ラジオ」(35%)、「公共施設等でのポスターの掲示」(34%)、「ホームページ、SNS」(31%)が同程度に多く挙げられた。

Q7-2. 選択した項目について、具体的な希望があればご記入ください。(自由記述)

- ・「広報『みはるが好き』」に関しては、「見落とさないよう特集記事にして欲しい」や「文化財の紹介コーナーを設けて欲しい」等の意見が挙げられた。
- ・「チラシの配布」に関しては、「広報と合わせて全戸配布して欲しい」等の意見が挙げられた。
- ・「ホームページ、SNS」に関しては、「町の公式LINEが使いやすいため、これからも活用して欲しい」等の意見が挙げられた。
- ・上記の意見から、情報発信については、広報「みはるが好き」と町の公式LINEを引き続き活用していくことが望まれていると考えられる。

(2)所有者アンケート

Q1. 文化財の保存状態を教えてください。

- ・宝物の保存状態で最も多かったのは「良好に保存されている」(71%)であり、それ以外は「博物館への寄託等で所在場所を変更している(保存状態を把握していない)」(29%)だった。

Q2. 文化財の防災・防犯対策としてどのようなことをしていますか。(複数回答可)

- ・防災・防犯対策として特に多かったのは「定期的な巡回により所在や異常を確認している」(43%)、次いで「消火栓や火災報知器等の防火設備を設置している」(36%)、「施錠設備等、保管場所や出入口への侵入防止措置を講じている」(29%)だった。
- ・「耐震・免震設備を設置している」、「定期的に避難訓練や防火訓練を実施している」、「定期的に防犯設備の点検や、防犯診断を実施している」、「管理台帳(目録・写真)を作成、管理している」について実施している所有者はいなかったため、今後の対策強化が必要だと考えられる。
- ・「特になし」(14%)とした所有者もいたため、状況に応じた対策の推進が必要だと考えられる。

Q3. 文化財の公開頻度について教えてください。

- ・公開頻度として最も多かったのは「見学希望があった場合のみ」(36%)であり、それ以外は「常時」、「定期的に期間限定で」、「その他」が同じ割合だった。
- ・「その他」の内容としては「土日祝日のみ」や「資料館に寄託中」があった。

Q3-2. Q3-1で「1. 常時」と回答した人以外にお尋ねします。その理由は何ですか。(複数回答可)

- ・常時公開しない理由として最も多かったのは「対応する人員不足のため」(36%)、次いで「き損、劣化への不安のため」(21%)、「その他」(21%)だった。
- ・「その他」の内容としては「文化財のある神社に常時居られず、盗難やいたずらが不安なため」、「一部どこにあるかわからないため」、「見学者が稀なため」という意見が挙げられた。

Q4. 公開以外の活用方法として、これまでどのようなことを行ってきましたか。(複数回答可)

- ・公開以外の活用方法として最も多かったのは「博物館の展示会等に出展」(43%)、次いで「地域の行事で使用」(29%)、「調査研究の受け入れ」(29%)だった。
- ・29%の所有者はいずれの公開以外の活用も行っていないため、状況に応じた活用方法の検討が必要だと考えられる。

Q5-1. 文化財を保存・活用する上でこれまで連携・協力してきた機関や施設はありますか。

- ・これまで連携・協力してきた機関や施設で最も多かったのは歴史民俗資料館も含めた「行政」(36%)、次いで「地域住民」(21%)、「大学、研究機関、美術館、博物館、図書館」(14%)、「保存会等の民間団体」(14%) だった。

Q5-2. 具体的な連携内容を教えてください。(自由記述)

- ・「行政」との連携内容としては「震災後の歴史民俗資料館からの修理、対応方法等に関する助言」が挙げられた。
- ・「地域住民」との連携内容としては「祭礼時の清掃活動及び行事活動」が挙げられた。
- ・「大学、研究機関、美術館、博物館、図書館」との連携内容としては「大学による仏像の調査」が挙げられた。
- ・「保存会等の民間団体」との連携内容としては「民間の学習会等での文化財の公開」と「定期的な祭礼等への文化財の使用」が挙げられた。

Q6-1. 文化財を保存・活用する上で今後連携・協力したい機関や施設はありますか。(複数回答可)

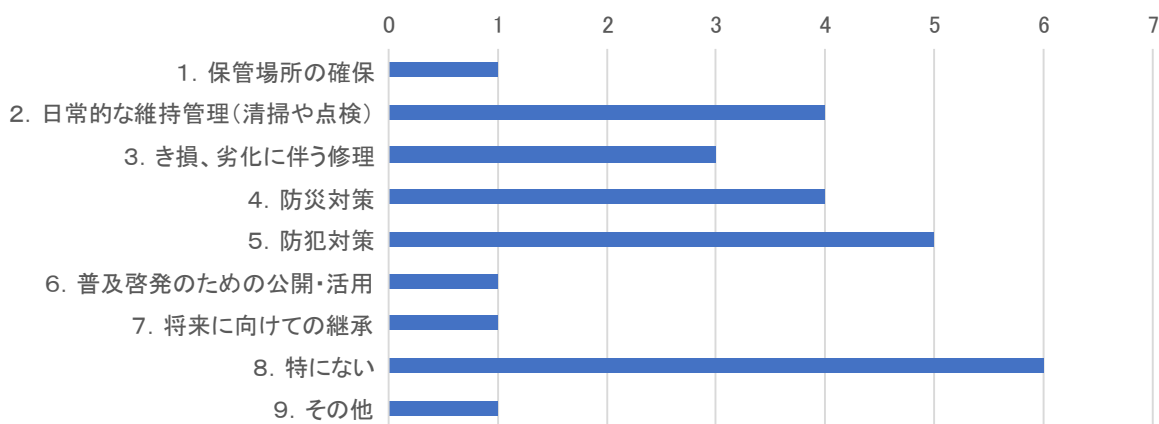
- ・今後連携・協力したい機関や施設で最も多かったのは「特にない」(50%) であり、それ以外は「行政」(21%)、「大学、研究機関、美術館、博物館、図書館」(14%)、「消防署、警察署」(14%) だった。

Q6-2. 具体的な連携内容を教えてください。(自由記述)

- ・「行政」との連携内容としては「所有文化財について掃除はしているが、どのような状態なのかは良くわかっていないため教えて欲しい」が挙げられた。
- ・「大学、研究機関、美術館、博物館、図書館」との連携内容としては「依頼があれば広く公開してみたい」、「研究機関等に文献などを調べてもらうなど活用してもらいたい」が挙げられた。
- ・「消防署、警察署」との連携内容としては「盗難への不安が大きい」等が挙げられた。
- ・上記の意見から、連携や協力の要望は少ないが、行政や研究機関等と連携した宝物の調査・研究や防犯対策の強化が望まれていると考えられる。

Q7-1. 文化財の保存・活用に関して大変なこと、困っていることは何ですか。（複数回答可）

- ・保存・活用で大変なこととして最も多かったのは「8. 特にない」（43％）で、次いで「5. 防犯対策」（36％）、「2. 日常的な維持管理（清掃や点検）」（29％）、「4. 防災対策」（29％）だった。

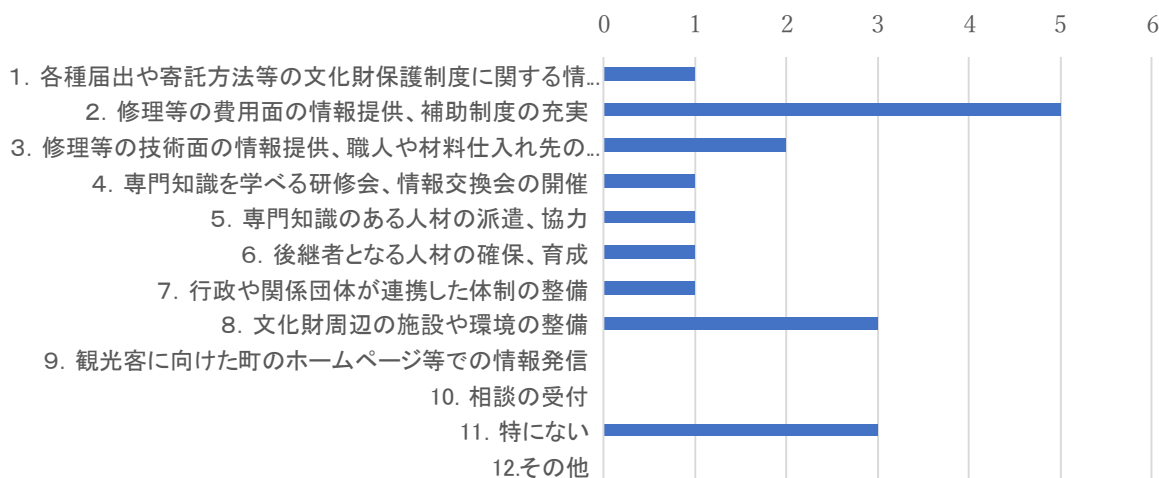


Q7-2. Q7-1 で選択した内容の詳細を教えてください。

- ・「日常的な維持管理（清掃や点検）」に関しては「維持管理の具体的な方法が曖昧である」等が挙げられた。
- ・「防犯対策」及び「防災対策」に関しては「施錠以外特別なことをしていないため心配している」が挙げられた。
- ・上記の意見から、大変だと感じることは少ないが、維持管理の方法や防災・防犯対策に懸念があると考えられる。

Q8-1. Q7-1 で選択したことについて町に何を求めますか。（複数回答可）

- ・町に求めることとして最も多かったのは「2. 修理等の費用面の情報提供、補助制度の充実」（36％）、次いで「8. 文化財周辺の施設や環境の整備」（21％）、「3. 修理等の技術面の情報提供、職人や材料仕入れ先の紹介」（14％）だった。



Q8-2. 上記で選択した内容の詳細を教えてください。(自由記述)

- ・「費用面の情報提供、補助制度の充実」に関しては「修理等に補助して欲しい」が挙げられた。
- ・「技術面の情報提供、職人や材料仕入れ先の紹介」に関しては「修理や環境整備について他地区の様子が知りたい」が挙げられた。
- ・上記の意見から、主に宝物の保存・活用に必要な費用への補助が望まれていると考えられる。

Q9. 文化財の保存・活用に関わってきて良かったこと、嬉しかったことは何ですか。(自由記述)

- ・保存・活用に関わってきて良かったこととして、14%の所有者から回答があった。
- ・「歴史・文化について知識が増えた」と「文化財を次世代へ引き継ぐことが嬉しい。区民の協力体制ができているのが心強い」が挙げられた。

Q10. 指定等文化財の所有者として今後行っていきたいことは何ですか。(複数回答可)

- ・今後行っていきたいことで最も多かったのは「防災・防犯対策の強化」(36%)と「行政や地域、関係団体との連携」(36%)だった。

Q11. ここまで回答してきた文化財に関して、保存・活用していくべき《地域の宝物》が身の回りにあれば教えてください。また、直接関係がないものでも、身近に《地域の宝物》があれば教えてください。(自由記述)

- ・三春地区内で2件、中妻地区内で8件の宝物が挙げられた。

(3)保存会アンケート

Q1-1. 設立時期はいつですか。(自由記述)

- ・設立時期は、平成年間が60%、昭和年間が20%、不明が20%だった。

Q1-2. 活動最盛期の会員数は何人程度でしたか。

- ・最盛期の会員数は「10～30人」が40%、「30～50人」が20%、不明が40%だった。

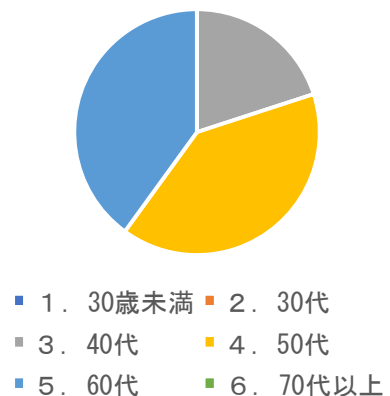
Q2. 現在の会員の人数は何人ですか。

- ・現在の会員数は「10～30人」が100%だった。

Q3. 会員の平均年齢はおおよそ何歳ですか。

- ・会員の平均年齢は、「50代」が40%、「60代」が40%、「40代」が40%だった。

Q3. 会員の平均年齢



Q4. これまでどのような活動をしてきましたか。(複数回答可)

- ・活動内容で最も多かったのは「祭礼行事等での上演、発表」(100%)、次いで「練習会、研修会」(60%)だった。

Q5-1. 活動する上でこれまで連携・協力してきた機関や施設はありますか。(複数回答可)

- ・これまで連携・協力してきた機関や施設で最も多かったのは「地域住民」(60%)、次いで「行政」(40%)、「小中学校、高校、専門学校」(40%)、「まちづくり協議会」(40%)、「保存会等の民間団体」(40%)だった。

Q5-2. 具体的な連携内容を教えてください。(自由記述)

- ・「地域住民」との連携内容としては「広報による周知」と「寄付」が挙げられた。
- ・「行政」との連携内容としては「集会所の使用」が挙げられた。
- ・「小中学校、高校、専門学校」との連携内容としては「小学校への巫女の要請」が挙げられた。
- ・「まちづくり協議会」との連携内容としては「文化祭での上演」が挙げられた。
- ・「保存会等の民間団体」との連携内容としては「他の保存会との交流」が挙げられた。

Q6-1. 活動する上で今後連携・協力したい機関や施設はありますか。(複数回答可)

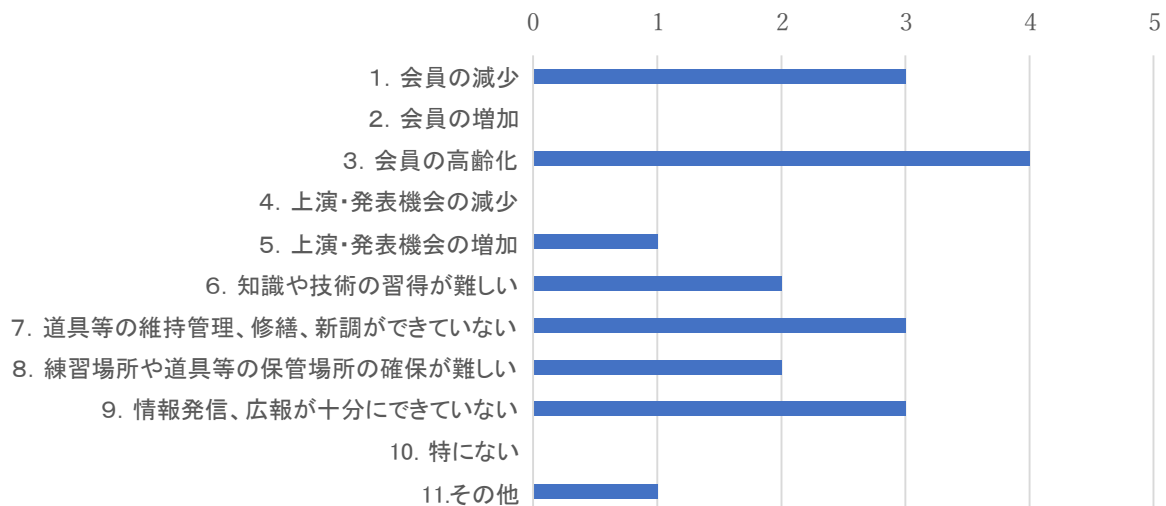
- ・今後連携・協力したい機関や施設で最も多かったのは「地域住民」(60%)、次いで「大学、研究機関、美術館、博物館、図書館」(20%)、「まちづくり協議会」(20%)、「民間企業、事業者」(20%)、「保存会等の民間団体」(20%)だった。

Q6-2. 具体的な連携内容を教えてください。(自由記述)

- ・「地域住民」との連携内容としては「周知を徹底したい」が挙げられた。
- ・「まちづくり協議会」との連携内容としては「地域が参加できる取組の検討」が挙げられた。
- ・上記の意見から、主に地域との連携が望まれていると考えられる。

Q7-1. 活動にあたって大変なこと、困っていることは何ですか。(複数回答可)

- ・保存・活用で大変なこととして最も多かったのは「3. 会員の高齢化」(80%)、次いで「1. 会員の減少」(60%)、「7. 道具等の維持管理、修繕、新調ができていない」(60%)、「9. 情報発信、広報が十分にできていない」(60%)だった。



Q7-2. Q7-1 で選択した内容の詳細を教えてください。

- ・「会員の高齢化」及び「会員の減少」に関しては「若い世代は関心が薄く、高齢化で会員減少」等が挙げられた。
- ・「道具等の維持管理、修繕、新調ができていない」に関しては「修繕・新調する予算不足」が挙げられた。
- ・上記の意見から、主に会員の高齢化や減少に懸念があると考えられる。

Q8-1. Q7-1 で選択したことについて町に何を求めますか。(複数回答可)

- ・町に求めることとして最も多かったのは「1. 費用面の補助制度の充実」(80%)、次いで「8. 町のホームページや広報誌等を利用した会員の募集」(60%) だった。



Q8-2. 上記で選択した内容の詳細を教えてください。(自由記述)

- ・「費用面の補助制度の充実」に関しては「補助金の増額」が挙げられた。
- ・その他として「町の定住者不足の解消」と「継承のための協力体制の整備」が挙げられた。
- ・上記の意見から、行政と連携した、保存会維持のための費用や会員の確保が望まれていると考えられる。

Q9. 文化財の保存・活用に関わってきて良かったこと、嬉しかったことは何ですか。(自由記述)

- ・保存・活用に関わってきて良かったこととして、100%の団体から回答があった。
- ・「理解者の増加」、「認知度の上昇」、「地域に活気をもたらすことができる」、「地域住民が喜んでくれる」、「新しい取組の成功」等の意見が挙げられた。

Q10. 今後行っていきたいことは何ですか。(複数回答可)

- ・今後行っていきたいことで最も多かったのは「会員の育成、確保」(80%)、次いで「行政や地域、関係団体との連携」(60%) だった。

Q11. ここまで回答してきた文化財に関連して、保存・活用していくべき《地域の宝物》が身の回りにあれば教えてください。また、直接関係がないものでも、身近に《地域の宝物》があれば、教えてください。(自由記述)

- ・中郷地区内で4件、中妻地区内で1件の宝物が挙げられた。

資料3. 地区ワークショップの結果

資料3. 地区ワークショップの結果

三春町では、令和 6（2024）年度に、地域計画の理解の促進や保存・活用の取組の検討のため、ワークショップを開催しました。

(1)目的

町民への普及啓発

身近にありすぎて認識されていない「文化財」を文化財保護法等による指定の有無や類型に関わらず地域にとって大切な「宝物」として捉え、その価値や保存・活用の取組等を知ることによって文化財への理解を促進し、町民自らが文化財の保存・活用に参加していくための下地を形成します。

町民意見の深化

令和 6（2024）年度 10 月に全戸配布した町民アンケートの結果を共有するとともに、参加者とともに「地域の宝物」の抽出や保存・活用の取組の検討を行い、文化財保護の考えをより深化させます。

地域計画への反映

ワークショップで得られた結果を地域計画や宝物リストに反映させます。

(2)名称

●●地区の宝物を語る会 ※●●は各地区の名称

(3)対象

町全域の住民（三春、沢石、要田、御木沢、岩江、中妻、中郷の 7 地区に分けて実施）

※事前申込制だが当日参加も可。

(4)時期、時間

令和 7（2025）年 1 月～3 月の土日で、1 地区あたり 2 時間半程度。

(5)広報

チラシを各地区に配付。あわせて、町公式 LINE にて記事を配信。

(6)内容

プログラム	内容	時間
開会		5 分
説明 1	地域計画の概要、地域の宝物の定義、文化財類型、これまでにやってきた町の宝物に関する取組等について町からパワーポイントで説明。	15 分
説明 2	ワークショップ全体の進め方について町からパワーポイントで説明。	5 分
<u>ワーク 1</u>	地域の宝物を探そう 町民アンケートで挙げられた「地域の宝物」を参考に、身の回りにある宝物を住民に挙げていただいた。 ①町民アンケートで挙げられた「地域の宝物」について、町からパワーポイントで説明。 ②A～C の 3 つのグループに分かれ、各グループで身の回りの地域の宝物について話し合い、宝物の位置図を作っていた。位置図は宝物がある場所に丸シールと付箋を貼ったもの。付箋には宝物の名前を書いていただいた(わかれば概要、場所、時代も。町民アンケートで挙げられていないものが望ましいとした)。 ③宝物の位置図を前に貼り、各グループの代表者に順番に発表していただいた。	50 分程度
休憩		10 分
<u>ワーク 2</u>	地域の宝物をどうやって守り、活かせるか考えよう 町民アンケートで挙げられた「地域の宝物に関して不足している取組」に対し、町がすべきこと・したら良いと思うこと、町民ができることを住民に挙げていただいた。 ①町民アンケートで挙げられた「地域の宝物に関して不足している取組」について、町からパワーポイントで説明。 ②アンケートで特に回答者の多かった、 ・後継者の育成・確保 ・学校教育での活用 ・情報発信 ・展示、講座、イベントの充実 ・宝物を活かした観光、まちづくり について、 A～C の 3 つのグループに分かれ、各グループで町が何をすべきか・したら良いと思うか、町民が何をできるかを話し合い、付箋に書いていただいた。 ③各グループの付箋をまとめた大判用紙を前に貼り、各グループの代表者に順番に発表していただいた。	50 分程度
閉会		5 分

(7)結果

①三春地区

1) 実施概要

日時：令和7（2025）年1月18日（土）9:30～12:00

場所：三春交流館「まほら」学習室C・D

参加人数：19人（Aグループ7人、Bグループ6人、Cグループ6人）

2) ワーク1（地域の宝物を探そう）の結果

- ・事前の町民アンケートで回答のなかった有形の民俗文化財に該当する宝物が挙げられた。
- ・地区内に点在する身近な「桜」の名所や「花見」の文化が挙げられた。
- ・三春町の過去の姿を示すものとして「地名」が多く挙げられ、由来を知りたいという声があった。

表資-1：ワーク1（地域の宝物を探そう）で挙げられた宝物一覧

大分類	中分類	名称	概要等
有形文化財	建造物	旧清水寺	田村三十三観音の一番札所。裏町通り(裏通り)の桜川沿いから江戸屋民芸工房の裏の橋を上った、御免町の代官屋敷の蔵の奥にある。
		寺	寺がたくさんある。
		丈六薬師堂	4月に祭りを開催している。 4月に祭りを開催している。建物が老朽化しており措置が必要ではないか。
		八幡神社	字雁木田。
		八雲神社	字小浜海道。
		雪村庵	郡山市西田町大田字雪村。元々は三春と呼ばれる地域内だったが現在は郡山市域。
		旧松島太鼓店	字八幡町。建物に風情がある。
	美術工芸品	狛犬	八幡神社の中にある。丈六焼。
		正徳六地藏(正徳地藏尊)	各地に6体(うち4体は清水、馬場、御簾町、新町に現存)あった。馬場のものは最近、お堂が作られた。
		真照寺の書	渡辺絃川の弟子が奉納した書が本堂の軒下に掛かっている。
		なで牛	北野神社のなで牛。近江商人が奉納し、岐阜県の石でできている。
民俗文化財	有形の民俗文化財	看板	蔵や店の軒下に掛けられ、屋号、店名、地位、方位等が書かれている。工芸品。
		丈六焼	丈六地区で焼かれた焼き物。小さい祠や八幡神社の狛犬等。
		中町若連の花車(山車)	大正時代から昭和35（1960）年まで奉納しており、一度途絶えたが、平成元(1989)年に復活して36年経つ。
		祠	各地に祠がある。
	無形の民俗文化財	天沢寺の身代り地藏尊祭り	8月24日に祭りが開催される。地藏尊は森鷗外作『山椒大夫』にまつわる。小さい身代り地藏が何体もあるが、一度借りて成就したら2体返す風習がある。
		八雲神社の祭り	7月に行われる。
記念物	遺跡(碑)	百杯宴の碑	大町の桜川沿いに建っている。
		旧小浜街道	—
		山越の道	会下谷から州伝寺へ抜ける道。
	植物	上遠野氏宅の桜	清水・桜川南岸の桜。
		栗山氏宅の桜	上記の北山裾の桜。
		丈六の桜	丈六にある2本の桜。
		茶室跡地の桜	味処山惣の裏の茶室跡地の土手にある桜。推定樹齢100年以上。工事で敷設されたコンクリートの反射熱・輻射熱によって地面に近い枝の開花が早い。
		宝来寺跡の桜	亀井のお城山北麓(秋田家重臣の一族で明治時代以降代議士を輩出)の一带に咲いている桜。現地では一本桜として見ても城山から三分坂方面を見下ろす形で見ても美しい。

大分類	中分類	名称	概要等
伝統的建造物群	—	弓町の遊郭跡(新庚申坂)	—
その他	風景・眺め	御免町の通りの風情	福聚寺前の坂道の風情が良い。
		農村風景	—
	地名等	会下谷	由来がわかればより愛着が湧くと思う。
		尼ヶ谷	
		込木	
		過足	
		一本松	
		馬場	
		北向町	切通を作った時に、北向きに造成された組屋敷地。
		日向町	切通を作った時に、南向きに造成された組屋敷地。
		担橋	虚空蔵尊に関わる伝説がある。
		松橋	由来がわかればより愛着が湧くと思う。
		持合畑(もちあいばた)	
		烏帽子石(えぼしいし)	
		弓町	
		師範場	
		見渡(みわたし)神社	
		鳥の渡し	八島台団地上空の渡り鳥の通り道。八島台は元々山や池があった場所で、昭和 50 年代に団地を造成した。

3) ワーク 2 (地域の宝物をどうやって守り、活かせるか考えよう) の結果

- ・「情報発信」や「宝物を活かした観光・まちづくり」等の「活かす」取組の前提として、「調査」(宝物の発掘)を行うべきという意見が挙げられた。ワーク 1 から着想を得た意見も含まれていた。
- ・祭礼の維持に関わる意見が挙げられた。

表資-2：ワーク 2 (地域の宝物をどうやって守り、活かせるか考えよう) で挙げられた取組一覧

大分類	中分類	意見
学校教育での活用	体験学習の実施	学校が行う寺や神社の見学内容が乏しいと感じるため、坐禅等の体験を取り入れる。
	偉人に関する授業の実施	郡山市と田村市の小学校では授業で坂上田村麻呂について説明した冊子を用いている。
	地域との連携	学校教育という括りを超えて地域での教育に力を入れる。
情報発信	ホームページの充実	正確な情報をタイムリーに発信する。管理者をどうするかが課題。
	案内板の整備	町外の人にもわかりやすいよう、デザインを統一した看板を設置する。
	マップの作成	眺めが良い場所や写真を撮りやすいビュースポットを示したマップを作成する。
		紫雲閣等の蔵の撮影スポットを示したマップを作成する。
		ワーク 1 で出たような宝物について詳しい人を掲載した「人間マップ(パンフレット)」を作成し、それを使って町内を巡ってもらう。徒歩と車の両方で回れるよう、三春町役場や三春町民第 2 体育館の駐車場も掲載しておく。
	SNS の活用	三春町の観光協会ホームページの担当者が管理する等して YouTube で歴史講座を公開する。興味がある人が見ると思う。
	テレビ番組での紹介	全国や県のテレビ番組で宝物について放送してもらい、観光客を呼ぶ。
展示・講座・イベントの充実	宝物の公開	各家や各店が持つ宝物を観光客に公開する。
	展覧会の開催	最近町で仏像等の盗難が多発しているため、それらが発見された際に「盗まれた仏像展」を開く。
	祭礼の参加特典の設定	祭事に参加するとお札をもらえたり祈祷を受けられたりする等、特典を用意して参加者を増やす。

大分類	中分類	意見
宝物を活かした観光・まちづくり	道の整備	歩きたくない道、立ち止まって休むこともできる道に整備する。
	祭礼参加者の募集	祭り参加者を町外からも募集する(会津坂下町の大俵引きや、柳津町の七日堂裸詣りには外国人も参加していると聞く)。
その他	調査	各家にある宝物(掛け軸や刀)を調査する。
		滝ザクラの子孫の分布図を作成する。
		三春交流館まほらやヨークベニマル、公民館、学校等の人が集まる場所に三春町全域あるいは部分的な白地図を設置し、宝物のある場所を書き込んでもらう。
		小さい白地図・用紙とボックスを設置し、身近な宝物を気軽に書き込んでボックスに入れてもらう。
	保存に取り組んだ上での活用	①宝物を分類する、②宝物をレイヤー・階層ごとに分ける、③保存の手段を考える、④実行する、⑤保存と合わせて活用方法も考える。民間企業のPRに宝物を活用することで、行政や専門家だけでなく民間企業からの協力も得る。
	体制の充実	宝物の保存・活用のアイデアに明確な責任者をつけるため役場に専門の課を設置する。

②沢石地区

1) 実施概要

日時：令和7(2025)年1月26日(日)9:30~12:00

場所：沢石会館

参加人数：24人(Aグループ8人、Bグループ7人、Cグループ5人、Dグループ4人)

2) ワーク1の結果

- ・堂平遺跡は全てのグループから挙げられていた。また、この後のワーク2も含めると、青石・移川発電所、中山家住宅は多くのグループから言及があり、重要な地域の宝物といえる。
- ・寺社を挙げるグループが多かった。
- ・地区内に点在する石碑・石塔等も多く挙げられ、調査が必要との声があった。
- ・桜だけでなく「砂山」やゲンジボタルも挙げられるなど、記念物(動物・植物・地質鉱物)に分類される宝物も着目されていた。

表資-3：ワーク1(地域の宝物を探そう)で挙げられた宝物一覧

大分類	中分類	名称	概要等
有形文化財	建造物	移川発電所	実沢字地神前。
		現人神社	実沢字地神前。
		薬師堂	実沢字永作。
		稲荷神社(青石)	青石字青石坂。
		火雷神社	富沢字一ノ沢。
		八坂神社	富沢字八坂。
		生田神社	富沢字石田。
		愛宕神社	富沢字鬺毛。
		青石発電所	青石・青石坂・移川発電所とともに、近代的な遺産として外せない。県内で10番目にできた発電所であり、地元の人が作ったという意味でも重要。
		稲荷神社(北ノ内)	富沢字北ノ内。
		天日鷲神社	富沢字五本木。
		山津見神社	富沢字砂田。
		瑞祥寺	実沢字古寺。中にある祭壇がとても立派だと聞いている。
		八幡神社(実沢)	実沢字屋戸。
		高木神社	実沢字宮脇。彫刻や建物がとても立派で、価値あるもの。

大分類	中分類	名称	概要等
有形文化財	建造物	大日様	実沢字古沢目。
		中山家住宅	富沢字山中。国指定重要文化財。田村郡内で国指定の建物は2つしか無く、貴重なものであるが、朽ち果てそうになっている。移築するなど、保存の方策を検討して欲しい。
	美術工芸品	お地藏様	富沢字北ノ内。元々は権現様へお参りする際の道標だった。地藏様を通り、今も地名として残っている行人沢を通して、権現様へお参りしたという。本来は65?体あったが、今は2体しかない。
		大黒様石像	富沢字佃田。寛延二年建立とある。
民俗文化財	有形の民俗文化財	天日鷲神社の金の幣束	上記殺生供養塔の伝説がある。実物あり。
	無形の民俗文化財	高木神社三匹獅子	実沢字宮脇。
記念物	遺跡	堂平遺跡	実沢字堂平。今は何もないので復活させたい。将来的に移築された中山家住宅と一緒に復元できればいいのでは。
	遺跡(館跡)	富沢五館	田村四十八館のうち、御館、聖楽館、長根館、臺館、新館の5つが富沢にある。
	遺跡(碑)	大木屋戸石塔群	土手の近くにある。10体ほど?連絡先あり。
		殺生供養塔	富沢。昔、天日鷲神社の御使鷲を鉄砲で射って怪我をさせた人がおり、射った山に供養塔を建立し、天日鷲神社に金の幣束を奉納したもの。
		忠魂碑	富沢字檜梨池頭。
	遺跡(石)	弘法石	弘法大師がここに留まった折、毎日ご飯の代わりに砂を茶碗に盛っていて、その砂が石になり、弘法大師の手形も残っているという。
		沢石4区公民館前石碑	実沢字館越。地域発展の祖である人をたたえるものか。
	動物	ゲンジボタル	富沢字堰田。
	植物	青石坂大桜2本	青石字青石坂。
		大北大桜1本	青石字大北。
		枝垂桜	富沢。
		あじさいロード	実沢字大稲場。
		大日如来の桜	実沢字古沢目。
	地質鉱物	砂山	富沢字堰田。
文化的景観	—	長寝の景観	長寝付近は景観が良い。里山整備?も計画があるようなので、大事にしたい。

3) ワーク2の結果

- ・後継者の育成・確保においては、人口減少を見据え、まずは記録保存が重要との意見が複数挙げられた。
- ・学校教育内での地域の歴史学習に期待を寄せる意見が多く挙げられた一方で、学校の統合により地域学習がしにくくなるのではないかと懸念も寄せられた。
- ・堂平遺跡、中山家住宅、青石・移川発電所の保存・活用の取組について複数のグループから提案があった。

表資-4：ワーク2（地域の宝物をどうやって守り、活かせるか考えよう）で挙げられた取組一覧

大分類	中分類	意見
後継者の育成・確保	少子化対策	後継者不足は少子化が根本的な問題であり、そこをどうするか検討すべき。
	記録の作成	後世に引き継ぎたいものを書面で書いて残すこと。
	語り部の育成	直接口伝えて伝えられる「語り部」を育成する。
	動画の記録	VTR、DVDなど、動画・映像で残す。動画、デジタルデータで残す。
	世代交流	高齢者と子どもとの交流の場をつくり、伝承していく。
	データ化	人口増加は見込めないで、まずは記録を残す。有形文化財は資料・写真等でデータ化する。無形文化財は資料・動画でデータ化する。
後継者の育成・確保	参加資格の緩和	(特に無形の民俗文化財について)年齢や性別にこだわらないで、興味のある

大分類	中分類	意見
		人が参加できるようにする。
学校教育での活用	宝物の見学	中山家住宅や堂平遺跡を保存整備し、学校教育の中での校外学習をしやすい環境を作る。
		中山家住宅を見学できる日を設ける。
		堂平遺跡や発電所を、遠足等の行き先として見学し、学習する。
		町内を回る活動を行う。
	地区の歴史の学習	学校で地域の昔ばなしの時間を作り、伝承していく。
		沢石の成り立ちを学んだり、自分の姓の発祥について等を調べる授業。
		中学校だけでなく小学校も統合されると、沢石の歴史を学校で教えるのは難しいのではないかな。自分の住んでいる所や各地区のことを知る・勉強する時間を設ける。
	行事への参加	地区の行事に参加してもらう。
	教材の作成	歴史の小冊子を作成し、理解を深める。
情報発信	広報誌の活用	町の広報誌に各地区の宝物に関する記事を掲載する。
	基礎知識	情報発信のためには、まずは地元の人が地元のことを知ることが大事ではないか。
	立て札・看板の整備	立て札を設置する。主な宝物の場所を図にして、大きな看板を作る。
	SNS 活用	Instagram 等の SNS を利用。
	町公式 LINE の活用	三春町公式 LINE の普及を図る。地区行事前に、町公式 LINE 等で発信する。
	ホームページの充実	ホームページを充実させる。
	発信手段の充実	SNS、手書きチラシ、動画など、様々な形を組み合わせで情報発信する。
	地区ごとの発信	地区ごとの発信を行う。
	SNS 投稿へのインセンティブ付与	SNS 等で発信してくれた方へポイントを付与する。
展示・講座・イベントの充実	宝物を巡るイベント	地元の宝物を観て歩く企画。例えば、富沢五館を巡る、発電所、寺社などを巡る等。
		沢石地区の人がガイドする文化財めぐりウォーキング。
	発電所に着目	移川、青石発電所を取り上げて欲しい。
	情報収集	地区を歩き、由来などを聞き取りし、まとめる企画。
	地域イベント	季節の野菜などを庭先販売する。
宝物を活かした観光・まちづくり	講演	地域のガイドができるような人の話を聞く機会を作る。
	町施設の活用	宝物の保管場所の確保。町で使用していない「箱物」を利用してはどうか。
	空き家の活用	空き家をリノベーションして宝物の保管場所等に活用してはどうか。
	堂平遺跡の復元	堂平遺跡を復元して欲しい。
		堂平遺跡を高木神社周辺にレプリカで再現し、そのあたりを文化財地域とする。
	中山家住宅の保存	中山家住宅を町で保存できないか。
その他	ゲームの作成	スマートフォンを使った、宝物を巡るイベントゲームを作る。
	宝物の調査	各宝物の成り立ちや歴史を調査する。
	言い伝えの調査	言い伝えを(学術的見地から)検証する。

③要田地区

1) 実施概要

日時：令和7（2025）年2月2日（日）14:30～16:00

場所：要田地区交流館大平荘

参加人数：23人（Aグループ7人、Bグループ9人、Cグループ7人）

2) ワーク1の結果

- ・隣接する田村市域のものが多く挙げられ、町域を超えた文化圏が広がっていることがわかる。
- ・寺社が多く挙げられているが、伝説が伝えられている古殿の大井戸や鹿壇なども挙げられており、地域の伝説・言い伝えが今に残っていることが伺える。

表資-5：ワーク１（地域の宝物を探そう）で挙げられた宝物一覧

大分類	中分類	名称	概要等
有形文化財	建造物	成田神社	北成田字広畑・鹿島。
		廣伝寺	田村市船引町荒和田。
		天王様	南成田字城四口？
		春日神社	田村市船引町成田白光内。 和算の絵馬あり。
		宝樹寺	田村市船引町要田寺。
		熊耳薬師如来堂	田村市船引町要田寺(宝樹寺境内)。
		要田駅	田村市船引町要田。
		熊野神社	田村市船引町要田宮前。
		大聖寺	田村市船引町笹山立石。
		三輪神社	田村市船引町笹山日向。
		笹山神社	田村市船引町笹山日向。
		満円寺	田村市船引町笹山近馬場。
		八雲神社	熊耳字古内。
		権現様	庄司字西之内館跡付近。
		鹿島大神、鹿島神社	庄司字西之内。
		観音様	田村市船引町荒和田 廣伝寺参道付近。
		おぼしなさま	古志王神社か？熊耳字神山。
		お地藏様	熊耳字神山。
		馬頭観音	
		庚申様	
		花取地藏尊	庄司字山口。
		笹山城跡	田村市船引町笹山西ノ内。
		子安地藏堂	庄司字西之内。
		馬頭観音	熊耳字下荒井。国道のバイパスができた際、現在の位置に移動した。
		稲荷神社	熊耳字下荒井。
民俗文化財	無形の民俗文化財	お釜講	—
		古峰神社講	—
		観音様(荒和田)、権現様、鹿島神社(西ノ内)の祭り	三社は合同で例大祭を行う。
		数珠回し(5 番組)	熊耳字神山。
記念物	遺跡	家老石	—
		舞壇	—
		鹿壇	熊耳字八ツ田 旧要田中学校の裏側。
		馬捨場	—
		庄司西之内館跡	庄司字西之内。
		丸塚	南成田字丸塚。
	名勝地	古殿(ふんど)の大井戸	熊耳字古殿。
	植物	下荒井の桜(仮称)	熊耳字下荒井。6 本ある。
		平堂壇の桜	北成田字日中内。
		南成田の大桜	南成田字大桜。

3) ワーク 2 の結果

- ・要田地区は小中学校ともに統合されたこともあり、学校教育での活用についてはあまり意見が寄せられなかった。
- ・記録の重要性を挙げる方が多かった。
- ・宝物の維持管理等について、支援を求める声が複数挙げられた。

表資-6：ワーク 2（地域の宝物をどうやって守り、活かせるか考えよう）で挙げられた取組一覧

大分類	中分類	意見
後継者の育成・確保	子供への伝承	三春盆踊りに関して、子供たちに太鼓や踊りを教えておく。社会人になってから助かることがある。
	若年層への伝承	次世代を担う若者に参加して欲しい。
学校教育での活用	勉強会の開催	小中学校で宝物の勉強会をすることができないか。
情報発信	セキュリティーとの両立	寺社の情報を開示するのはいいと思うが、セキュリティーを考えること。
	宝物を語る場	民俗芸能を継承する大切さを話す場を作って欲しい。
	SNS の活用	SNS 等を活用し、神社等の記録を発信する。
その他	将来像の構想	宝物、歴史とは人間の営為・社会そのもののありようと深くかかわっており、保存すべきものは何かを考えると、未来の社会をどういうものにしていくかを構想するところから始めなくてはならない。
	調査・記録・保存	宝物として残すため、先輩の話を聞いて取りまとめる。
		神社等の記録を残す取り組みをする。
		宝物の調査。
		今あるものを大切に守っていく。
	財政的支援	財政的援助(助成)を増やして欲しい。
	建物の維持管理	観音様の建物の屋根が錆びているので、修繕できないか。 天神様の建物の周りの木が大きくなりすぎて、自分たちでは処理できない。

④御木沢地区

1）実施概要

日時：令和 7（2025）年 1 月 18 日（土）13:30～16:00

場所：御木沢地区公民館 2 階 会議室

参加人数：40 人（A グループ 12 人、B グループ 13 人、C グループ 13 人、傍聴 1 人）

2）ワーク 1（地域の宝物を探そう）の結果

- ・神社、地蔵、講、桜が多く挙げられ、地域の方にのみ広く知られている宝物も含まれていた。
- ・「栗神神社」「蚕養神社」「塩の道」「戸ノ内桜」は全てのグループから共通して挙げられており、地区住民にとって重要な宝物だといえる。
- ・「塩の道」や「武内村長顕彰碑」が挙げられており、今も昔も交通の要衝である地区の性格がうかがえる。

表資-7：ワーク 1（地域の宝物を探そう）で挙げられた宝物一覧

大分類	中分類	名称	概要等
有形文化財	建造物	栗神神社(栗神様)	2 番組の内神様。
			旧御祭村 2 番組の神社。年に一度の甘酒祭りでは甘酒を飲んではいかの疫病を退治する。近隣から多くの人々が来た。
			御祭宇松ケ作(3 区)にある。
		厳島神社	御祭 3 区にある。神主は湯峰家。天神像(丈六焼か)、祭礼の幟、河野広中の書、天井図、算額、天神講、神輿(中に真鍮の蛇が入っている。お金の神様である弁天様の化身か)がある。
		稲荷神社(お稲荷さん)	鳥居が残っている。
		熊野神社	御祭宇戸ノ内にある。社が立派。 御祭宇戸ノ内にある。神主である湯峰家の氏神。鳥居右側の石碑に湯峰家と神社の由来が書かれている。田村郡は元々熊野神社の荘園で、1200 年前に不動院永良が和歌山からご神体を持ってきて開山したと伝わる(湯上山不動院)。

大分類	中分類	名称	概要等
有形文化財	建造物	蚕養(こがい)神社 (蚕養様)	平沢字東。 煙草と並んで養蚕が御木沢の基幹産業だった記録だといえる。
		菅船(すがふね)稲荷神社	八島台。
		諏訪神社	平沢字担橋。
		高台稲荷神社	平沢字高戸屋。
		七草木神社	七草木字松山。
		見渡神社	平沢字中。
	美術工芸品	愛染明王像	平沢字谷戸(やど)にある十王山安楽寺の仏像。
		穴地藏	2体あったが現在は1体が残る。
		子守地藏	七草木字田畑にある。祭りも行われる。
		虚空蔵尊	
		物外(もつがい)地藏	—
		地藏	平沢字札場。
		地藏	七草木字松山。
		平沢満願虚空蔵尊	平沢字札場。
民俗文化財	無形の民俗文化財	馬頭観音	平沢字東にある。4月の第2日曜日に祭りがある。
		見渡神社の獅子頭	—
		厳島神社の神楽	—
		お釜講	女性だけの講。年1回。台所のお釜様を祀る。
		地藏講	田畑地区で8月に行う。大きな数珠を回して念仏を唱える。
		天神講	御祭3区で行われる、来年小学校に入学する子供から中学3年生までの男子の祭り。中学3年生の家が宿になり、朝の6時から米5合とサトウを持って集まり、旗を立てて厳島神社に行く。
記念物	遺跡(道)	塩の道(塩街道、相馬街道)	毎年手入れしている。道沿いに石(道祖神か)がある。
			相馬から塩を運んだ道。生活の中で一番大事な塩を山の中を通して運んだ。相馬から攻められる道でもある。七草木の館、御祭の館の側を通り、川を渡って小浜海道を通り城下に至った。荒町には寺院がたくさんあり、担橋は橋をかけない場所で、防御の要だった。城下に対して御祭が一番の砦だった。
			一見歩ける場所ではないが案内板がある。
	遺跡(石)	七石(なないし) ばくじ石	基盤整備で一部(なみだ石)がなくなった。
			—
	遺跡(館跡)	小山(御祭)館跡	御祭字小山にある。三春城を守るための山城。
		七草木館跡	七草木字館下にある。三春城を守るための山城。石垣が残っている。
	遺跡(碑)	国府斉翁碑	国府は国府煙草(業煙草)のこと。改良・普及させた橋本惣五郎氏を称えた碑。
		武内村長顕彰碑	三春駅は三春地区内に作ることが反対されたため、武内村長によって御木沢地区に誘致された。村長の碑が平沢1区にある。デイリーヤマザキ三春町八島台店の裏にはペグマタイトの工場と貨物所があった。
	動物	平沢雉	真羽雉。肉や羽が美味しい。三春藩から將軍家へ献上された。
	植物	忠助桜	咲き始めは白色で終わり頃は少しピンク色になる。
		戸ノ内桜	滝ザクラの本家ではないかという話もある。
			滝ザクラの親といわれ、滝ザクラの次くらいに幹周りが太い。湯峰家には、三春に植えた6本の桜のうち1本が戸ノ内桜で1本が滝ザクラだと伝承が残る。何度も火事に遭っている。第13回福島県の桜フォトコンテストの最優秀賞は戸ノ内桜を写したものの。
			—
		天神桜(殿作桜)	有名な一本桜。
			七草木字殿作にある。
		七草木桜	—
		西ノ内桜	—

大分類	中分類	名称	概要等
その他	伝承	イボ清水	清水に浸した後イボにつけた紙(ティッシュ)を木に貼り付け、イボ清水が見えなくなるまで後ろを向かず歩くとイボが直る。牛のイボも取れたといわれている。
	記録	圃場基盤整備フィルム	8ミリカメラで撮った基盤整備の前後の記録写真。
	地名等	御木沢	御祭、七草木、平沢が合わさった。
		七草木	記録に残っている中では三春で最も古い地名。2番目が斎藤、3番目が三春。
		御祭・獅子作	見渡神社や田村大元神社の獅子頭を奉納したため、城主から「オマツリ」の地名を授かった。御祭の獅子作(ししづくり)は木彫り名人の兄弟がいた場所。

3) ワーク2(地域の宝物をどうやって守り、活かせるか考えよう)の結果

- ・三春駅を活用した移住者の増加や観光客へのPRのための取組が挙げられた。
- ・今回のワークショップの結果を保存、公開、継続的に実施したいという意見が挙げられた。
- ・町だけでなく町民が主体となる取組が多く挙げられた。

表資-8: ワーク2(地域の宝物をどうやって守り、活かせるか考えよう)で挙げられた取組一覧

大分類	中分類	意見
後継者の育成・確保	祭礼への参加の推進	小学生の頃から子供たちを祭りや伝統文化に参加させる。
	家庭での会話	祖父母が孫に直接歴史や文化を伝えることが最も心に残る。
	人口増加	地区内に三春駅と御木沢小学校があることを生かし、宝物の後継者を確保する前提としての人口増加に取り組む。
学校教育での活用	体験学習の実施	特にだんごさしやほうろく焼き等の食文化については、教科書を読むだけではなく体験してもらう。
	映像学習の実施	文字情報ばかりでなく映像を見て勉強する方がわかりやすい。
	出前講座の実施	出前講座を実施する。
	地域との連携	三春町の小学校はコミュニティ・スクールであるため、地域と学校の連携をこれまで以上につなげ、三春城下町以外の三春の歴史についても学べるようにする。
情報発信	案内板の整備	看板を設置する。
	SNSの活用	観光客を呼ぶためにYouTube、TikTok、X等を活用して情報発信する。三春町の観光に満足した外国人がSNSを使って魅力をアピールしてくれると日本人も来る。
	コンセプトの明確化	三春町ホームページに書かれたコンセプト「桜と歴史と文化の城下町」のイメージが曖昧。「小さな城下町 三春」や「東北の小鎌倉」など物語性を出した方がよい。
展示・講座・イベントの充実	イベントの開催	年に一度の地元の文化祭のようなイメージで、今回のワークショップを継続する。
	語り部の発足	昔の三春町について語る語り部を作る。
宝物を活かした観光・まちづくり	ツアーの実施	寺や神社の宿坊や精進料理、坐禅、講話等を活用し、三春の物語を知ることのできるツアー等を実施する。
		案内板だけでは目的地まで行けない人もいるため、観光バスを走らせて寺巡りをしたり、そこで住職から説明を聞いたりできるようにする。
	道の整備	バスが停車できる駐車場を作る。
		桜の植栽や歩道の整備を行う。
	施設の整備	駅前健康サロンが使われていないので資料館の分室的役割をもたせる。駅前の活用、整備が重要。
		寺や公園の草刈りをする。
		三春城跡を整備する。 水道設備を整備する(観光客用の公共トイレや人口増加に向けた移住者の住宅のため)。

大分類	中分類	意見
宝物を活かした観光・まちづくり	碑の建立	愛姫の碑を駅前に作る、資料館までの道に偉人の顕彰碑を建てて読みながら歩けるようにするなど、町出身の偉人についてもっと取り上げる。
	観光客への案内	外国人に会った場合は積極的に声掛けする。
その他	調査	今回のワークショップの結果を発信し、当日来なかった人からも宝物についての情報を募集する。
		今回のワークショップの情報を記録、保存する。
		偉人の検証に注力する。「もしもし」という言葉を作った加藤木重教や火災報知器の発明者は三春町出身者。
	保存に取り組んだ上での活用	今ある宝物の維持、保存に注力する。

⑤岩江地区

1) 実施概要

日時：令和7（2025）年1月25日（土）13:30～16:00

場所：岩江地区防災コミュニティセンター

参加人数：12人（Aグループ5人、Bグループ7人）

2) ワーク1の結果

- ・大峯の玉ヶ滝と天満宮、北山地蔵尊については両方のグループから挙げられており、重要な地域の宝物といえる。
- ・守山藩領であったこともあり、隣接する郡山市域のものが複数挙げられた。
- ・竹細工や菅笠づくりといった産業に関するものが挙げられた。

表資-9：ワーク1（地域の宝物を探そう）で挙げられた宝物一覧

大分類	中分類	名称	概要等
有形文化財	建造物	大宮権現	山田字カブキ。今も地区の人が清掃等管理している。
		三光稲荷	山田字栃久保。山田5番組で管理している。矢吹町にも三光稲荷があり、同じ守山藩で、年貢米の集積等がかかわりもあったことから、その縁で分霊したのではないかと想像される。
		旧見渡神社	山田字宮田？現カタクリの里の裏側。守山藩と三春藩の境に位置していたが、2つの領民が同じ神社に詣でることを嫌い、天保年間に山田の庄屋（新田）の氏神を祀っていた場所、現在の沫蕩神社がある場所に移したという。
		郷倉	山田字栃久保。沫蕩神社の入り口。江戸時代の共同倉庫。天明3年の飢饉をきっかけに作られたといわれ、守山藩31村全てにあったはずであるが、上舞木・下舞木はどこにあるのかわからない。
		大ヤマツミ神社（山津見神社？）	山田字戸ノ内。現在も氏子で管理している。戸ノ内は山田の中でも一番古い集落である。
		観音堂	山田。奥まったところにありわかりづらい。延命寺の所管。『目明し金十郎の生涯』（守山藩の日誌をもとにした書籍）に、この観音堂で賭博が行われていたなどの記述がある。
		寺山観音堂	上舞木字寺山。盗難にあった。
		愛宕神社	上舞木字大峯。
		天満宮	上舞木字大峯。
		子安地蔵堂	郡山市舞木町正神平。
		北山子育て地蔵堂	下舞木字北山。9月の第2土日に祭礼を実施している。
		雷神様	下舞木字折ノ内。
		正一位稲荷神社、旧鳥居	下舞木字西ノ内。石製、破損。
		薬師堂の蔵物	下舞木字石花。

大分類	中分類	名称	概要等
民俗文化財	無形の民俗文化財	砂鉄鍊成	—
		菅笠づくり	岩江全域で作られていた。
		天神講	—
		上舞木 竹細工	上舞木。
記念物	遺跡	弘法様(地蔵)	山田栃久保。沫蕩神社の下側という。廃仏毀釈で首が取られたところをモルタルで固めてある。
		首洗い池供養塔	江戸時代、百姓一揆がおきた際、首謀者(根木屋出身3人、白岩村出身1名)が獄門となり、その首が晒されたという。その後、土地改良された際に供養塔が建てられるなど整備され、平成初期に僧侶を読んで供養もした。※所在地は郡山市西田町根木屋。
		水車・米つき	山田字福内。山田ではここで米つきをしていた。
		郡山・三春間馬車鉄道	—
		戸ノ内供養塔	—
		上舞木供養塔婆	上舞木字平石。
		古い墓か	岩本から舞木ドライブインに通じる道の途中、左手に古いお墓のようなものがある。
		馬頭尊石碑群	下舞木字蛇田。
	名勝地	美代淵	山田字滝田、レストラン魅羅樹の裏。悲恋を苦にした女性が身を投げたという伝説がある。
		玉ヶ滝	上舞木字大峯。
	植物	今朝三桜	上舞木字大谷ツ。
		薬師如来のかやの木	下舞木字石崎。
その他	地名	カタカナの地名	カブキ、ヒヂ内、クルミヤツなど、カタカナの地名が多い。由来を調べたい。
	墓地	旧墓地	上舞木字大峯ほか。複数点在している。
	施設	ファームパークいわえ	上舞木字板子内地内。平成21年から活動を始めた。こういうものも残していきたい。

3) ワーク2の結果

- ・ A、Bグループ双方で、子どもへの教育を重視すべきとの意見が出された。そのために、まずは地域の伝えていくべき歴史や宝物などをわかりやすくまとめた資料が欲しいとの意見も出された。
- ・ 三春町合併70周年を迎えるにあたり、合併時のいきさつをはじめ、地域の歴史の大きな流れを踏まえたうえで宝物等について説明していくべきとの意見も挙げられた。

表資-10：ワーク2（地域の宝物をどうやって守り、活かせるか考えよう）で挙げられた取組一覧

大分類	中分類	意見
後継者の育成・確保	語り部育成	語り部の育成をする。
	地域イベントでの紹介	岩江の文化祭で紹介。
		サロン活動で紹介。
	学習会の実施	地域の歴史を学ぶ会を作る。 知っている人が地区(学校)で話して欲しい。
学校教育での活用	地区の歴史の学習	学校の授業で子供たちに見て、知ってもらう。そうすることで、親にも伝わる。
		地元のOBが学校の授業の一環として見学等授業を行う。
		地名の由来を調査し、学校で説明する。
	教材・資料の作成	(宝物や歴史を伝えていくにあたり)子供たち向けのものと大人向けのものと2パターン作成する。 残したいものをピックアップする→資料としてまとめる→大人用と子供用に分け、伝える。

大分類	中分類	意見
情報発信	ツアー実施	地元探検ツアー開催。
	若年層の取り込み	若年層者との協力関係強化。
	新規居住者へのPR	新規居住者に積極的PR。
	Web公開	昔の情報を記録としてまとめ、Webで公開する。
宝物を活かした観光・まちづくり	祭りへの着目	11月3日に祭りが集中しているが、その由来を役員が勉強し、子供たちと話し合う。
その他	記録・保存	寺社の宝物等についてなど、記録してデータを残しておく。
		風化しないように保存する。
		合併時のいきさつの記録。

⑥中妻地区

1) 実施概要

日時：令和7（2025）年3月20日（木）13:30～15:00

場所：中郷地区交流館

参加人数：8人（Aグループ4人、Bグループ4人）

2) ワーク1の結果

- ・愛宕神社、殿様街道については両グループから挙がっており、重要な地域の宝物といえる。
- ・寺社が多く挙げられているほか、講などの行事も複数挙げられたが、現在では実施していないものが多く、地域の歴史文化の継承の難しさが伺える。

表資-11：ワーク1（地域の宝物を探そう）で挙げられた宝物一覧

大分類	中分類	名称	概要等
有形文化財	建造物	光明寺	沼沢字館。境内に子安薬師堂あり。
		愛宕神社 斎藤	斎藤字戸ノ内。
		愛宕神社 沼沢(大権現)	沼沢字宮ノ前。
		きゅうり天王	郡山市白岩町後田付近か。
		春日神社	沼沢字宮ノ前。
		白山神社	鷹巣字堤。
		三渡神社	鷹巣字平松。旧三渡大権現。
		斎藤見渡神社	斎藤字戸ノ内。
		安養寺	斎藤字斎藤。
	美術工芸品	斎藤字三本木付近の板碑	斎藤字三本木。付近にあるという太子堂のものかと思われる。
民俗文化財	無形の民俗文化財	馬・牛の子が生まれた際の餅まき	馬や牛の子が生まれた時には餅まきをして祝った。
		弘法桜の根本で数珠回し	沼沢字館。春と秋に現在もやっている。
		伊勢講	代参講などやっていた。現在はやっていない。
		おかま講	お餅などを持ち寄って飲み食いする講。コロナ以降実施していないところもあるが、斎藤地区では現在もやっている。
		安養寺の数珠回し	現在も数珠回しを行っている。
		しめ縄もじり	昔は斎藤地区内で冬になるとしめ縄もじりをやっていたが、今は実施していない。

大分類	中分類	名称	概要等
記念物	遺跡	一里塚	鷹巣字戸之内。
		殿様街道	鷹巣字浜井場。 三春の殿様が参勤交代する際、三春城を出て城下町を通り、鷹巣浜井場付近を通った。江戸時代までは、沼沢ではこの街道付近が中心地であり、学校やお寺がたくさんあった。これらが江戸時代のはじめの頃に館跡の方に移されたという。(沼沢)弘法桜はその頃に植えられたとのこと。 殿様は浜井場をとおり、(現郡山市)赤沼の、三春藩領の境で着替えをして出かけていった、と聞いている。
		馬頭観音石碑	春日神社の裏手。
		和尚壇	西方字後作。
		平賀幹美の記念碑 (広中の揮毫)	斎藤字町田。須賀川三春線付近。
		斎藤字三本木付近の古い道	斎藤字三本木。
		戸ノ内供養塔群	斎藤字戸ノ内地内。
	植物	鷹巣小学校跡地の桜	鷹巣字畑中。桜がきれい。
		三渡神社付近の藤の木	鷹巣字平松付近に大きな藤の木があつてきれい。
その他	地名	大日向	斎藤地区と鷹巣地区に同じ「大日向」(おびなた)という地名が2ヶ所あり、珍しいと思う。
		堂寺山と呼ばれる山	斎藤字大日向付近に堂寺山と呼ばれる山がある。昔なにかあつたらしいが、今はよくわからない。

3) ワーク2の結果

- ・中妻地区には、かつてあった「中妻文化財を守る会」で作成した宝物の看板が設置されており、その看板の更新を望む声が多く寄せられた。
- ・勉強会や愛好会の立ち上げなど、地元住民が集まり、宝物について語る機会を増やす取組について、積極的な意見が寄せられた。

表資-12：ワーク2（地域の宝物をどうやって守り、活かせるか考えよう）で挙げられた取組一覧

大分類	中分類	意見
後継者の育成・確保	後継者確保の難しさ	後継者確保をいかにするか。
	門戸の開放	昔のしきたりをなくして、外部からの人、女性を積極的に地域の行事(祭りなど)に参加させる。
	地区役員への指導	地区の区長始め役員の方々に町の職員が宝物などについて指導する。
	宝物を語る会	各地区の委員などを一堂に集め、宝物を守るための話し合いを年1～2度行つて欲しい。
学校教育での活用	高齢者学級と小学生との連携	高齢者学級で、地元の小学生と地域の歴史と文化を学ぶ会があるといいと思う。
	学校での教育	学校教育の場で三春町の歴史を学んで欲しい。
情報発信	看板の更新・新設	以前作った看板が古くなり、見にくくなってきているので、新しく作り直して欲しい。
		宝物について詳しくわかる人がいる内に看板を新しくし、整備する。
		各地区で眠っている石碑、墓碑等の案内看板を増やして欲しい。
	ITの活用	ITの時代なので、他の自治体が行っている様に、三春でもITを利用して宣伝・PR活動をしたらどうか。 滝ザクラ・モンバルストア(キャンプ場)で観光客が増えると思うので、インスタ映えするように宝物を整備する。
展示・講座・イベントの充実	寺めぐり	お寺が多いので、お寺めぐりをしてはどうか。
	しめ縄もじり講座	しめ縄をもじれないので、地域の詳しい人にもじり方を教えて欲しい。

大分類	中分類	意見
その他	資金不足	各地区での神社、お寺を保存するのにお金がかかる。
	愛好会の結成	文化財愛好会のようなものを作り、定期的に集まって勉強会をする。
	宝物の整備	斎藤の大和田広治の記念碑が崩れかかっているのを、整備して欲しい。
	民俗芸能の伝承	斎藤見渡神社の御神楽を後に残すための手段を考える。

⑦中郷地区

1) 実施概要

日時：令和7（2025）年1月26日（日）13:30～16:00

場所：中郷地区交流館

参加人数：14人（Aグループ8人、Bグループ6人）

2) ワーク1の結果

- ・滝ザクラ、御殿場、蛇石王子神社、龍光寺、甘酒祭りについて、両方のグループから挙げられており、重要な地域の宝物といえる。
- ・特に樋渡をはじめとした三匹獅子舞については、グループワーク中に言及する方が多く、伝統芸能への関心が高いことが伺えた。
- ・甘酒祭りや山の神講、権現講などの行事も挙げられた。

表資-13：ワーク1（地域の宝物を探そう）で挙げられた宝物一覧

大分類	中分類	名称	概要等
有形文化財	建造物	蛇石王子神社	蛇石字蛇石前。
		金水法印様	蛇石字金水。
		田村観音堂	樋渡字下ノ前。
		樋渡熊野神社	樋渡字不動滝。
		樋渡観音堂	樋渡字不動滝。
		菅舟（布禰）神社	過足字後田。
		龍光寺	滝字岩ノ入。仏像がたくさんある。
		狐田稲荷神社	狐田字狐田。
		見渡神社	込木字宮ノ下。
		滑津観音堂	柴原字滑津。
		稲荷神社（滝）	滝字滝久保。春祭り、秋祭りを実施。
		見渡神社	込木字柳ヶ作。
		日枝神社	柴原字滑津。
		薬師堂	柴原字荊又。
		柴原神社	柴原字荊又。
		薬師様	貝山字馬千内。
		大石稲荷神社	貝山字馬千内。
		お大師様	貝山字井堀田。4月に祭礼を行っていたが、現在は中止。
		白山比咩神社	貝字山宮ノ下。
	美術工芸品	龍光寺境内 不動尊観音像	滝字岩ノ入。令和6（2024）年の盗難事件の際損壊された。
民俗文化財	有形の民俗文化財	龍光寺境内不動尊絵馬	滝字岩ノ入。
		見渡神社の絵馬	込木字宮ノ下。
	無形の民俗文化財	樋渡三匹獅子舞	樋渡字不動滝。
		天神講	子供が集まる講。今はやっていない。
		山の神講	今も実施しているところが複数ある。滝など。
		お念仏、数珠回し	込木。
		甘酒祭り	案内。甘酒地藏毎年実施。
		稲荷神社（滝）三匹獅子舞	かつて滝稲荷神社にて三匹獅子舞を奉納していたが、今は実施していない。ビデオで映像が残っている。

大分類	中分類	名称	概要等
民俗文化財	無形の民俗文化財	三地区での三匹獅子舞	樋渡の三匹獅子(金魚)、蛇石の三匹獅子(モグラ)、廃絶 滝の三匹獅子(いなご)、廃絶。
		岩田 甘酒祭り	貝山字岩田。
		権現様 権現講	貝山字井堀田。11 月に権現講として寄合。
記念物	遺跡	御殿場	三春町滝桜久保。滝ザクラの背面。殿様が桜を見る場所。
		旧岩城街道	—
		込木旧公民館跡にある石碑群	込木。
		笠松地蔵	貝山字井堀田。4 月に祭礼。
		三春大神宮の元地	貝山字岩田。
		貝山道祖神	貝山字馬場。
	植物	滝ザクラ	滝字桜久保。
		込木地蔵桜	込木字宮ノ下。
	地質鉱物	蛇石王子神社境内 蛇石	蛇石字蛇石前。

3) ワーク 2 の結果

- ・2025 年春にオープン予定のモンベルストアの活用について複数意見が挙げられた。
- ・クラウドファンディングや新たなキャラクターの作成など、新しい取組をして欲しい旨の意見が寄せられた。
- ・伝統芸能に関して、人材育成から資金確保まで、幅広い意見が寄せられた。

表資-14：ワーク 2（地域の宝物をどうやって守り、活かせるか考えよう）で挙げられた取組一覧

大分類	中分類	意見
後継者の育成・確保	広域での人材育成・確保	集落を超えた広域での人材確保・育成。
	クラブ活動	地域の理解の下、三匹獅子の踊り手の継続のため、クラブ活動化したい。
	広報拡充	広報、宣伝、募金、カンパを積極的にやる。
	移住者の誘致	最終的には移住者を受け入れるしかない。町として移住受け入れに力を入れる。資金補助など。
	ボランティアの組織・育成	歴史ボランティアの組織・募集。滝ザクラだけでない組織づくり。
	若年層への PR	若い人に興味を持ってもらう必要がある。
学校教育での活用	語り部育成	語り部育成。
	学校授業での取組	地域学習の増強。授業の一環として取り入れる。 地元の宝物について、知る、見る機会を増やし、興味を持たせる。
情報発信	モンベルストアの活用	モンベルストアの活用。ビジターセンターの活用、パンフレットの設置、店内でのデモンストレーションなど。
	広報誌の活用	町広報での周知を充実させて欲しい。
	インターネットの活用	インターネットの活用。
		町の YouTube で紹介する。 Instagram、TikTok の活用。
	看板設置	史跡などの由来を説明する看板の設置。
	テレビ・ラジオの活用	テレビ・ラジオ番組の作成。例) 戊辰戦争と三春、歴史散歩 など。
	まち歩き企画	神社巡りの企画。
展示・講座・イベントの充実	動画作成	紹介ビデオの作成。
	伝統芸能の披露	各地区の総会で民俗芸能を実演して、他地区の芸能を知ってもらう。
		地域に関する展示の際、三匹獅子と共演する。
		三匹獅子舞について、敬老会での披露。
	宝物の保存をテーマとした展示	盗まれた文化財展、壊された文化財展の実施。
	資料館の移転	歴史民俗資料館の移転。まほらに移転させる。
	グッズ作成	三匹獅子舞について、グッズ作成、御朱印作成。

大分類	中分類	意見
宝物を活かした観光・まちづくり	モンベルストアの活用	モンベルストアを起点とした、サイクリングやトレッキングコースを設定(中郷地区を中心に、ショートコースで)。
	看板設置	説明板の充実。
	伝統芸能の披露	伝統芸能を集約して披露するイベントの企画。
その他	助成申請手続きの簡素化・増額	宝物にかかる助成を簡単にして欲しい。また、金額を増額して欲しい。
	クラウドファンディング	クラウドファンディングの導入。
	新しいキャラクターの作成	三春町の新キャラクター「伝統戦隊祭りレンジャー」、三匹獅子、長獅子、盆踊り、ひよっこ、神楽。



ワーク1 宝物位置図（三春地区）



ワーク2 宝物を守り活かす取組（三春地区）



ワークショップの様子（三春地区）



ワークショップの様子（沢石地区）



ワークショップの様子（沢石地区）



ワークショップの様子（要田地区）



ワークショップの様子（御木沢地区）



ワークショップの様子（御木沢地区）



ワークショップの様子（岩江地区）



ワークショップの様子（岩江地区）



ワークショップの様子（中妻地区）



ワークショップの様子（中郷地区）

資料4. 既往の把握調査の一覧

資料4. 既往の把握調査の一覧

三春町及び福島県でこれまでに行ってきた宝物の調査のうち、把握調査に関する報告書・書籍等の一覧を以下に示します。

(1)三春町史

資料名	編著者名	発行者名	発行年
第1巻 自然・原始・古代・中世(通史編1)	—	三春町	昭和57(1982)年
第2巻 近世(通史編2)	—	三春町	昭和59(1984)年
第3巻 近代Ⅰ(通史編3)	—	三春町	昭和50(1975)年
第4巻 近代Ⅱ(通史編4)	—	三春町	昭和51(1976)年
第5巻 現代(通史編5)	—	三春町	昭和60(1985)年
第6巻 民俗	—	三春町	昭和55(1980)年
第7巻 自然・原始・古代・中世資料(資料編1)	—	三春町	昭和53(1978)年
第8巻 近世資料Ⅰ(資料編2)	—	三春町	昭和53(1978)年
第9巻 近世資料Ⅱ(資料編3)	—	三春町	昭和56(1981)年
第10巻 近代・現代資料(資料編4)	—	三春町	昭和58(1983)年
第11巻 地誌・総目録・索引・年表	—	三春町	昭和61(1986)年

(2)三春町・三春町教育委員会の調査報告書

資料名	編著者名	発行者名	発行年
昭和52年度調査 中郷地区文化財基礎調査報告書	—	三春町	昭和52(1977)年
みはるの絵馬	—	三春町教育委員会	昭和56(1981)年
三春町遺跡分布調査報告Ⅰ	山口晋	三春町教育委員会	昭和59(1984)年
三春町遺跡分布調査報告Ⅱ	仲田茂司	三春町教育委員会	昭和60(1985)年
三春町遺跡分布調査報告Ⅲ	仲田茂司	三春町教育委員会	昭和61(1986)年
中郷の民俗 三春ダム水没地域建造物等民俗調査報告書	—	三春町	昭和61(1986)年
三春町さくらセンサス結果表	—	三春町・三春さくらの会	平成元年(1989)
国土利用計画(第2次三春町計画)参考資料	—	三春町	平成28年(2016)

(3)三春町歴史民俗資料館の研究紀要・図録

資料名	編著者名	発行者名	発行年
春季特別展図録 雪村 三春への道	林進、ほか	三春町歴史民俗資料館	昭和58(1983)年
春季特別展図録 みちのくの古人形 三春人形とその周辺	俵有作	三春町歴史民俗資料館	昭和59(1984)年
春季特別展図録 安東・秋田氏展 東北のあけぼのを探る	小林清治、ほか	三春町歴史民俗資料館	昭和59(1984)年
春季特別展図録 土佐と結ぶ 三春の自由民権運動展	高橋哲夫、ほか	三春町歴史民俗資料館	昭和61(1986)年
春季特別展図録 三春田村氏と伊達政宗	小林清治	三春町歴史民俗資料館	昭和62(1987)年
春季特別展図録 松下氏 三春への道	—	三春町歴史民俗資料館	昭和63(1988)年
春季特別展図録 縄文の石と折り	山口晋	三春町歴史民俗資料館	平成元(1989)年
春季特別展図録 三春藩	—	三春町歴史民俗資料館	平成2(1990)年
春季特別展図録 真照寺	—	三春町歴史民俗資料館	平成3(1991)年
企画展展示解説書 古代エジプトの都 テーベの歴史と文化	桜井清彦、ほか	三春町歴史民俗資料館	平成3(1991)年
春季特別展図録 高乾院	—	三春町歴史民俗資料館	平成4(1992)年
春季特別展図録 福聚禅寺	橋本宗久	三春町歴史民俗資料館	平成5(1993)年

資料名	編著者名	発行者名	発行年
春季特別展図録 法蔵寺	多田昭道	三春町歴史民俗資料館	平成 6(1994) 年
夏季企画展図録 幻想のこけし	高橋五郎	三春町歴史民俗資料館	平成 6(1994) 年
三春町歴史民俗資料館研究紀要 I 年報(昭和 58 年度～平成 5 年度)	—	三春町歴史民俗資料館	平成 6(1994) 年
春季特別展図録 女性の粧い	—	三春町歴史民俗資料館	平成 7(1995) 年
春季特別展図録 三春の浄土宗 光岩寺・紫雲寺・薬師寺	—	三春町歴史民俗資料館	平成 8(1996) 年
春季特別展図録 大滝根川流域の遺跡	山口晋	三春町歴史民俗資料館	平成 9(1997) 年
春季特別展図録 三春城と城下町	小林清治、ほか	三春町歴史民俗資料館	平成 10(1998) 年
春季特別展図録 近代三春の夜明け	藤井康、ほか	三春町歴史民俗資料館	平成 11(1999) 年
春季特別展図録 丈六焼	平田禎文	三春町歴史民俗資料館	平成 12(2000) 年
春季特別展図録 三春人形と木型	高橋五郎、ほか	三春町歴史民俗資料館	平成 13(2001) 年
春季特別展図録 漫画で見る自由民権運動	山口晋	三春町歴史民俗資料館	平成 14(2002) 年
春季特別展図録 三春藩主秋田氏	藤井康、ほか	三春町歴史民俗資料館	平成 15(2003) 年
春季特別展図録 三春城と仙道の城	平田禎文	三春町歴史民俗資料館	平成 16(2004) 年
春季特別展図録 春陽の士 奥州三春秋田家御家中	平田禎文	三春町歴史民俗資料館	平成 17(2005) 年
春季特別展図録 田村大元神社	田母野公彦、ほか	三春町歴史民俗資料館	平成 18(2006) 年
れきみんブックレット① 三春城下町を歩こう	—	三春町歴史民俗資料館	平成 20(2008) 年
れきみんブックレット② 三春の歴史	—	三春町歴史民俗資料館	平成 24(2012) 年
春季特別展図録 愛姫と三春の姫君	平田禎文	三春町歴史民俗資料館	平成 24(2012) 年
春季特別展図録 講所から学校へ	藤井典子	三春町歴史民俗資料館	平成 25(2013) 年
秋季特別展図録 三春猫騒動	平田禎文	三春町歴史民俗資料館	平成 26(2014) 年
秋季特別展図録 蒲生氏の時代	平田禎文	三春町歴史民俗資料館	平成 27(2015) 年
秋季特別展図録 らっこコレクションの時代	高橋五郎、ほか	三春町歴史民俗資料館	平成 28(2016) 年
秋季特別展図録 絵馬 社に残る三春の記憶	平田禎文	三春町歴史民俗資料館	平成 29(2017) 年
春季特別展図録 陽徳院愛姫	平田禎文	三春町歴史民俗資料館	平成 30(2018) 年
秋季特別展図録 武士の時代の終わり	平田禎文	三春町歴史民俗資料館	令和元(2019) 年
れきみんブックレット③ 三春のざっと昔ばなし 岩江・中妻・中郷地区編	—	三春町歴史民俗資料館	令和 5(2023) 年
春季特別展図録 河野広中の生涯	平田禎文	三春町歴史民俗資料館	令和 5(2023) 年
れきみんブックレット④ 三春のざっと昔ばなし 三春城と城下町の物語	—	三春町歴史民俗資料館	令和 6(2024) 年
秋季特別展図録 城と村の絵図と地図	平田禎文	三春町歴史民俗資料館	令和 6(2024) 年
れきみんブックレット⑤ 三春のざっと昔ばなし 沢石・要田・御木沢地区編	—	三春町歴史民俗資料館	令和 7(2025) 年

(4)福島県文化財調査報告書

資料名	編著者名	発行者名	発行年
第 25 集 福島県の寺院跡・城館跡 文化財基礎調査報告書	—	福島県教育委員会	昭和 46(1971) 年
第 32 集 福島県の石造文化財 文化財基礎調査報告書 2	—	福島県教育委員会	昭和 47(1972) 年
第 38 集 福島県の金工品 文化財基礎調査報告書 3	—	福島県教育委員会	昭和 48(1973) 年
第 43 集 福島県の建造物 文化財基礎調査報告書 4	—	福島県教育委員会	昭和 49(1974) 年
第 45 集 福島県民俗分布図	—	福島県教育委員会	昭和 48(1973) 年
第 52 集 福島県の彫刻 文化財基礎調査報告書 5	—	福島県教育委員会	昭和 50(1975) 年
第 55 集 福島県の絵画・書跡 文化財基礎調査報告書 6	—	福島県教育委員会	昭和 51(1976) 年
第 56 集 福島県の絵馬 文化財基礎調査報告書 7	—	福島県教育委員会	昭和 52(1977) 年
第 72 号 福島県の民家 第 2 回緊急調査報告書・付前回分県中	—	福島県教育委員会	昭和 54(1979) 年

資料名	編著者名	発行者名	発行年
第 76 集 福島県の祭礼 文化財基礎調査報告書	—	福島県教育委員会	昭和 55(1980)年
第 77 集 福島県古文書所在確認調査報告	—	福島県教育委員会	昭和 55(1980)年
第 78 号 福島県民俗分布図	—	福島県教育委員会	昭和 55(1980)年
第 88 集 福島県の伝統工芸技術 文化財基礎調査報告書	—	福島県教育委員会	昭和 56(1981)年
第 89 号 福島県の近世社寺建築(近世社寺建築緊急調査報告書)	—	福島県教育委員会	昭和 56(1981)年
第 90 集 福島県の民謡 民謡緊急調査報告書	—	福島県教育委員会	昭和 56(1981)年
第 120 集 福島県の漆工品 文化財基礎調査報告	—	福島県教育委員会	昭和 58(1983)年
第 126 集 福島県の年中行事	—	福島県教育委員会	昭和 58(1983)年
第 127 集 福島県の民俗芸能	—	福島県教育委員会	昭和 58(1983)年
第 157 集「歴史の道」調査報告書 岩城街道 本宮一平	—	福島県教育委員会	昭和 60(1985)年
第 185 集 福島県の諸職 諸職関係民俗文化財調査報告書	—	福島県教育委員会	昭和 62(1987)年
第 197 集 福島県の中世城館跡	—	福島県教育委員会	昭和 63(1988)年
第 199 集 福島県の山岳信仰	—	福島県教育委員会	平成元(1989)年
第 233 集 東北横断自動車道遺跡分布調査報告 Ⅰ	—	福島県教育委員会	平成 2(1990)年
第 253 集 三春ダム関連遺跡分布調査報告 Ⅰ	—	福島県教育委員会	平成 3(1991)年
第 261 集 福島県の民俗芸能 福島県民俗芸能緊急調査報告書	—	福島県教育委員会	平成 3(1991)年
第 274 集 三春ダム関連遺跡分布調査報告 Ⅱ	—	福島県教育委員会	平成 4(1992)年
第 303 集 県内主要社寺調査報告書(1)	—	福島県教育委員会	平成 6(1994)年
第 303 集 県内主要社寺調査報告書(2)	—	福島県教育委員会	平成 6(1994)年
第 321-1 集 福島県遺跡地図 中通り地方	—	福島県教育委員会	平成 8(1996)年
第 348 集 福島県の近代和風建築(福島県近代和風建築総合調査報告書)	—	福島県教育委員会	平成 10(1998)年
第 425 集 福島県祭り・行事調査報告書	—	福島県教育委員会	平成 17(2005)年
第 448 集 福島県の民俗技術 福島県民俗技術調査報告書	—	福島県教育委員会	平成 20(2008)年
第 468 集 福島県の近代化遺産	—	福島県教育委員会	平成 22(2010)年

(5)その他

資料名	編著者名	発行者名	発行年
民謡調査票 三春の民謡	松本登	—	昭和 54(1979)年
みはるの里 城下町の文化財を訪ねて	—	三春町歴史民俗資料館	昭和 60(1985)年
ふるさとの人形たち	—	三春郷土人形館	平成 3(1991)年
無形の民俗文化財 記録 第 39 集 南奥羽の水祝儀	—	文化庁文化財保護部	平成 8(1996)年
三春城下 中町 川又家文書 目録 第 1 集	小松賢司	三春町歴史民俗資料館、 福島大学人間発達文化学 類日本史学研究室	令和 3(2021)年
三春と戦争	藤井典子	三春町歴史民俗資料館	令和 5(2023)年
令和 5 年度近現代建造物緊急重点調査(建築)報告書(福島県編)	—	日本建築士会連合会	令和 6(2024)年

資料5. 宝物リスト

資料5-1. 指定等文化財リスト

指定等文化財リスト

番号	名称	大分類	中分類	地域	所在地	指定等年月日
国指定						
1	中山家住宅	有形文化財	建造物	沢石	富沢字山中	S52.1.28
2	三春滝ザクラ	記念物	植物(天然記念物)	中郷	滝字桜久保	T11.10.12
県指定						
3	木造阿弥陀如来立像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字亀井 光岩寺	S59.3.23
4	田村氏掟書、附大般若經(残欠)	有形文化財	美術工芸品(古文書)	三春	字御免町 福聚寺	H5.3.23
町指定						
5	藩講所明徳堂表門、附扁額一面	有形文化財	建造物	三春	字大町	S39.11.3
6	古四王堂、附棟札一枚	有形文化財	建造物	三春	字新町 真照寺	S39.11.3
7	田村大元神社表門、附棟札一枚	有形文化財	建造物	三春	字山中 田村大元神社	S39.11.3
8	田村大元神社境内末社八幡神社・熊野神社	有形文化財	建造物	三春	字山中 田村大元神社	S56.12.22
9	雪村筆奔馬図	有形文化財	美術工芸品(絵画)	三春	字桜谷 歴史民俗資料館	H11.8.27
10	雪村周継筆達磨図、附雪村庵関係文書二通	有形文化財	美術工芸品(絵画)	三春	字御免町 福聚寺	H1.11.1
11	復庵宗己頂相	有形文化財	美術工芸品(絵画)	三春	字御免町 福聚寺	H6.1.5
12	釈迦出山草座図	有形文化財	美術工芸品(絵画)	三春	字荒町 高乾院	H6.1.5
13	十二天図	有形文化財	美術工芸品(絵画)	三春	字新町 真照寺	H6.1.5
14	八大祖師図	有形文化財	美術工芸品(絵画)	三春	字新町 真照寺	H6.1.5
15	徳田研山好時筆愛染明王図	有形文化財	美術工芸品(絵画)	三春	字桜谷 歴史民俗資料館 寄託	H11.8.27
16	高倉旭城筆滝桜図	有形文化財	美術工芸品(絵画)	三春	八島台	H11.8.27
17	木造十一面観音像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字御免町 福聚寺	S52.9.28
18	木造阿弥陀如来坐像(胎内仏)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字荒町 法蔵寺	S52.9.28
19	木造阿弥陀如来坐像(本尊)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字荒町 法蔵寺	S52.9.28
20	延命地藏(甘酒地藏)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字荒町 法蔵寺	S52.9.28
21	木造釈迦如来坐像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字荒町 高乾院	S60.4.1
22	本尊脇侍木造法然・善導立像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字亀井 光岩寺	S56.12.22
23	木造阿弥陀如来坐像(丈六仏)	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字新町 州伝寺	S58.9.20
24	木造不動明王立像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字新町 真照寺	S52.9.28
25	木造帝釈天立像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字新町 真照寺	S60.4.1
26	木造四天王立像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字新町 真照寺	S60.4.1
27	木造聖徳太子立像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字新町 真照寺	H1.11.1
28	木造金剛力士像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字山中 田村大元神社	S37.3.31
29	木造地藏菩薩坐像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	三春	字清水 天沢寺	H1.11.1

指定等文化財リスト

番号	名称	大分類	中分類	地域	所在地	指定等年月日
30	子安薬師厨子	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	中妻	沼沢字館 光明寺	S56.12.22
31	木造正観音像	有形文化財	美術工芸品(彫刻)	中郷	根本字光谷 東光寺	S60.4.1
32	舍利塔、附文書2通	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	三春	字荒町 高乾院	H6.1.5
33	銅鏡	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	沢石	実沢字宮脇 高木神社	S54.7.16
34	華鬘一面	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	沢石	実沢字宮脇 高木神社	S54.7.16
35	華鬘一对二面	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	沢石	実沢字宮脇 高木神社	S54.7.16
36	銅鑼	有形文化財	美術工芸品(工芸品)	沢石	実沢字宮脇 高木神社	S54.7.16
37	一元紹碩墨跡	有形文化財	美術工芸品(書跡・典籍)	三春	字御免町 福聚寺	H6.1.5
38	物外紹播墨跡	有形文化財	美術工芸品(書跡・典籍)	三春	字御免町 福聚寺	H6.1.5
39	月船禅慧遺偈	有形文化財	美術工芸品(書跡・典籍)	三春	字荒町 高乾院	H6.1.5
40	高乾院所蔵文書(仏教典籍)	有形文化財	美術工芸品(書跡・典籍)	三春	字荒町 高乾院	S58.9.20
41	大祥院文書二通	有形文化財	美術工芸品(古文書)	中妻	沼沢字宮ノ前	H1.11.1
42	平沢文書二通	有形文化財	美術工芸品(古文書)	御木沢	平沢字札場	H1.11.1
43	木目沢文書一通	有形文化財	美術工芸品(古文書)	三春	字桜谷 歴史民俗資料館 寄託	H1.11.1
44	秋田実季軍陣掟之條々	有形文化財	美術工芸品(古文書)	三春	字桜谷 歴史民俗資料館	H11.8.27
45	申上御訴訟之事(雪村庵関係文書)	有形文化財	美術工芸品(古文書)	三春	字桜谷 歴史民俗資料館	H11.8.27
46	西方前遺跡出土品	有形文化財	美術工芸品(考古資料)	三春	字桜谷 三春町教委	H1.11.1
47	上舞木板石供養塔婆	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	岩江	上舞木字平	S56.12.22
48	町田板石供養塔婆	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中妻	斎藤字町田	S56.12.22
49	向田板石供養塔婆	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中妻	斎藤字場上田	S56.12.22
50	戸ノ内板石供養塔婆	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中妻	斎藤字戸ノ内	S56.12.22
51	滝板石供養塔婆	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中郷	滝字高野	S56.12.22
52	並松坂供養塔婆	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字雁木田	H1.11.1
53	三春城鯨瓦	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字桜谷 歴史民俗資料館	H11.8.27
54	三春城鬼瓦	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	中妻	鷹巣字浮内	H11.8.27
55	龍穩院の姫駕籠	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字荒町 龍穩院	H13.4.24
56	秋田一季氏寄贈一括資料	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字桜谷 歴史民俗資料館	H11.8.27
57	三春城起こし絵図	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字桜谷 歴史民俗資料館	H10.5.11
58	宝永四年三春城下絵図	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字桜谷 歴史民俗資料館	H10.5.11
59	松下時代三春城下絵図	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字桜谷 歴史民俗資料館	H11.8.27
60	四種護摩口伝写	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字新町 真照寺	H6.1.5
61	大師御口決	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字新町 真照寺	H6.1.5
62	瑜祇経口伝	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字新町 真照寺	H6.1.5
63	三宝院伝法灌頂私記写	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字新町 真照寺	H6.1.5
64	福聚寺所蔵印證	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字御免町 福聚寺	H6.1.5

指定等文化財リスト

番号	名称	大分類	中分類	地域	所在地	指定等年月日
65	高乾院所蔵印證	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字荒町 高乾院	H6.1.5
66	湊福寺史料	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字荒町 高乾院	H6.1.5
67	安居闍衆名簿	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字荒町 高乾院	H6.1.5
68	光格天皇御宸翰	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字荒町 高乾院	H6.1.5
69	高乾院寺法	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字荒町 高乾院	H6.1.5
70	ブリタニカ百科事典	有形文化財	美術工芸品(歴史資料)	三春	字桜谷 歴史民俗資料館	H14.4.24
71	三春大神宮奉納白馬像	民俗文化財	有形の民俗文化財	三春	字馬場 三春大神宮	S42.4.1
72	三春大神宮奉納絵馬九面	民俗文化財	有形の民俗文化財	三春	字馬場 三春大神宮	S42.4.1
73	三春大神宮奉納絵馬一面	民俗文化財	有形の民俗文化財	三春	字馬場 三春大神宮	S58.9.20
74	馬頭観音堂奉納絵馬九面	民俗文化財	有形の民俗文化財	三春	字荒町 華正院	S52.9.28
75	天日鷲神社奉納絵馬一面	民俗文化財	有形の民俗文化財	沢石	富沢字五本木 天日鷲神社	S56.12.22
76	天日鷲神社奉納絵馬一面	民俗文化財	有形の民俗文化財	沢石	富沢字五本木 天日鷲神社	S58.9.20
77	厳島神社奉納祭礼絵馬	民俗文化財	有形の民俗文化財	御木沢	御祭字幅遠内 厳島神社	H16.6.8
78	富沢太々神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	沢石	富沢字五本木 平生田楽人会(解散)	H1.11.1
79	直毘神社の太々神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	岩江	上舞木字宮ノ前 直毘神社/上舞木御神楽保存会	H16.6.8
80	斎藤の太々神楽	民俗文化財	無形の民俗文化財	中妻	斎藤字戸ノ内 見渡神社/斎藤太々神楽保存会	S58.9.20
81	八幡神社の長獅子舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	三春	字雁木田 八幡神社/八幡町若連	H16.6.8
82	八雲神社の長獅子舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	三春	字小浜海道 八雲神社/荒獅子保存会	H16.6.8
83	田村大元神社の長獅子舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	三春	字山中 田村大元神社別火講中	H16.6.8
84	田村大元神社の三匹獅子舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	三春	字山中 田村大元神社三匹獅子保存会	H10.5.11
85	高木神社の三匹獅子舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	沢石	実沢字宮脇 高木神社三匹獅子保存会(休止)	H13.4.24
86	垢潜三匹獅子舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	沢石	富沢字一ノ沢 火雷神社/垢潜奉新会(休止)	S58.9.20
87	樋渡の三匹獅子舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	中郷	樋渡字不動滝 樋渡熊野神社/樋渡三匹獅子保存会	H16.6.8
88	蛇石の三匹獅子舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	中郷	蛇石字蛇石前 王子神社/蛇石三匹獅子保存会(休止)	H16.6.8
89	伝統三春盆踊り	民俗文化財	無形の民俗文化財	三春	字桜谷 三春伝統盆踊り保存会(解散)	H1.11.1
90	西方の水かけ祭	民俗文化財	無形の民俗文化財	中妻	西方字仲ノ内 塩釜神社/西方若連会	S58.9.20
91	堂平住居跡	記念物	遺跡(史跡)	沢石	実沢字堂平	S46.12.4
92	三春城趾	記念物	遺跡(史跡)	三春	字大町	S58.9.20
93	田村氏三代の墓	記念物	遺跡(史跡)	三春	字御免町 福聚寺	S52.9.28

指定等文化財リスト

番号	名称	大分類	中分類	地域	所在地	指定等年月日
94	加藤氏の墓	記念物	遺跡(史跡)	三春	字亀井 光岩寺	H1.11.1
95	松下氏三代の墓	記念物	遺跡(史跡)	三春	字新町 州伝寺	H1.11.1
96	秋田氏御廟(位牌堂等)	記念物	遺跡(史跡)	三春	字荒町 高乾院	S52.9.28
97	秋田氏の墓	記念物	遺跡(史跡)	三春	字荒町 龍穩院	H1.11.1
98	鷹巣の一里塚	記念物	遺跡(史跡)	中妻	鷹巣字戸之内	H13.4.24
99	愛宕神社のイヌシデ	記念物	植物(天然記念物)	三春	字中町 愛宕神社	H10.5.11
100	愛宕神社のケヤキ	記念物	植物(天然記念物)	三春	字中町 愛宕神社	H10.5.11
101	三春大神宮のモミ	記念物	植物(天然記念物)	三春	字馬場 三春大神宮	H10.5.11
102	八十内公園のかもん桜	記念物	植物(天然記念物)	三春	桜ヶ丘	H11.8.27
103	南成田の大桜	記念物	植物(天然記念物)	要田	南成田字大桜	H10.5.11
104	白山比咩神社のブナ	記念物	植物(天然記念物)	中郷	貝山字宮ノ下 白山比咩神社	H10.5.11
国登録						
105	旧吉田家住宅主屋	有形文化財	建造物	三春	字大町 三春町文化伝承館	R2.8.17
106	旧吉田家住宅紫雲閣	有形文化財	建造物	三春	字大町 三春町文化伝承館	R2.8.17

資料5-2. 埋蔵文化財リスト

埋蔵文化財リスト

番号	遺跡名	地域	所在地	時代	遺跡No.
城館跡					
(92)	三春城跡 (町指定三春城趾)	三春	字大町・南町・北町、ほか	室町～江戸時代末	10
107	近世追手門前通り遺跡群	三春	字大町・南町	江戸時代	226
108	一本松遺跡	三春	字一本松、郡山市	室町～安土桃山時代	232
109	月斎館跡	三春	字北町・燕清水・六升蒔	室町～安土桃山時代	163
110	樋ノ口館跡	三春	字樋ノ口	室町～安土桃山時代	181
111	実沢館跡	沢石	実沢字開宝山	室町～安土桃山時代	38
112	実沢新館跡	沢石	実沢字館腰	室町～安土桃山時代	219
113	富沢古館跡	沢石	富沢字松ヶ作	室町～安土桃山時代	211
114	富沢館跡	沢石	富沢字聖楽	室町～安土桃山時代	34
115	熊耳館跡	要田	熊耳字館・古殿・船引町	室町～安土桃山時代	48
116	西小屋館跡	要田	南成田字西小屋・船引町	室町～安土桃山時代	205
117	こや館跡	要田	北成田字山中・館・柳沢	室町～安土桃山時代	40
118	庄司西之内館跡	要田	庄司字西之内・船引町	室町～安土桃山時代	207
119	御祭館跡	御木沢	御祭字小山	室町～安土桃山時代	6
120	七草木館跡	御木沢	七草木字館下・槻木	室町～安土桃山時代	3
121	大峰館跡	岩江	上舞木字大峰	室町～安土桃山時代	15
122	堤館跡	中妻	鷹巣字堤	室町～安土桃山時代	49
123	鷹巣後田館跡	中妻	鷹巣字大柳・菖蒲作・坂下	室町～安土桃山時代	12
124	宮田館跡	岩江	山田字宮田・郡山市	室町～安土桃山時代	102
125	沼沢館跡	中妻	沼沢字館・神ノ上・北ノ作	室町～安土桃山時代	54
126	斎藤館跡	中妻	斎藤字斎藤・里内	室町～安土桃山時代	63
127	三本木館跡	中妻	斎藤字三本木	室町～安土桃山時代	150
128	仁井道館跡	中妻	斎藤字仁井道	室町～安土桃山時代	69
129	斎藤長久保館跡	中妻	斎藤字長久保	室町～安土桃山時代	64
130	西方館跡	中妻	西方字中ノ内	室町～安土桃山時代	58
131	柴原館跡	中郷	柴原字滑津	室町～安土桃山時代	52
132	貝山館跡	中郷	貝山字山崎・東田	室町～安土桃山時代	24
133	蛇沢館跡	中郷	蛇沢字蛇沢	室町～安土桃山時代	121
134	過足館跡	中郷	過足字館	室町～安土桃山時代	137
社寺跡					
135	来光院跡	三春	字大町	江戸時代	233
古墳					
136	一本松古墳	三春	字一本松	古墳時代	159
137	八坂古墳	沢石	富沢字八坂	古墳時代	29

埋蔵文化財リスト

番号	遺跡名	地域	所在地	時代	遺跡No.
138	五本木古墳群	沢石	富沢字平生田	古墳時代	31
139	行人壇古墳群	沢石	富沢字五本木(?)	古墳時代	32
140	置去壇古墳	要田	熊耳字宇道	古墳時代	171
141	丸塚古墳	要田	南成田字丸塚	古墳時代	47
142	白光内古墳	要田	南成田字白光内	古墳時代	46
143	そや壇古墳	要田	北成田字西姓内	古墳時代	35
144	坂之下古墳群	要田	北成田字堂ノ入	古墳時代	39
145	へいどう壇古墳	要田	北成田字宮ノ前	古墳時代	41
146	踊り壇古墳	要田	北成田字新池	古墳時代	42
147	般若壇古墳	中妻	鷹巣字梅ノ木作	古墳時代	16
148	泉田古墳	中妻	鷹巣字宮影	古墳時代	17
塚					
149	法蔵寺経塚	三春	字荒町	不明	162
150	西小屋塚	要田	南成田字西小屋・船引町	不明	206
151	狐塚	中妻	鷹巣字狐塚	不明	146
152	斎藤長久保塚群	中妻	斎藤字長久保	不明	100
153	西方中ノ内塚	中妻	西方字中ノ内	不明	59
154	吉田塚	中郷	滝字吉田	不明	56
155	前ノ久保塚	中郷	貝山字前ノ久保	不明	26
156	古内前通A塚群	中郷	貝山字古内前通	不明	23
157	古内前通B塚	中郷	貝山字古内前通	不明	154
158	オサン壇塚群	中郷	貝山字馬千内	不明	156
159	貝山堀ノ内塚群	中郷	貝山字堀ノ内	不明	227
160	過足久保塚	中郷	過足字久保	不明	140
161	仲平B塚	中郷	根本字仲平	不明	97
162	仲平A塚群	中郷	根本字仲平	不明	132
163	金水塚	中郷	蛇石字金水	不明	70
石造物					
164	煙地内供養塔群	三春	字桜谷(大字鷹巣字煙地内)	南北朝時代	164
(52)	並松坂供養塔(町指定並松坂供養塔婆)	三春	字雁木田	江戸時代 慶長十三(1608)年	158
165	熊耳館供養塔	要田	熊耳字館	室町時代 観応(1350~1352)年	169
166	平道内遺跡	要田	熊耳字平道内	平安時代	168
167	上舞木向田供養塔	岩江	上舞木字向田	不明	153
(47)	上舞木供養塔(町指定上舞木板石供養塔婆)	岩江	上舞木字平	鎌倉時代 弘安七(1284)年	152

埋蔵文化財リスト

番号	遺跡名	地域	所在地	時代	遺跡No.
(48)	町田供養塔(町指定町田板石供養塔婆)	中妻	斎藤字町田	不明	147
(49)	斎藤向田供養塔群(町指定向田板石供養塔婆)	中妻	斎藤字場上田	鎌倉時代 応長二(1312)年	149
(50)	斎藤戸ノ内供養塔群(町指定戸ノ内板石供養塔婆)	中妻	斎藤字戸ノ内	南北朝時代	148
(51)	滝供養塔(町指定滝板石供養塔婆)	中郷	滝字高野	鎌倉時代 文保二(1318)年	134
168	貝山馬場供養塔	中郷	貝山字馬場	南北朝時代 明德(1390~1393)年間か	157
169	貝山福内供養塔	中郷	貝山字福内	不明	155
窯跡					
170	丈六窯跡群	三春	字丈六	江戸時代~大正時代	161
171	担橋窯跡群	御木沢	平沢字担橋	江戸時代	178
散布地					
172	鶴蒔田遺跡	三春	字丈六・鶴蒔田	平安時代	160
173	松橋遺跡	三春	字松橋	奈良~平安時代	177
174	樋ノ口遺跡	三春	字樋ノ口	奈良~平安時代	180
175	仁井町遺跡	三春	字仁井町	奈良~平安時代	176
176	清水畑遺跡	三春	字清水畑	縄文時代中期	175
177	八十内A遺跡	三春	字八十内	奈良~平安時代	111
178	八十内B遺跡	三春	字八十内	鎌倉~安土桃山時代	112
179	大稲場遺跡	沢石	実沢字大稲場	奈良~平安時代	223
180	大稲場B遺跡	沢石	実沢字大稲場	奈良~平安時代	224
181	萱ヶ作遺跡	沢石	実沢字萱ヶ作	縄文時代中期中葉	30
182	堂金遺跡	沢石	実沢字堂金	奈良~平安時代	225
183	実沢永作遺跡	沢石	実沢字永作	縄文時代後期、平安時代	33
184	飛所遺跡	沢石	実沢字飛所	奈良~平安時代	222
185	鍛冶田遺跡	沢石	実沢字鍛冶田	奈良~平安時代	220
(91)	実沢堂平遺跡(町指定堂平住居跡)	沢石	実沢字堂平	縄文時代前期後葉~縄文時代後期中葉	45
186	大寺斗蒔田遺跡	沢石	実沢字大寺斗蒔田・船引町	縄文時代	221
187	中森遺跡	沢石	実沢字中森	不明	44
188	大境遺跡	沢石	富沢字大境・船引町	奈良~平安時代	209
189	富沢吉田遺跡	沢石	富沢字大境	弥生時代	210
190	富沢北之内遺跡	沢石	富沢字北之内	奈良~平安時代	216
191	堺之内遺跡	沢石	富沢字堺之内	奈良~平安時代	215
192	彦次郎遺跡	沢石	富沢字彦次郎	縄文時代	218
193	行人沢遺跡	沢石	富沢字行人沢	縄文時代前期・後期、奈良~平安時代	28
194	柳沢二又遺跡	沢石	富沢字柳沢二又	縄文時代、奈良~平安時代	203

埋蔵文化財リスト

番号	遺跡名	地域	所在地	時代	遺跡No.
195	宇道坂遺跡	沢石	富沢字宇道坂	縄文時代	212
196	鬺毛遺跡	沢石	富沢字鬺毛	奈良～平安時代	214
197	富沢馬場遺跡	沢石	富沢字馬場	縄文時代、奈良～平安時代	213
198	田向遺跡	沢石	富沢字田向	縄文時代	217
199	下荒井A遺跡	要田	熊耳字下荒井	平安時代	172
200	下荒井B遺跡	要田	熊耳字下荒井	不明	173
201	下荒井C遺跡	要田	熊耳字下荒井	縄文時代	174
202	熊耳天王前遺跡	要田	熊耳字天王前	奈良～平安時代	170
203	遊正内遺跡	要田	南成田字遊正内	奈良～平安時代	199
204	草深内遺跡	要田	南成田字草深内	奈良～平安時代	200
205	大桜B遺跡	要田	南成田字大桜	奈良～平安時代	201
206	西姓内遺跡	要田	北成田字西姓内・竹ノ花	縄文時代晩期中葉	36
207	北成田中屋敷遺跡	要田	北成田字中屋敷	縄文時代後期	37
208	辻遺跡	要田	北成田字辻	奈良～平安時代	204
209	梶山遺跡	要田	北成田字梶山	縄文時代中期～後期	202
210	大桜遺跡	要田	南成田字大桜・船引町	縄文時代中期中葉	43
211	庄司遺跡	要田	庄司字庄司	奈良～平安時代	208
212	担橋遺跡	御木沢	平沢字担橋	奈良～平安時代	179
213	天王前遺跡	御木沢	平沢字水無	縄文時代晩期、平安時代	9
214	平沢四合田A遺跡	御木沢	平沢字四合田	平安時代前半期	7
215	平沢四合田B遺跡	御木沢	平沢字四合田	不明	8
216	桜内遺跡	御木沢	平沢字桜内	奈良～平安時代	195
217	桜内B遺跡	御木沢	平沢字桜内	奈良～平安時代	196
218	広久保遺跡	御木沢	平沢字広久保	奈良～平安時代	192
219	小山遺跡	御木沢	御祭字小山	縄文時代中期中葉	5
220	御祭戸ノ内遺跡	御木沢	御祭字戸ノ内	奈良～平安時代	183
221	御祭越田和遺跡	御木沢	御祭字越田和	縄文時代	182
222	御祭古内遺跡	御木沢	御祭字古内・橋本	縄文時代後期～晩期	186
223	御祭中平遺跡	御木沢	御祭字中平	奈良～平安時代	188
224	御祭中屋敷遺跡	御木沢	御祭字中屋敷	奈良～平安時代	187
225	御祭堀ノ内遺跡	御木沢	御祭字堀ノ内	縄文時代、奈良～平安時代	185
226	大林遺跡	御木沢	御祭字大林	縄文時代	184
227	七草木田畑遺跡	御木沢	七草木字田畑	奈良～平安時代	189
228	館下遺跡	御木沢	七草木字山口・槻木	縄文時代中期	2
229	七草木山口遺跡	御木沢	七草木字山口	奈良～平安時代	191
230	宮信田遺跡	御木沢	七草木字宮信田	縄文時代晩期中葉、平安時代	1
231	山田戸之内遺跡	岩江	山田字戸之内	縄文時代中期末	13

埋蔵文化財リスト

番号	遺跡名	地域	所在地	時代	遺跡No.
232	宮信田B遺跡	御木沢	七草木字宮信田	奈良～平安時代	197
233	宮信田C遺跡	御木沢	七草木字宮信田	縄文時代、奈良～平安時代	198
234	久保内遺跡	御木沢	七草木字久保内	縄文時代、奈良～平安時代	190
235	殿作遺跡	御木沢	七草木字殿作	縄文時代	4
236	倉之内A遺跡	御木沢	平沢字倉之内	奈良～平安時代	193
237	倉之内B遺跡	御木沢	平沢字倉之内	奈良～平安時代	194
238	山田柳ヶ作遺跡	岩江	山田字柳ヶ作	縄文時代、平安時代	96
239	取上遺跡	岩江	山田字取上	奈良～平安時代	101
240	小峰遺跡	岩江	上舞木字小峰	平安時代	84
241	板子内A遺跡	岩江	上舞木字板子内	平安時代	85
242	板子内B遺跡	岩江	上舞木字板子内	縄文時代、平安時代	86
243	上舞木細田遺跡	岩江	上舞木字細田	平安時代	87
244	上舞木後田遺跡	岩江	上舞木字後田・貝貸田	平安時代	14
245	大峰A遺跡	岩江	上舞木字大峰	平安時代	82
246	大峰B遺跡	岩江	上舞木字大峰	平安時代	83
247	追越遺跡	岩江	下舞木字追越	平安時代	76
248	一本木遺跡	岩江	下舞木字一本木	平安時代	77
249	下舞木西ノ内遺跡	岩江	下舞木字西ノ内	平安時代	78
250	山中遺跡	岩江	下舞木字石田・郡山市	縄文時代	79
251	正神平遺跡	岩江	下舞木字正神平・郡山市	縄文時代中期末	75
252	石花A遺跡	岩江	下舞木字石花	平安時代	80
253	石花B遺跡	岩江	下舞木字石花	平安時代	151
254	虫内遺跡	岩江	下舞木字虫内	縄文時代晩期、平安時代	81
255	昼森遺跡	中妻	鷹巣字昼森	不明	11
256	舌斗内遺跡	中妻	鷹巣字舌斗内	平安時代	21
257	坊ノ内遺跡	中妻	鷹巣字坊ノ内	平安時代	20
258	姥ヶ懐遺跡	中妻	鷹巣字姥ヶ懐	不明	50
259	日天遺跡	中妻	鷹巣字日天	平安時代	88
260	泉田A遺跡	中妻	鷹巣字泉田	縄文時代、平安時代	19
261	泉田B遺跡	中妻	鷹巣字泉田	平安時代	93
262	泉田C遺跡	中妻	鷹巣字泉田	平安時代	94
263	鷹巣北ノ内遺跡	中妻	鷹巣字北ノ内	平安時代	18
264	鷹巣大久保遺跡	中妻	鷹巣字大久保	縄文時代、平安時代	95
265	沼沢宮ノ前遺跡	中妻	沼沢字宮ノ前	平安時代	89
266	古館A遺跡	中妻	沼沢字古館	平安時代	90
267	古館B遺跡	中妻	沼沢字古館	縄文時代	91
268	神ノ上遺跡	中妻	沼沢字神ノ上	縄文時代、平安時代	92

埋蔵文化財リスト

番号	遺跡名	地域	所在地	時代	遺跡No.
269	斎藤町田遺跡	中妻	斎藤字町田	平安時代	99
270	浮貝遺跡	中妻	西方字浮貝	平安時代	55
271	西方前遺跡	中妻	西方字西方前	縄文時代中期末～弥生時代初頭、平安時代	60
272	向山A遺跡	中妻	西方字向山	平安時代	61
273	向山B遺跡	中妻	西方字向山	縄文時代	65
274	桜久保遺跡	中郷	滝字桜久保	奈良～平安時代	135
275	滝吉田遺跡	中郷	滝字吉田	縄文時代晩期	119
276	柴原B遺跡	中郷	滝字五合田	縄文時代前期前葉～中期末	71
277	柴原大平遺跡	中郷	柴原字大平	縄文時代、安土桃山～江戸時代	120
278	広戸遺跡	中郷	柴原字広戸・杉山	縄文時代、平安時代	143
279	柴原A遺跡	中郷	柴原字柴原	縄文時代前期～後期、平安時代	53
280	苅又遺跡	中郷	柴原字苅又	縄文時代	142
281	柴原四合内A遺跡	中郷	柴原字四合内	縄文時代晩期中葉	144
282	柴原四合内B遺跡	中郷	柴原字四合内	平安時代	145
283	川平遺跡	中郷	込木字川平	縄文時代中期	98
284	長作A遺跡	中郷	芹ヶ沢字長作	縄文時代、奈良～平安時代	113
285	長作B遺跡	中郷	芹ヶ沢字長作	平安時代	165
286	長作B遺跡	中郷	芹ヶ沢字長作	平安時代	165
287	中久保遺跡	中郷	芹ヶ沢字中久保	縄文時代、奈良～平安時代	115
288	深作A遺跡	中郷	芹ヶ沢字深作	平安時代	116
289	深作B遺跡	中郷	芹ヶ沢字深作	縄文時代、平安時代	167
290	背上A遺跡	中郷	芹ヶ沢字背上	平安時代	166
291	横台道遺跡	中郷	芹ヶ沢字横台道	奈良～平安時代	114
292	貝山馬場遺跡	中郷	貝山字馬場	奈良～平安時代	107
293	貝山大谷津A遺跡	中郷	貝山字大谷津	奈良～平安時代	109
294	貝山大谷津B遺跡	中郷	貝山字大谷津	縄文時代、奈良～平安時代	110
295	東田遺跡	中郷	貝山字東田	奈良～平安時代	108
296	前ノ久保B遺跡	中郷	貝山字前ノ久保	平安時代	25
297	前ノ久保A遺跡	中郷	貝山字前ノ久保	平安時代	27
298	石戸遺跡	中郷	貝山字前ノ久保	不明	51
299	貝山福内遺跡	中郷	貝山字福内	縄文時代中期～後期	22
300	貝山古内遺跡	中郷	貝山字古内	縄文時代、奈良～平安時代	104
301	貝山宮ノ下A遺跡	中郷	貝山字宮ノ下	奈良～平安時代、江戸時代後半～明治時代	105
302	貝山宮ノ下B遺跡	中郷	貝山字宮ノ下	奈良～平安時代	117
303	貝山沼ノ倉遺跡	中郷	貝山字沼ノ倉	奈良～平安時代	103
304	貝山堀ノ内遺跡	中郷	貝山字堀ノ内	奈良～平安時代	106

埋蔵文化財リスト

番号	遺跡名	地域	所在地	時代	遺跡No.
305	蛇沢下田遺跡	中郷	蛇沢字下田	縄文時代早期後葉～晩期後半	125
306	春田遺跡	中郷	春田字春田	縄文時代早期～中期後葉、平安時代	57
307	春田B遺跡	中郷	春田字春田	奈良～平安時代、鎌倉～室町時代	124
308	向山遺跡	中郷	春田字春田	奈良～平安時代	228
309	春田沼倉遺跡	中郷	春田字沼倉	奈良～平安時代	118
310	道城遺跡	中郷	春田字道城		231
311	折ノ内遺跡	中郷	狐田字折ノ内	縄文時代、平安時代	66
312	深谷遺跡	中郷	狐田字深谷	平安時代	67
313	深谷B遺跡	中郷	狐田字深谷	奈良～平安時代	229
314	狐田馬場遺跡	中郷	狐田字馬場	平安時代	68
315	狐田馬場B遺跡	中郷	狐田字馬場	奈良～平安時代	136
316	元内遺跡	中郷	過足字元内	縄文時代・奈良～平安時代	138
317	過足久保遺跡	中郷	過足字久保	奈良～平安時代	139
318	過足岩ノ入遺跡	中郷	過足字岩ノ入	奈良～平安時代	141
319	根本四合内B遺跡	中郷	根本字四合内	縄文時代中期、平安時代初期	128
320	四合内A遺跡	中郷	根本字四合内		230
321	光谷遺跡	中郷	根本字光谷	縄文時代後期～晩期、平安時代	122
322	仲平遺跡	中郷	根本字仲平	縄文時代中期中葉～末葉	74
323	東平遺跡	中郷	根本字東平	縄文時代、奈良～平安時代	123
324	一矢間遺跡	中郷	根本字一矢間	奈良～平安時代	130
325	一矢間B遺跡	中郷	根本字一矢間	奈良～平安時代	131
326	樋渡A遺跡	中郷	樋渡字不動滝	縄文時代、奈良～平安時代	129
327	下ノ前B遺跡	中郷	樋渡字下ノ前	縄文時代	72
328	下ノ前A遺跡	中郷	樋渡字下ノ前	縄文時代	73
329	蛇石前遺跡	中郷	蛇石字蛇石前	縄文時代、平安時代	127
330	蛇石越田和遺跡	中郷	蛇石字越田和	縄文時代中期末～後期初頭、平安時代初期	126
331	上金水遺跡	中郷	蛇石字上金水	縄文時代、奈良～平安時代	133
332	蛇石遺跡	中郷	蛇石字蛇石	縄文時代	62

資料5-3. 未指定文化財リスト(埋蔵文化財以外)

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
有形文化財・建造物			
333	引接山紫雲寺〔本堂、庫裡、ほか〕	三春	字大町 紫雲寺
334	王子神社〔本殿・幣殿・拝殿〕	三春	字大町 王子神社
335	招魂社〔本殿〕	三春	字大町 招魂社
336	守城稻荷神社〔本殿・幣殿・拝殿〕	三春	字南町 守城稻荷神社
337	三宝荒神社祠	三春	字南町 三宝荒神社
338	愛宕神社〔本殿(奉安殿)・拝殿〕	三春	字中町 愛宕神社
339	慧日山福聚寺〔本堂、庫裡、観音堂、ほか〕	三春	字御免町 福聚寺
340	三春大神宮〔本殿、幣殿、拝殿、神楽殿、ほか〕	三春	字馬場 三春大神宮
341	正徳地藏堂(正徳地藏尊、六地藏のひとつ)	三春	字馬場
342	久成山法華寺〔本堂、庫裡、ほか〕	三春	字八幡町 法華寺
343	丈六薬師堂	三春	字丈六
344	八幡神社〔本殿、幣殿、拝殿〕	三春	字雁木田 八幡神社
345	郡守山法蔵寺〔本堂、庫裡、山門、ほか〕	三春	字荒町 法蔵寺
346	安日山高乾院〔本堂、庫裡〕	三春	字荒町 高乾院
347	円照山光善寺〔本堂、庫裡〕	三春	字荒町 光善寺
348	秋田山龍穩院〔本堂、庫裡、金比羅堂〕	三春	字荒町 龍穩院
349	馬頭観音堂〔本堂、ほか〕	三春	字荒町 華正院
350	八雲神社〔本殿、幣殿、拝殿〕	三春	字小浜海道 八雲神社
351	北野神社〔本殿、拝殿、秋葉社、子守稻荷社、ほか〕	三春	字北町 北野神社
352	正覚山光岩寺〔本堂〕	三春	字亀井 光岩寺
353	天翁山州伝寺〔本堂、地藏堂、庫裡〕	三春	字新町 州伝寺
354	日乗山真照寺〔本堂、庫裡〕	三春	字新町 真照寺
355	田村大元神社〔本殿、幣殿、拝殿、ほか〕	三春	字山中 田村大元神社
356	万年山天沢寺〔本堂、地藏堂、ほか〕	三春	字清水 天沢寺
357	菅船神社・稻荷神社	三春	八島台
358	現人神社	沢石	実沢字地神前
359	熊野神社	沢石	実沢字里内
360	小高神社	沢石	実沢字西之内
361	久須斯神社	沢石	実沢字薬師堂
362	阿弥陀堂	沢石	実沢字永作
363	薬師堂	沢石	実沢字永作
364	稻荷神社	沢石	実沢字永畑
365	大日(如来太子)堂	沢石	実沢字古沢目
366	稻荷神社	沢石	実沢字開宝山

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
367	古館(稲荷)神社	沢石	実沢字開宝山
368	高木神社〔本殿、拝殿、神楽殿〕	沢石	実沢字宮脇
369	麓山神社	沢石	実沢字沢田
370	家畜神社	沢石	実沢字古寺
371	瑞祥寺〔本堂〕	沢石	実沢字古寺
372	大雷神社	沢石	実沢字館腰
373	八幡神社	沢石	実沢字屋戸
374	灰釜大明神	沢石	青石字青石坂
375	稲荷神社〔本殿、拝殿〕	沢石	青石字青石坂
376	蚕養神社(養蚕国大神)	沢石	青石字青石坂
377	火雷神社〔本殿、拝殿〕	沢石	富沢字一ノ沢
378	八坂神社〔本殿〕	沢石	富沢字八坂
379	生田神社〔本殿〕	沢石	富沢字石田
380	山津見神社	沢石	富沢字檜梨池頭
381	稲荷大明神〔本殿〕	沢石	富沢字新館
382	宮代神社〔本殿、拝殿〕	沢石	富沢字宮ノ下
383	天日鷲神社〔本殿、拝殿、神楽殿〕	沢石	富沢字五本木
384	天満宮	沢石	富沢字五本木
385	宝伝寺〔本堂〕	沢石	富沢字五本木
386	十一面観世音	沢石	富沢字五本木
387	五本木神社	沢石	富沢字五本木
388	出羽三山富沢支教会〔本殿、拝殿〕	沢石	富沢字五本木
389	稲荷神社〔本殿〕	沢石	富沢字北ノ内
390	聖楽観世音堂〔本堂〕	沢石	富沢字聖楽
391	愛宕神社〔本殿、拝殿、神楽殿〕	沢石	富沢字鬬毛
392	稲荷神社〔本殿〕	要田	熊耳字下荒井
393	馬頭観音堂	要田	熊耳字下荒井
394	八雲神社	要田	熊耳字古内
395	菅原神社	要田	熊耳字古殿
396	天神様	要田	熊耳字古殿
397	十一面観音(古殿観音堂)	要田	熊耳字古殿
398	おぼしなさま(生産様・産土様)	要田	熊耳字神山
399	古志王神社	要田	熊耳字神山
400	稲荷神社(正一位稲荷大明神)	要田	熊耳字山之内
401	千代川稲荷神社〔拝殿〕	要田	南成田字千代川

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
402	大森神社(稲荷様)〔拝殿〕	要田	南成田字遊正内
403	草深内神社(権現様・湯殿神社)〔本殿、拝殿〕	要田	南成田字草深内
404	住吉神社(権現様)〔拝殿〕	要田	南成田字住吉
405	白光内虚空蔵尊〔拝殿〕	要田	南成田字白光内
406	高御座神社(妙見様)〔拝殿〕	要田	南成田字山崎
407	鍛冶内虚空蔵尊〔本殿、拝殿〕	要田	北成田字鍛冶内
408	津島神社(天王様)〔本殿、拝殿〕	要田	北成田鳴呼七郎内
409	成田神社(地鎮様)〔本殿、拝殿、神楽殿〕	要田	北成田字広畑
410	氏神様	要田	北成田字西姓内
411	津島神社	要田	北成田字殿ノ内
412	花取地藏尊(地藏堂)	要田	庄司字山口
413	笹山神社	要田	庄司字仲之内
414	鹿島神社(鹿島大神)	要田	庄司字西之内
415	子安地藏堂	要田	庄司字西之内
416	物外地蔵堂	御木沢	平沢字担橋
417	諏訪神社	御木沢	平沢字担橋
418	藍神様(十王堂)	御木沢	平沢字谷戸
419	満願虚空蔵堂	御木沢	平沢字札場
420	高台稲荷神社	御木沢	平沢字高戸屋
421	見渡神社〔本殿、拝殿、神楽殿、倉庫等〕	御木沢	平沢字中
422	観音堂	御木沢	平沢字中
423	蚕養神社	御木沢	平沢字倉之内
424	馬頭観世音堂	御木沢	平沢字桜内
425	天王様	御木沢	平沢字東
426	蚕養神社	御木沢	平沢字広久保
427	稲荷神社	御木沢	御祭字小山
428	巖島神社〔拝殿、神楽殿、倉庫等〕	御木沢	御祭字幅遠内
429	栗島神社(栗神様)	御木沢	御祭字松ヶ作
430	熊野神社	御木沢	御祭字戸ノ内
431	八幡神宮	御木沢	御祭字越田和
432	熊野神社	御木沢	御祭字越田和
433	稲荷神社	御木沢	御祭字橋本
434	観音堂	御木沢	御祭字橋本
435	八幡宮	御木沢	御祭字橋本
436	諏訪神社	御木沢	御祭字中平

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
437	稲荷神社	御木沢	御祭字中屋敷
438	地藏堂	御木沢	御祭字中屋敷
439	稲荷神社	御木沢	御祭字堀ノ内
440	浅間神社	御木沢	七草木字田畑
441	薬師堂	御木沢	七草木字槻木
442	地神宮	御木沢	七草木字山口
443	地藏堂	御木沢	七草木字篠之内
444	鹿島神社	御木沢	七草木字宮信田
445	天神宮	御木沢	七草木字殿作
446	若草木神社〔本殿、拝殿、倉庫等〕	御木沢	七草木字松山
447	地藏堂	御木沢	七草木字松山
448	沫蕩神社〔本社、拝殿、幣殿〕	岩江	山田字栃久保
449	三光稲荷	岩江	山田字栃久保
450	観音堂	岩江	山田字福内
451	寺作観音堂(千手観音)	岩江	山田字寺作
452	八幡・稲荷神社	岩江	山田字松ヶ作
453	小峰稲荷(正一位稲荷大明神)	岩江	上舞木字小峰
454	寺山観音堂(千手観音)〔本堂等〕	岩江	上舞木字寺山
455	熊野神社(大権現)	岩江	上舞木字平石
456	平石(子安)地藏堂〔本堂〕	岩江	上舞木字平石
457	大山津見神社	岩江	上舞木字向田
458	愛宕神社	岩江	上舞木字大峰
459	東松山延命寺	岩江	上舞木字大峰
460	天満宮〔本社〕	岩江	上舞木字大峰
461	直毘神社(二社大権現)〔本殿、拝殿、幣殿〕	岩江	上舞木字宮ノ前
462	岩江招魂社(鎮魂社)〔本殿〕	岩江	上舞木字宮ノ前
463	雷神様	岩江	下舞木字折ノ内
464	八坂神社(牛頭天王)〔本殿、拝殿〕	岩江	下舞木字岩本
465	正一位稲荷神社	岩江	下舞木字北山
466	北山(子育)地藏堂〔御堂〕	岩江	下舞木字北山
467	子安地藏堂	岩江	下舞木字正神平
468	薬師堂	岩江	下舞木字石花
469	小高神社(妙見様)〔本殿、拝殿〕	岩江	下舞木字石花
470	千手観音	岩江	下舞木字石崎
471	熊野神社	中妻	鷹巣字坊ノ内

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
472	稲荷大明神	中妻	鷹巣字竹ノ内
473	三渡神社(三渡大権現)	中妻	鷹巣字平松
474	白山比咩神社	中妻	鷹巣字堤
475	堤薬師様(薬師堂)	中妻	鷹巣字堤
476	浮内地蔵堂	中妻	鷹巣字浮内
477	八幡神社(八幡大菩薩)[拝殿等]	中妻	鷹巣字富作
478	八雲神社[拝殿、幣殿、本殿等]	中妻	鷹巣字泉田
479	鷹巣神社	中妻	鷹巣字泉田
480	園通山善應寺	中妻	鷹巣字泉田
481	醫王山薬師寺[本堂、瑠璃光薬師堂]	中妻	鷹巣字薬師堂
482	子安観世音(行屋)	中妻	鷹巣字菖蒲作
483	春日神社(鎮守様)[本殿、拝殿等]	中妻	沼沢字宮ノ前
484	愛宕神社(大権現)	中妻	沼沢字宮ノ前
485	宝石山紫雲院光明寺	中妻	沼沢字館
486	光明寺子安薬師堂	中妻	沼沢字館
487	安養庵(寺)	中妻	斎藤字斎藤
488	松樹神社(妙見様)	中妻	斎藤字斎藤
489	愛宕神社(権現様)	中妻	斎藤字戸ノ内
490	見渡神社[本殿・幣殿・拝殿・神楽殿]	中妻	斎藤字戸ノ内
491	霊泉神社(斎藤上の湯)	中妻	斎藤字上河原
492	鑛泉神社(斎藤下の湯)	中妻	斎藤字惣角地
493	三階堂地蔵堂	中妻	西方字石畑
494	不動堂	中妻	西方字西方前
495	馬頭観音(乳つけ観音)堂	中妻	西方字西方前
496	観音堂	中妻	西方字西方前
497	塩釜神社[拝殿・奥院等]	中妻	西方字中ノ内
498	妙見神社	中妻	西方字中ノ内
499	延命地蔵	中郷	滝字嘉屋
500	稲荷神社[本殿、拝殿等]	中郷	滝字滝久保
501	大雲山龍光寺	中郷	滝字岩ノ入
502	馬頭観音・不動堂	中郷	滝字岩ノ入
503	柴原神社	中郷	柴原字荻又
504	馬頭観音堂	中郷	柴原字神久保
505	日枝神社	中郷	柴原字滑津
506	薬師堂	中郷	柴原字広戸

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
507	見渡神社	中郷	込木字宮ノ下
508	熊野神社	中郷	案内字庚申坂
509	金刀比羅神社	中郷	案内字案内
510	津島神社	中郷	芹ヶ沢字横台道
511	笠松地藏	中郷	貝山字井堀田
512	白山比咩神社〔本殿、幣殿、拝殿〕	中郷	貝山字宮ノ下
513	大石・稻荷神社	中郷	貝山字馬千内
514	薬師堂	中郷	貝山字堀ノ内
515	倉成神社	中郷	蛇沢字北ノ内
516	稻荷神社	中郷	蛇沢字蛇沢
517	見渡日枝神社	中郷	春沢字春沢
518	聖徳太子堂	中郷	狐田字折ノ内
519	狐田稻荷神社〔拝殿、本殿、幣殿〕	中郷	狐田字狐田
520	少林山桂昌寺	中郷	狐田字狐田
521	三白目稻荷神社	中郷	狐田字狐田
522	飯渡権現(稚産霊命)	中郷	狐田字五郎内
523	地藏尊	中郷	狐田字深谷
524	菅布祢神社(菅船大神宮)〔本殿、拝殿〕	中郷	過足字館
525	木幡神社	中郷	過足字館
526	笑月山全應寺	中郷	過足字寺の前
527	春日神社	中郷	過足字長久保
528	愛宕神社	中郷	過足字長久保
529	人福地藏尊堂	中郷	過足字下屋敷
530	仁渡神社	中郷	過足字下屋敷
531	菅布祢神社〔本殿、拝殿等〕	中郷	過足字下屋敷
532	東光寺観音堂	中郷	根本字光谷
533	稻荷明神〔拝殿〕	中郷	根本字光谷
534	八王子神社、根本神社〔本殿、拝殿〕	中郷	根本字西ノ内
535	笠石八幡宮	中郷	根本字東平
536	稻荷神社	中郷	根本字一矢間
537	樋渡熊野神社〔本殿、拝殿〕	中郷	樋渡字不動滝
538	樋渡観音堂(千手観世音)	中郷	樋渡字不動滝
539	天神様	中郷	樋渡字不動滝
540	阿弥陀如来(阿弥陀堂)	中郷	樋渡字下ノ前
541	田村観音堂	中郷	樋渡字下ノ前

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
542	聖徳太子(太子堂)	中郷	蛇石字谷都
543	蛇神様厳島神社〔本殿〕	中郷	蛇石字蛇石前
544	王子神社〔本殿、拝殿、幣殿等〕	中郷	蛇石字蛇石前
545	三渡神社	中郷	蛇石字蛇石前
546	延命地藏尊	中郷	蛇石字蛇石前
547	蔵主稲荷大明神	中郷	蛇石字左工門坂
548	虚空蔵尊	中郷	蛇石字上金水
549	龍蔵院(金水法印様)	中郷	蛇石字上金水
550	中堂延命地藏	中郷	蛇石字蛇石前
551	本陣本店〔店舗、土蔵、住宅〕	三春	字中町
552	旧松島太鼓店	三春	字八幡町
553	大林文庫	三春	字新町
554	旧遠藤医院	三春	字南町
555	移川発電所	沢石	実沢字萱ヶ作
556	青石発電所	沢石	青石字鍋石
557	三春ダム	中妻	西方字中ノ内
558	春田大橋	中郷	春田字道城
559	三春交流館まほら	三春	字大町
560	三春町歴史民俗資料館・自由民権記念館	三春	字桜谷
561	三春ダム管理棟・資料館	中妻	西方字中ノ内
562	三春町民体育館	中郷	貝山字泉沢
有形文化財・美術工芸品(絵画)			
563	中村寛亭とその一門(寛山、寛融、寛泉、ほか)の絵画	三春	字桜谷 歴史民俗資料館、ほか
564	徳田研山3代の絵画	三春	字桜谷 歴史民俗資料館、ほか
565	石塚省三筆獅子図	三春	字桜谷 歴史民俗資料館
有形文化財・美術工芸品(彫刻)			
566	なで牛	三春	字北町 北野神社
567	お薬師様聖観音	中妻	鷹巣字薬師堂 薬師寺
568	観音・不動尊像	中郷	滝字岩ノ入 龍光寺
有形文化財・美術工芸品(工芸品)			
569	銅製松喰鶴鏡(国認定重要美術品)	三春	字山中 田村大元神社
570	三春駒	全地区	各所
571	三春人形(橋元コレクション、ほか)	三春	字桜谷 歴史民俗資料館
572	らっこコレクション	三春	字大町 郷土人形館
573	八幡神社奉納丈六焼狛犬	三春	字雁木田 八幡神社

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
574	寺社奉納金工品(鰐口、鉦、華鬘、ほか)	各地区	各寺社
575	歴史民俗資料館所蔵什器(漆器、陶磁器、ほか)	三春	字桜谷 歴史民俗資料館
576	三春羽子板	三春	字桜谷 歴史民俗資料館
577	丈六焼(祠、人形、ほか)	各地区	各寺社、ほか
有形文化財・美術工芸品(書跡・典籍)			
578	近世僧侶書跡(印可・偈頌、ほか)	各地区	各寺院
579	三春藩主秋田氏及び一族の揮毫	三春	字桜谷 歴史民俗資料館、ほか
580	河野広中の揮毫	三春	字桜谷 歴史民俗資料館、ほか
有形文化財・美術工芸品(典籍)			
581	旧藩講所所蔵和漢典籍	三春	字桜谷 歴史民俗資料館
582	旧正道館所蔵政治・思想関係図書	三春	字桜谷 歴史民俗資料館
583	旧小学校図書館所蔵教科書等図書	三春	字桜谷 歴史民俗資料館
有形文化財・美術工芸品(古文書)			
584	歴史民俗資料館所蔵古文書群	三春	字桜谷 歴史民俗資料館
585	歴史民俗資料館所蔵行政文書群	三春	字桜谷 歴史民俗資料館
有形文化財・美術工芸品(考古資料)			
586	柴原A遺跡出土ハート形土偶	中郷	白河市 福島県教委
有形文化財・美術工芸品(歴史資料)			
587	龍穩院奉納算額	三春	字荒町 龍穩院
588	田村大元神社奉納算額	三春	字山中 田村大元神社
589	高木神社奉納算額	沢石	実沢字宮脇 高木神社
590	愛宕神社奉納算額	沢石	富沢字鬬毛 愛宕神社
591	諏訪神社奉納算額	御木沢	平沢字担橋 諏訪神社
592	天神宮奉納算額	御木沢	七草木字殿作 天神宮
593	沫蕩神社奉納算額	岩江	山田字栃久保 沫蕩神社
594	直毘神社奉納算額	岩江	上舞木字宮ノ前 直毘神社
595	八雲神社奉納算額	中妻	鷹巣字泉田 八雲神社
596	狐田稻荷神社奉納算額	中郷	狐田字狐田 稻荷神社
597	三春藩絵図方資料	三春	字桜谷 歴史民俗資料館
無形文化財(工芸技術)			
598	三春人形の製作技術(小沢民芸)	要田	南成田字千代川
民俗文化財・有形の民俗文化財			
599	王子神社奉納絵馬	三春	字大町 王子神社
600	守城稻荷神社奉納絵馬	三春	字南町 守城稻荷神社
601	愛宕神社奉納絵馬	三春	字中町 愛宕神社

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
602	丈六薬師堂奉納絵馬	三春	字丈六 薬師堂
603	八幡神社奉納絵馬	三春	字雁木田 八幡神社
604	平石不動尊奉納絵馬(宝剣額)	三春	字荒町 龍穩院
605	八雲神社奉納絵馬	三春	字小浜海道 八雲神社
606	北野神社奉納絵馬	三春	字北町 北野神社
607	真照寺奉納絵馬(宝剣額)	三春	字新町 真照寺
608	田村大元神社奉納絵馬	三春	字山中 田村大元神社
609	身代り地藏堂奉納絵馬	三春	字清水 天沢寺
610	現人神社奉納絵馬	沢石	実沢字地神前 現人神社
611	小高神社奉納絵馬	沢石	実沢字西之内 小高神社
612	高木神社奉納絵馬	沢石	実沢字宮脇 高木神社
613	麓山神社奉納絵馬	沢石	実沢字沢田 麓山神社
614	八幡神社奉納絵馬	沢石	実沢字屋戸 八幡神社
615	稲荷神社奉納絵馬	沢石	青石字青石坂 稲荷神社
616	蚕養神社奉納絵馬	沢石	青石字青石坂 蚕養神社
617	火雷神社奉納絵馬	沢石	富沢字一ノ沢 火雷神社
618	八坂神社奉納絵馬	沢石	富沢字八坂 八坂神社
619	生田神社奉納絵馬	沢石	富沢字石田 生田神社
620	宮代神社奉納絵馬	沢石	富沢字宮ノ下 宮代神社
621	天満宮奉納絵馬	沢石	富沢字五本木 天日鷲神社
622	十一面観音堂奉納絵馬	沢石	富沢字五本木 宝伝寺
623	五本木神社奉納絵馬	沢石	富沢字五本木 五本木神社
624	出羽三山富沢支教会奉納絵馬	沢石	富沢字五本木 富沢支教会
625	稲荷神社奉納絵馬	沢石	富沢字北ノ内 稲荷神社
626	聖楽観音堂奉納絵馬	沢石	富沢字聖楽 聖楽観音堂
627	愛宕神社奉納絵馬	沢石	富沢字鬬毛 愛宕神社
628	八雲神社奉納絵馬	要田	熊耳字古内 八雲神社
629	古殿観音堂奉納絵馬	要田	熊耳字古殿 古殿観音
630	千代川稲荷神社奉納絵馬	要田	南成田千代川 稲荷神社
631	湯殿神社奉納絵馬	要田	南成田字草深内 湯殿神社
632	高御座神社奉納馬蹄額	要田	南成田字山崎 高御座神社
633	津島神社奉納絵馬	要田	北成田字七郎内 津島神社
634	成田神社奉納絵馬	要田	北成田字広畑 成田神社
635	笹山神社奉納絵馬	要田	庄司字仲之内 笹山神社
636	諏訪神社奉納絵馬	御木沢	平沢字担橋 諏訪神社

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
637	虚空蔵堂奉納絵馬	御木沢	平沢字札場 虚空蔵堂
638	見渡神社奉納絵馬	御木沢	平沢字中 見渡神社
639	蚕養神社奉納絵馬	御木沢	平沢字倉之内 蚕養神社
640	馬頭観世音堂奉納絵馬	御木沢	平沢字桜内 馬頭観音
641	天王様奉納絵馬	御木沢	平沢字東 天王
642	栗神様奉納絵馬	御木沢	御祭字松ヶ作 栗神神社
643	観世音菩薩奉納絵馬	御木沢	御祭字橋本 観音
644	八幡宮奉納絵馬	御木沢	御祭字橋本 八幡宮
645	浅間神社奉納絵馬	御木沢	七草木字田畑 浅間神社
646	天神宮奉納絵馬	御木沢	七草木字殿作 天神宮
647	若草木神社奉納絵馬	御木沢	七草木字松山 若草木神社
648	沫蕩神社奉納絵馬	岩江	山田字栃久保 沫蕩神社
649	稻荷神社奉納絵馬	岩江	上舞木字小峰 稻荷神社
650	熊野神社奉納絵馬	岩江	上舞木字平石 熊野神社
651	天満宮奉納絵馬	岩江	上舞木字大峰 天満宮
652	直毘神社奉納絵馬	岩江	上舞木字宮ノ前 直毘神社
653	薬師堂奉納絵馬	岩江	下舞木字石花 薬師堂
654	小高神社奉納絵馬	岩江	下舞木字石花 小高神社
655	千手観音奉納絵馬	岩江	下舞木字石崎 千手観音
656	白山比咩神社奉納絵馬	中妻	鷹巣字堤 白山比咩神社
657	浮内地蔵堂奉納絵馬	中妻	鷹巣字浮内 地蔵堂
658	八幡神社奉納絵馬	中妻	鷹巣字富作 八幡神社
659	八雲神社奉納絵馬	中妻	鷹巣字泉田 八雲神社
660	薬師堂奉納絵馬	中妻	鷹巣字薬師堂 薬師寺
661	子安観音堂奉納絵馬	中妻	鷹巣字菖蒲作 子安観音堂
662	春日神社奉納絵馬	中妻	沼沢字宮ノ前 春日神社
663	子安薬師堂奉納絵馬	中妻	沼沢字館 光明寺
664	見渡神社奉納絵馬	中妻	斎藤字戸ノ内 見渡神社
665	馬頭観音堂奉納絵馬	中妻	西方字西方前 馬頭観音堂
666	塩釜神社奉納絵馬	中妻	西方字中ノ内 塩釜神社
667	稻荷神社奉納絵馬	中郷	滝字滝久保 稻荷神社
668	馬頭観音堂奉納絵馬	中郷	滝字岩ノ入 龍光寺
669	柴原神社奉納絵馬	中郷	柴原字荻又 柴原神社
670	馬頭観音堂奉納絵馬	中郷	柴原字神久保 滑津観音堂
671	稻荷神社奉納絵馬	中郷	柴原字滑津 稻荷神社

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
672	薬師堂奉納絵馬	中郷	柴原字広戸 薬師堂
673	見渡神社奉納絵馬	中郷	込木字宮ノ下 見渡神社
674	金比羅神社奉納絵馬	中郷	案内字案内 金毘羅神社
675	津島神社奉納絵馬	中郷	芹ヶ沢字横台道 津島神社
676	薬師(観音)堂奉納絵馬	中郷	貝山字堀ノ内 薬師堂
677	見渡日枝神社奉納絵馬	中郷	春田字春沢 見渡日枝神社
678	狐田稻荷神社奉納絵馬	中郷	狐田字狐田 稻荷神社
679	菅布祢神社奉納絵馬	中郷	過足字館 菅布祢神社
680	木幡神社奉納絵馬	中郷	過足字館 木幡神社
681	人福地藏尊奉納絵馬	中郷	過足字下屋敷 人福地藏堂
682	菅布祢神社奉納絵馬	中郷	過足字下屋敷 菅布祢神社
683	東光寺観音堂奉納絵馬	中郷	根本字光谷 東光寺
684	八王子神社奉納絵馬	中郷	根本字西ノ内 八王子神社
685	見渡神社の獅子頭	御木沢	平沢字中 見渡神社
686	天日鷲神社の金の幣束	沢石	富沢字五本木 天日鷲神社
687	富沢愛宕神社の神楽面、神職冠	沢石	富沢字鬨毛 愛宕神社
688	馬産、養蚕、葉煙草並びに農業関連資料	三春	字桜谷 歴史民俗資料館、ほか
689	旧城下町及び農村の生産・流通関連資料	三春	字桜谷 歴史民俗資料館、ほか
民俗文化財・無形の民俗文化財			
690	竹細工	各地区	
691	菅笠づくり	岩江	岩江地区
692	しめ縄もじり	各地区	各地区
693	三春大神宮の秋祭り(三春各地区山車・囃子・神輿)	三春	三春地区 三春大神宮
694	一時地藏尊の御霊まつり	三春	字新町 州伝寺
695	身代り地藏尊祭り	三春	字清水 天沢寺
696	こども神輿	各地区	各地区
697	甘酒祭り	中郷	貝山字岩田
698	庄司の太々神楽	要田	庄司字仲之内 三輪神社神楽保存会
699	厳島神社の太々神楽(祭礼行列)	御木沢	御祭字幅遠内 厳島神社
700	滝の三匹獅子舞	中郷	滝字滝久保 稻荷神社
701	盆踊り(こども盆踊り)	各地区	各地区
702	念仏講・数珠回し	各地区	各地区
703	庚申様(講)	要田	熊耳字神山
704	お釜講	各地区	各地区
705	天神講	各地区	各地区

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
706	地藏講	各地区	各地区
707	山の神講	各地区	各地区
708	古峰神社講	各地区	各地区
709	伊勢講	各地区	各地区
710	えびす講	各地区	各地区
711	花見	各地区	各地区
712	三春グルメンチ		
713	三春三角油揚げ(油揚げうろく焼)		
714	イカにんじん	各地区	各地区
715	冬至かぼちゃ(いとこ煮)	各地区	各地区
716	ざくざく(ざく、ざくざく汁)	各地区	各地区
717	三春そうめん		
718	三春ゆべし		
719	ブルーベリー		
720	せい(さい)餅	各地区	各地区
721	だんご・だんご汁	各地区	各地区
722	ピーマン	各地区	各地区
記念物・遺跡(石塔)			
723	八幡神社奉納石燈籠	三春	字八幡町 八幡神社
724	三春城下六地藏(荒町末)	三春	字荒町 龍稔院
725	三春城下六地藏(亀井)	三春	字亀井
726	三春城下六地藏(清水)	三春	字清水
727	三春城下六地藏(庚申坂石塔群)	三春	字番組
728	殺生供養塔	沢石	富沢字八坂
729	北ノ内のお地藏さま	沢石	富沢字北ノ内
730	お地藏様	要田	熊耳字神山
731	馬頭観音	要田	熊耳字神山
732	庚申地藏	要田	熊耳字南原
733	弁天様	要田	南成田字千代川
734	薬師様	要田	南成田字城四口
735	三十夜様(十三夜?)	要田	南成田字城四口
736	熊野様	要田	南成田字前田
737	六大様	要田	南成田字前田・大桜
738	明権様	要田	南成田字白光内
739	地藏	要田	南成田白光内

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
740	穴地藏	御木沢	平沢字四合田
741	地藏	御木沢	平沢字札場
742	子勿虚蔵(子守地藏)	御木沢	七草木字田畑
743	阿弥陀院尊陽寺跡石塔群	御木沢	七草木字館下
744	弘法様(地藏)	岩江	山田字栃久保
745	首洗い清水供養塔	岩江	山田字カブキ
746	大宮権現	岩江	山田字カブキ
747	馬頭尊石碑群(馬頭観音石碑)	岩江	下舞木字蛇田
748	宇賀石(神)様	中妻	鷹巣字宇賀石
749	道祖神	中妻	鷹巣字菖蒲作
750	愛宕神社の石仏立像	中妻	沼沢字宮ノ前 愛宕神社
751	馬頭観音石碑	中妻	沼沢字宮ノ前
752	疱瘡(もがみ)様	中妻	沼沢字宮ノ前
753	弘法様石仏座像	中妻	沼沢字古館
754	花立て地藏様	中妻	斎藤字場上田
755	馬頭観音庚申様	中郷	柴原字神久保 馬頭観音堂
756	石碑群(込木旧公民館跡)	中郷	込木字宮ノ下
757	貝山道祖神	中郷	貝山字馬場
758	地藏尊	中郷	春沢字春沢
759	庚申塔、日待・月待塔	各地区	各地区
760	官軍兵士墓	三春	字大町 紫雲寺
761	官軍兵士墓	三春	字荒町 龍穂院
762	忠魂碑	沢石	富沢字檜梨池頭
763	招魂社	御木沢	平沢字東 天王
764	日清・日露戦争慰霊碑	中妻	沼沢字町田
765	磐州河野先生瘞髪冢	三春	字大町 紫雲寺
766	熊田嘉膳顕彰碑	三春	字北町 北野神社
767	石井忠治君頌徳碑	沢石	実沢字館腰
768	武内村長顕彰碑	御木沢	平沢字札場
769	国府斎翁碑	御木沢	平沢字東
770	大和田広治顕彰碑	中妻	斎藤字場上田
771	百杯宴の碑(来光院跡)	三春	字大町
772	三春町道路元標	三春	字南町
773	湖底に沈むふるさとの碑	中妻	西方字向山
774	魚族増殖之碑	中妻	西方字向山

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
記念物・遺跡(史跡)			
775	清水寺跡(不動山)	三春	字小金滝
776	三春馬車鉄道駅跡(蒔市場跡)	三春	字中町
777	甚十郎・紋十郎夫妻の墓	三春	字御免町 福聚寺
778	五千石代官所跡	三春	字御免町
779	平石不動尊跡	三春	字仁井町
780	三春牛頭天王跡	三春	字新町 真照寺
781	庚申坂(旧遊郭跡地)	三春	字庚申坂
782	鹿壇	要田	熊耳字ハツ田
783	庄屋の墓	要田	北成田字館
784	三春牛乳跡地	御木沢	平沢字担橋
785	郷倉跡	岩江	山田字栃久保
786	見渡神社跡	岩江	山田字宮田
787	戸ノ内供養塔跡	岩江	上舞木字戸ノ内
788	天道念仏場	中妻	鷹巣字堤・福田
789	和尚壇(跡)	中妻	西方字後作
790	神明宮(三春大神宮)旧地	中郷	貝山字岩田
記念物・名勝地			
791	カタクリの里	岩江	山田字堀之内・宮田
792	小鳥山公園跡	中郷	芹ヶ沢字長作
793	さくらの公園	中郷	春田字道城
794	玉ヶ瀧	岩江	上舞木字大峰
795	美代淵	岩江	上舞木字戸ノ内
796	南原池	要田	熊耳字南原
797	鷹巣大池	中妻	鷹巣字餅田
798	大池	中郷	貝山字東田
799	馬場の湯	三春	字馬場
800	イボ清水	三春	字松橋
801	化粧清水	三春	字化粧坂
802	古殿の男井戸(雄井戸、大井戸)	要田	熊耳字古殿
803	寺山観音清水	岩江	上舞木字寺山
804	功德の清水(バコ清水)	岩江	上舞木字平
805	花立清水	岩江	上舞木字平
806	行井戸	中妻	西方字西方前

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
記念物・動物(天然記念物)			
807	ホタルの生息地(ホタルの里、ほか沢石地区各所)	沢石	富沢字堰田
記念物・植物(天然記念物)			
808	お城坂枝垂桜	三春	字南町 さくらの会指定名木
809	桜谷枝垂桜	三春	字桜谷 歴史民俗資料館 さくらの会指定名木
810	福聚寺桜	三春	字御免町 福聚寺 さくらの会指定名木
811	和みの桜	三春	字御免町 さくらの会指定名木
812	丈六の桜	三春	字丈六
813	光岩寺桜	三春	字亀井 光岩寺 さくらの会指定名木
814	宝来寺跡の桜	三春	字亀井
815	清水の桜	三春	字清水
816	常楽院桜	三春	字四軒丁 さくらの会指定名木
817	大日如来の桜	沢石	実沢字古沢目
818	高木神社の桜	沢石	実沢字宮脇 高木神社 さくらの会指定名木
819	青石の桜・青石坂の桜	沢石	青石字青石坂
820	大北大桜	沢石	青石字大北
821	烏帽子石の桜	要田	熊耳字烏帽子石
822	桜並木	要田	熊耳字平道内
823	大明竹の桜	要田	熊耳字大明竹
824	神山の桜	要田	熊耳字神山 さくらの会指定名木
825	山之内の桜	要田	熊耳字山之内
826	成田の種まきザクラ(成田神社)	要田	北成田字広畑 成田神社 県縁の文化財、さくらの会指定名木
827	平堂壇の桜	要田	北成田字宮ノ前 さくらの会指定名木
828	西ノ内桜	御木沢	平沢字東
829	忠助桜	御木沢	平沢字広久保
830	戸ノ内桜	御木沢	御祭字戸ノ内 さくらの会指定名木
831	七草木桜	御木沢	七草木字田畑
832	天神桜(殿作桜)	御木沢	七草木字殿作 さくらの会指定名木
833	栃久保の種蒔桜(稲荷神社)	岩江	山田字栃久保 稲荷神社 さくらの会指定名木
834	今朝三桜	岩江	上舞木字大谷ツ さくらの会指定名木
835	堤桜	中妻	鷹巣字堤 さくらの会指定名木
836	鷹巣小学校跡地の桜	中妻	鷹巣字畑中
837	春日神社の杉・桜	中妻	沼沢字宮ノ前 春日神社

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
838	弘法桜	中妻	沼沢字古館
839	田村家枝垂桜群	中郷	滝字高野 さくらの会指定名木
840	龍光寺桜	中郷	滝字岩ノ入 龍光寺 さくらの会指定名木
841	柴原観音桜	中郷	柴原字神久保 馬頭観音堂 さくらの会指定名木
842	夫婦桜	中郷	柴原字滑津 日枝神社 さくらの会指定名木
843	桜並木	中郷	柴原字滑津・神久保
844	込木地藏桜	中郷	込木字宮ノ下 見渡神社 さくらの会指定名木
845	柳ヶ作の桜	中郷	込木字柳ヶ作
846	芹ヶ沢桜	中郷	芹ヶ沢字横台道 さくらの会指定名木
847	貝山薬師桜	中郷	貝山字堀ノ内 さくらの会指定名木
848	桜	中郷	樋渡字嘗石田
849	真照寺のミズバショウ(庭園)	三春	字新町 真照寺
850	法蔵寺のハス、ツツジ	三春	字荒町 法蔵寺
851	秋田家墓所のコウヤマキ	三春	字荒町 高乾院
852	三春大神宮の森	三春	字馬場 三春大神宮
853	高木神社のイチイ並木	沢石	実沢字宮脇 高木神社 県緑の文化財
854	高木神社のヒイラギ	沢石	実沢字宮脇 高木神社 県緑の文化財
855	薬師如来のカヤ	岩江	下舞木字石花 薬師堂
856	三渡神社付近のフジ	中妻	鷹巣字平松
857	旧江戸街道(殿様道)の矢掛のマツ	中妻	沼沢字浜井場
記念物・地質鉱物(天然記念物)			
858	蛇石	中郷	蛇石字蛇石前 王子神社
859	砂利山(砂山)	沢石	富沢字堰田
860	白河層(下部礫層・上部花崗岩)	三春	字大町
861	結晶質石灰岩採石場跡	三春	字一本松
文化的景観			
862	御免町通りの風景	三春	字御免町
863	城山から見た城下町の風景	三春	字大町
伝統的建造物群			
864	新庚申坂(弓町の遊郭跡)	三春	字弓町
その他・地名			
865	「お城坂(おしろざか)」	三春	字南町
866	「会下谷(えげたに)」	三春	字会下谷

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
867	「御免町(ごめんまち)」	三春	字御免町
868	「尼ヶ谷(あまがや)」	三春	字尼ヶ谷
869	「馬場(ばば)」	三春	字馬場
870	「踊り場(おどりば)」	三春	字丈六
871	「新観(しんかん)」	三春	字荒町
872	「日向町(ひなたまち)」	三春	字日向町
873	「北向町(きたむきまち)」	三春	字北向町
874	「小浜海道(おばまかいどう)」	三春	字小浜海道
875	「山中(さんちゅう)」	三春	字山中
876	「師範場(しはんば)」	三春	字師範場
877	「弓町(ゆみまち)」	三春	字弓町
878	「四軒丁(しけんちょう)」	三春	字四軒丁
879	「化粧坂(けしょうざか)」	三春	字化粧坂
880	「番組(ばんぐみ)」	三春	字番組
881	「担橋(かつぎばし)」	御木沢	平沢字担橋
882	「御祭(おまつり)」	御木沢	御祭
883	「獅子作(ししつくり)」	御木沢	御祭
884	「込木(くぐりき)」	中郷	込木
885	「過足(よぎあし)」	中郷	過足
その他・伝承			
886	腹切り梅(猫騒動)	三春	字大町 紫雲寺
その他・墓地			
887	墓地	沢石	実沢字高畑
888	中ノ久保共同墓地	沢石	実沢字大木屋戸・中ノ久保
889	墓地	沢石	実沢字扇沢
890	墓地	沢石	実沢字扇沢
891	墓地・礼拝堂	沢石	実沢字開宝山
892	墓地	沢石	実沢字古寺
893	墓地	沢石	実沢字檜梨
894	垢潜墓地	沢石	富沢字一ノ沢
895	墓地	沢石	富沢字松ヶ作
896	垣ノ内霊園	沢石	富沢字垣ノ内
897	墓地	要田	熊耳字山ノ神
898	墓地	要田	熊耳字後田
899	墓地	要田	熊耳字平道内

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
900	墓地	要田	熊耳字大明竹・山之内
901	墓地	要田	熊耳字神山・十石窪
902	旧墓地	要田	南成田字千代川
903	墓地(湯殿神社)	要田	南成田字草深内
904	丸塚共同墓地	要田	南成田字丸塚
905	墓地	要田	南成田字大桜
906	墓地	要田	南成田字城四口
907	墓地	要田	南成田字西小屋
908	旧墓地	要田	北成田字鍛冶内
909	墓地	要田	北成田字鍛冶内
910	墓地	要田	北成田字友久
911	墓地	要田	北成田字七郎内
912	墓地	要田	北成田字中屋敷
913	墓地(2箇所)	要田	庄司字山口
914	墓地	要田	庄司字仲之内
915	共同墓地	要田	庄司字西之内
916	墓地	岩江	山田字カブキ
917	墓地	岩江	山田字菖蒲作
918	墓地	岩江	山田字クルミヤツ・滝田・松ヶ作
919	墓地	岩江	上舞木字小峰
920	旧墓地	岩江	上舞木字小峰
921	旧墓地	岩江	上舞木字寺山
922	旧墓地	岩江	上舞木字寺山
923	墓地	岩江	上舞木字細田
924	墓地	岩江	上舞木字荻久保
925	旧墓地	岩江	上舞木字荻久保
926	旧墓地	岩江	上舞木字大峰
927	墓地	岩江	下舞木字蛇田・折ノ内
928	墓地	中妻	鷹巣字壺斗内
929	墓地	中妻	鷹巣字瀬山
930	墓地	中妻	鷹巣字煙地内・福田
931	墓地	中妻	鷹巣字平松
932	墓地	中妻	鷹巣字高野・日天
933	墓地	中妻	鷹巣字高野・堤
934	墓地	中妻	鷹巣字姥ヶ懐

未指定文化財リスト

番号	名称	地域	所在地、ほか
935	墓地	中妻	鷹巣字畑中
936	墓地	中妻	鷹巣字薬師堂
937	墓地	中妻	鷹巣字菖蒲作・坂下
938	墓地	中妻	鷹巣字日影
939	墓地	中妻	沼沢字館
940	墓地	中妻	斎藤字町田
941	墓地	中妻	斎藤字斎藤
942	墓地	中妻	斎藤字大日向
943	墓地	中妻	西方字石畑
944	墓地	中妻	西方字中ノ内
945	墓地	中郷	滝字高野
946	墓地	中郷	滝字嘉屋
947	墓地	中郷	滝字滝久保
948	墓地	中郷	柴原字苅又
949	墓地	中郷	込木字宮ノ下
950	墓地	中郷	込木字田中
951	墓地	中郷	楽内字孝戸
952	墓地	中郷	芹ヶ沢字長作
953	春沢共同墓地	中郷	蛇沢字北ノ内
954	墓地	中郷	過足字久保
955	墓地	中郷	過足字岩ノ入
956	墓地	中郷	根本字光谷
957	墓地	中郷	根本字西ノ内
958	墓地	中郷	樋渡字嘗石田
959	墓地	中郷	蛇石字上金水
その他・方言			
960	「だうええ」	全地区	
961	「さすけねえ」	全地区	
962	「までい」	全地区	
963	「～げ」	全地区	
964	「～ばい」	全地区	